

令和4年度第1回
龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会

日時：令和4年6月21日（火）
午後2時から
場所：龍ヶ崎市役所5階全員協議会室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の策定について（諮問）
- (2) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の策定方針について
- (3) 龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画の評価及び進捗管理について
- (4) 龍ヶ崎市におけるスポーツ環境の現状と課題について

4 閉 会

龍 斯 第 号
令和 4 年 6 月 2 1 日

龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会
会長 田 簀 健太郎 殿

龍ヶ崎市長 萩 原 勇

龍ヶ崎市第 3 次スポーツ推進計画の策定について（諮問）

みだしのことについて、龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例（平成 23 年龍ヶ崎市条例第 37 号）第 2 条の規定により、龍ヶ崎市第 3 次スポーツ推進計画の策定について、貴会の意見を求めます。

令和4年度龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会に対する諮問

○ 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の策定について (諮問理由)

国において、平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」において、中長期的なスポーツ政策の基本方針として、「スポーツで「人生」が変わる」、「スポーツで「社会」を変える」、「スポーツで「世界」とつながる」、「スポーツで「未来」を創る」の4つの観点から、着実な実施に向けた取り組みを実施してきました。

その間、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりスポーツ活動の制限や東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期・無観客開催、人口減少・高齢化の進行等の社会状況の変化によるスポーツを取り巻く環境や施策を実現するための手立ては大きく変化していることを踏まえ、令和4年3月に新たに「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。

「第3期スポーツ基本計画」では、前計画の4つの基本方針を踏襲しつつ、新たに「つくる/はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」の3つの視点を取り入れた施策に取り組むこととしています。

本市においては、平成19年4月に「スポーツ健康都市宣言」を行い、平成21年12月にその具体化に向けたマスタープランとして「龍ヶ崎市スポーツ振興基本計画」を策定しました。平成27年2月には、計画の名称を「龍ヶ崎市スポーツ推進計画」に改め、平成30年2月には「第2次龍ヶ崎市スポーツ推進計画」を策定しました。

また、当市の最上位計画については、「第2次ふるさと戦略プラン」(計画期間：平成29年度～令和3年度)を策定し、目標として「生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり」を掲げ、その実現のため、「スポーツ環境の充実」を施策として推進していくこととしていました。また、同プランにおいては、今後5年間に重点的・優先的に推進していく「重点目標」として、「スポーツ健幸日本一」を掲げ、その実現のため、「スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進」及び「高齢者の「健幸」力の向上」を施策として推進して参りま

した。

令和4年度からの次期最上位計画として新たな計画が策定される予定でしたが、市長の任期に合わせマニフェストとの整合性を図るため、また、コロナ禍の中では実行性が伴わないため策定時期をずらし、次期最上位計画（計画期間 令和5年1月～令和12年度）を策定しているところであり、「第3次スポーツ推進計画」につきましては、この次期上位計画と整合性を図りながら、計画を策定していくこととなります。

このような経緯を踏まえ、令和3年に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの継承・発展も見据えながら、市民、スポーツ団体、教育機関、市等が一体となって本市のスポーツの推進に取り組むための指針とするため、スポーツ基本法第10条第1項の規定に基づき、「龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画」を策定するものです。

その策定に当たっては、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌しながら、市民、スポーツ団体、教育機関等の意見を徴取するとともに、龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会からの提言を受け、本計画に反映していくため諮問を行うものです。

龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の策定方針について

1 策定の背景と趣旨

国において、平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」において、中長期的なスポーツ政策の基本方針として、「スポーツで「人生」が変わる」、「スポーツで「社会」を変える」、「スポーツで「世界」とつながる」、「スポーツで「未来」を創る」の4つの観点から、着実な実施に向けた取り組みを実施してきました。

その間、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりスポーツ活動の制限や東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期・無観客開催、人口減少・高齢化の進行等の社会状況の変化によるスポーツを取り巻く環境や施策を実現するための手立ては大きく変化していることを踏まえ、令和4年3月に新たに「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。

「第3期スポーツ基本計画」では、前計画の4つの基本方針を踏襲しつつ、新たに「つくる/はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」の3つの視点を取り入れた施策に取り組むこととしています。

本市においては、平成19年4月に「スポーツ健康都市宣言」を行い、平成21年12月にその具体化に向けたマスタープランとして「龍ヶ崎市スポーツ振興基本計画」を策定しました。平成27年2月には、計画の名称を「龍ヶ崎市スポーツ推進計画」に改め、平成30年2月には「第2次龍ヶ崎市スポーツ推進計画」を策定しました。

また、当市の最上位計画については、「第2次ふるさと戦略プラン」（計画期間：平成29年度～令和3年度）を策定し、目標として「生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり」を掲げ、その実現のため、「スポーツ環境の充実」を施策として推進していくこととしていました。また、同プランにおいては、今後5年間に重点的・優先的に推進していく「重点目標」として、「スポーツ健幸日本一」を掲げ、その実現のため、「スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進」及び「高齢者の「健幸」力の向上」を施策として推進して参りました。

令和4年度からの次期最上位計画として新たな計画が策定される予定でしたが、市長の任期に合わせマニフェストとの整合性を図るため、また、コロナ禍の中では実行性が伴わないため策定時期をずらし、次期最上位計画（計画期間 令和5年1月～令和12年度）を策定しているところであり、「第3次スポーツ推進計画」につきましては、この次期上位計画と整合性を図りながら、計画を策定していくこととなります。

このような経緯を踏まえ、令和3年に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの継承・発展も見据えながら、市民、スポーツ団体、教育機関、市等が一体となって本市のスポーツの推進に取り組むための指針とするため、スポーツ基本法第10条第1項の規定に基づき、「龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画」を策定するものです。

2 計画期間

国の「第3期スポーツ基本計画」の計画期間は令和4年度からの5年間となっています。

当市の次期最上位計画の将来ビジョンの計画期間は令和5年1月から令和13年3月までの概ね8年間として、基本的な施策の方向と体系等を示す基本計画については、前期基本計画を令和5年1月から令和9年3月までの概ね4年とし、その後の社会情勢等の変化に応じて検討・見直しを加え、後期基本計画を令和9年4月から令和13年3月までの4年とする計画となっております。

「龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画」につきましては、国の「第3期スポーツ基本計画」を踏まえ、令和5年度から令和9年度までの5年間の計画として令和4年度中に策定します。

3 策定体制

(1) 市民参加

ア 龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会

- ・龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例に基づき設置した市の諮問機関
 - ・構成員：スポーツに関する知識経験者、スポーツ団体の代表、企業及び市民団体の代表並びに公募の市民
 - ・令和4年度中に4回程度開催予定
- ①諮問 ②骨子案について ③パブリックコメント案について ④答申

イ 市民意識調査

16歳以上の市民2,000人を対象に意識調査（郵送によるアンケート調査）を行い、現状や課題及び施策やサービスに対する市民のニーズを把握（令和3年度中にアンケート実施済み）。

ウ 小中学生意識調査

市内小中学校に通学する児童（小学5年生 約305人）及び生徒（中学2年生約178人）を対象に意識調査（アンケート調査）を行います（令和3年度中に実施済み）

エ 団体ヒアリング

スポーツの分野で活躍している団体等を対象にヒアリングを実施（令和3年度中に実施済み）

オ パブリックコメント

- ・龍ヶ崎市パブリックコメント手続要綱に基づき、龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画（案）を公表し、市民から意見を募集します。
- ・寄せられた意見に対する市の考え方を公表するとともに、必要に応じ同計画（案）を修正します。

(2) 庁内調整

ア 庁議

- ・庁内の意思決定機関

- ・市長，教育長，各部等の長で構成
- ・計画の骨子案，素案等について協議します。

イ 副部長会議

- ・政策課題への対応及び施策の執行に関する組織間の連絡調整機関
- ・各部等の副部長で構成
- ・計画の骨子案，素案等について，庁議への付議前に協議・調整を行います。

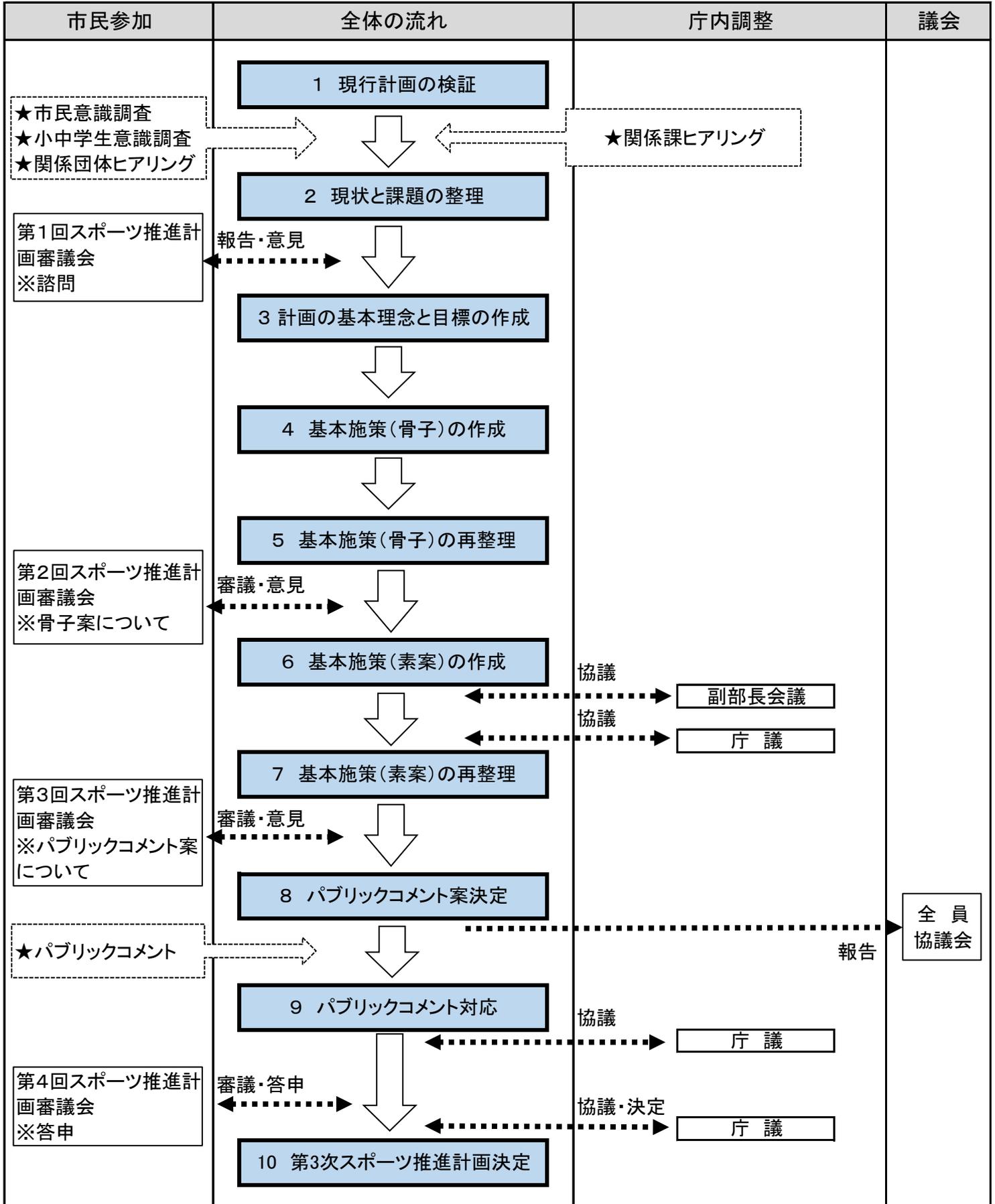
ウ 関係課ヒアリング

- ・関係課が抱える課題や対応などについて，ヒアリングを行います。

4 策定フロー（別紙1参照）

5 策定スケジュール（別紙2参照）

龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画 策定フロー



龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画

(平成30年度～令和4年度)

令和3年度進捗管理シート

令和3年度事業報告

令和4年度事業計画

令和4年6月

スポーツ都市推進課

第2次スポーツ推進計画 事業一覧・目次

| 事業名 | | | ページ No. |
|-----------------------------|---------------------------------|--------------------|---------|
| 政策1 スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | |
| 施策1 高齢者をはじめ誰もがスポーツに親しむ機会の充実 | | | P. 1 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 1-1-1 | マラソン大会の開催 | スポーツ都市推進課 | P. 2 |
| 1-1-2 | 健幸マイレージ事業の推進 | 健幸長寿課 | P. 2 |
| 1-1-3 | 総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進 | スポーツ都市推進課 | P. 3 |
| 1-1-4 | スポーツ大会・イベントの充実 | スポーツ都市推進課 | P. 4 |
| 1-1-5 | 指定管理者によるスポーツ教室の充実 | スポーツ都市推進課 | P. 5 |
| 1-1-6 | ニュースポーツの推進 | スポーツ都市推進課 | P. 6 |
| 1-1-7 | ウォーキングの普及 | スポーツ都市推進課 健幸長寿課 | P. 7 |
| 1-1-8 | 健康づくりに向けた体操の普及 | 健幸長寿課 | P. 8 |
| 施策2 スポーツ団体活動の活性化 | | | P. 9 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 1-2-1 | スポーツ協会の組織体制の強化に向けた支援 | スポーツ都市推進課 | P. 10 |
| 1-2-2 | 総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援 | スポーツ都市推進課 | P. 11 |
| 1-2-3 | スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援 | スポーツ都市推進課 | P. 12 |
| 1-2-4 | スポーツ少年団の連携・交流活動への支援 | スポーツ都市推進課 | P. 12 |
| 施策3 障がい者スポーツの環境整備 | | | P. 13 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 1-3-1 | スポーツ施設のバリアフリー化の推進 | スポーツ都市推進課 | P. 14 |
| 1-3-2 | スポーツを通じた障がい者の交流の促進 | スポーツ都市推進課 | P. 14 |
| 1-3-3 | 障がい者スポーツの周知啓発 | 社会福祉課 | P. 15 |
| 1-3-4 | 障がい者スポーツ大会の開催及び参加への支援 | 社会福祉課 スポーツ都市推進課 | P. 15 |
| 1-3-5 | 全国障害者スポーツ大会の開催を契機とした障がい者スポーツの普及 | スポーツ都市推進課 | P. 16 |
| 政策2 子どものスポーツ活動の充実 | | | |
| 施策1 子どもの体力づくりの推進 | | | P. 17 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 2-1-1 | 各小中学校の課題に応じた体力づくりの推進 | 指導課 | P. 18 |
| 2-1-2 | 運動・遊び・スポーツ活動の実践力の育成 | 指導課 | P. 18 |

| | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------|-------|
| 2-1-3 | 小中一貫教育における体力向上策の計画立案 | 指導課 | P. 19 |
| 2-1-4 | 学校体育及び競技大会における市のスポーツ施設の活用 | 指導課 | P. 19 |
| 施策2 運動部活動の活性化 | | | P. 20 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 2-2-1 | 部活動指導員配置制度の創設 | 教育総務課／指導課 | P. 21 |
| 2-2-2 | 運動部活動における外部指導者の活用 | スポーツ都市推進課 指導課 | P. 21 |
| 2-2-3 | 運動部活動の支援体制の充実 | 教育総務課 | P. 22 |
| 施策3 地域の連携による子どものスポーツ活動の充実 | | | P. 23 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 2-3-1 | 流通経済大学生による体育授業サポート等の促進 | 指導課 | P. 24 |
| 2-3-2 | 児童生徒のスポーツ活動支援 | 指導課 | P. 24 |
| 2-3-3 | 子どもが遊びやスポーツに親しむ機会の提供 | 文化・生涯学習課 | P. 25 |
| 政策3 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | |
| 施策1 スポーツ指導者・トップアスリートの育成 | | | P. 26 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 3-1-1 | 指導者の養成と資質向上 | スポーツ都市推進課 | P. 27 |
| 3-1-2 | 技術講習会等を通じた競技力の向上 | スポーツ都市推進課 | P. 27 |
| 3-1-3 | 関係団体の連携による優秀選手の早期発掘と育成 | スポーツ都市推進課 | P. 28 |
| 3-1-4 | 国際・全国大会出場に対する支援・応援 | スポーツ都市推進課 | P. 28 |
| 施策2 スポーツによる交流人口の増加 | | | P. 29 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 3-2-1 | マラソン大会の開催【再掲】 | スポーツ都市推進課 | P. 30 |
| 3-2-2 | 競技スポーツ大会の開催促進 | スポーツ都市推進課 | P. 30 |
| 3-2-3 | 茨城国体の開催に向けた機運の醸成 (令和元年度事業終了) | スポーツ都市推進課 (旧国体推進課) | P. 31 |
| 3-2-4 | 事前キャンプ招致活動の推進 | 秘書課 | P. 31 |
| 3-2-5 | 各国代表チームとの交流促進 | 秘書課 | P. 32 |
| 3-2-6 | スポーツツーリズムの推進 | 秘書課 | P. 32 |
| 3-2-7 | 地域スポーツコミッションの設立 | 秘書課 | P. 33 |
| 施策3 流通経済大学運動部との連携 | | | P. 34 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 3-3-1 | 流通経済大学運動部の公式試合等の情報提供 | 企画課 | P. 35 |

| | | | |
|-----------------------|--------------------------|---------------------|-------|
| 3-3-2 | 流通経済大学運動部との交流促進 | 企画課 スポーツ都市推進課 | P. 35 |
| 3-3-3 | 流通経済大学運動部応援活動の促進 | 企画課 | P. 36 |
| 3-3-4 | 流通経済大学運動部の活動支援 | スポーツ都市推進課 | P. 36 |
| 政策4 スポーツ環境の充実 | | | |
| 施策1 スポーツ施設の充実と有効活用 | | | P. 37 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 4-1-1 | スポーツ施設の機能・設備の充実 | スポーツ都市推進課 | P. 38 |
| 4-1-2 | 利用しやすい施設運営とサービスの充実 | スポーツ都市推進課 | P. 39 |
| 4-1-3 | 大規模イベント開催時における交通対策の推進 | スポーツ都市推進課 | P. 40 |
| 4-1-4 | 学校体育施設の開放の推進 | スポーツ都市推進課 | P. 40 |
| 施策2 スポーツボランティア活動の普及啓発 | | | P. 41 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 4-2-1 | スポーツ推進委員の資質向上 | スポーツ都市推進課 | P. 42 |
| 4-2-2 | スポーツ推進委員の活動の活性化 | スポーツ都市推進課 | P. 42 |
| 4-2-3 | スポーツボランティア活動の促進 | スポーツ都市推進課 | P. 43 |
| 4-2-4 | スポーツボランティアの育成等に向けた仕組みの構築 | スポーツ都市推進課 旧国体推進課 | P. 44 |
| 4-2-5 | 障がい者スポーツのボランティアの育成と活動の促進 | スポーツ都市推進課 社会福祉課 | P. 45 |
| 施策3 スポーツに関する情報提供の充実 | | | P. 46 |
| 事業 No. | 事業名 | 担当課 | |
| 4-3-1 | スポーツ施設・教室等に関する情報の一元化 | スポーツ都市推進課 | P. 47 |
| 4-3-2 | スポーツ団体に関する情報提供の推進 | スポーツ都市推進課 | P. 47 |
| 4-3-3 | 情報提供媒体の拡大 | スポーツ都市推進課 | P. 48 |

| | | | | | | | | | | |
|---|--------------------------|---|----|------------------|----------|------------------|-------------------|------------------|------------------|--------|
| 政策1 | スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | | | | | | | |
| 施策1 | 高齢者をはじめ誰もががスポーツに親しむ機会の充実 | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 1-1-1 | マラソン大会の開催 | | | | 1-1-5 | 指定管理者によるスポーツ教室の充実 | | | |
| | 1-1-2 | 健幸マイレージ事業の推進 | | | | 1-1-6 | ニュースポーツの推進 | | | |
| | 1-1-3 | 総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進 | | | | 1-1-7 | ウォーキングの普及 | | | |
| | 1-1-4 | スポーツ大会・イベントの充実 | | | | 1-1-8 | 健康づくりに向けた体操の普及 | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ★ | 健幸マイレージ事業の登録者数 | 人 | — | 目標 実績 | 1,000 1,198 | 1,500 1,822 | 2,000 2,162 | 2,500 2,565 | 3,000 |
| | | | % | — | 達成度 | 120 | 121 | 108 | 103 | |
| | ☆ | スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数 | 人 | 6,525 | 目標 実績 | 7,500 8,343 | 8,500 8,756 | 8,600 2,547 | 8,700 2,835 | 8,800 |
| | | | % | — | 達成度 | 111 | 103 | 30 | 33 | |
| | ☆ | スポーツ教室の延べ利用者数(指定管理者) | 人 | 51,795 | 目標 実績 | 52,000 47,895 | 54,000 45,653 | 54,000 40,999 | 54,000 29,070 | 54,000 |
| | | | % | — | 達成度 | 92 | 85 | 76 | 54 | |
| | ☆ | スポーツ教室の延べ利用者(総合型地域スポーツクラブ) | 人 | 20,957 | 目標 実績 | 22,000 23,088 | 22,000 19,167 | 22,000 11,704 | 22,000 10,463 | 22,000 |
| | | | % | — | 達成度 | 105 | 87 | 53 | 48 | |
| | ☆ | ニュースポーツ教室・大会の延べ参加者数 | 人 | 946 | 目標 実績 | 1,100 1,157 | 1,150 1,339 | 1,150 34 | 1,200 0 | 1,200 |
| | | | % | — | 達成度 | 105 | 116 | 3 | 0 | |
| | ☆ | ふるさとふれあい公園(グラウンドゴルフ場・ゲートボール場・ディスクゴルフ場)の延べ利用者数 | 人 | 15,859 | 目標 実績 | 16,000 15,650 | 16,500 15,322 | 17,000 11,152 | 17,500 11,078 | 18,000 |
| | | | % | — | 達成度 | 98 | 93 | 66 | 63 | |
| | ☆ | 健康ウォーキング講座の延べ参加者数 | 人 | 189 | 目標 実績 | 360 843 | 380 847 | 400 321 | 425 728 | 450 |
| | | | % | — | 達成度 | 234 | 223 | 80 | 171 | |
| | ☆ | てくてくロードを歩いた延べ人数 | 人 | 1,179 | 目標 実績 | 2,000 1,176 | 2,075 974 | 2,150 1,063 | 2,225 649 | 2,300 |
| | | | % | — | 達成度 | 59 | 47 | 49 | 29 | |
| | ☆ | いきいきヘルス体操教室の延べ参加者数 | 人 | 21,881 | 目標 実績 | 22,400 19,942 | 22,800 18,745 | 23,200 5,841 | 24,000 6,425 | 25,000 |
| | | | % | — | 達成度 | 89 | 82 | 25 | 27 | |
| | ☆ | 元気アップ体操の延べ参加者数 | 人 | 7,398 | 目標 実績 | 7,000 7,121 | 7,100 6,292 | 7,200 3,106 | 7,300 4,629 | 7,450 |
| | | % | — | 達成度 | 102 | 89 | 43 | 63 | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 新型コロナウイルス感染症の影響が続き、多くのイベント等の中止や施設の休館等により各指標は大きく減少しており進捗状況が遅れているものがあるが、長引くコロナ禍において、屋外施設の利用やウォーキングなどの屋外活動については、コロナ禍でも実施しやすいものとして回復傾向にあると思われ、取り組みも順調に進んでいる。今後も新型コロナウイルス感染症の終息は見通せず、日常的にスポーツを行うためにも、引き続き、施設や事業における感染防止対策に配慮した環境づくりが重要である。 | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-1 | 事業名 | マラソン大会の開催 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
|---|---|-----|-----------|------------|------------|--|
| 事業内容 | 関係機関・団体と協議・連携を図りながら、市内外から多くの人が参加できるマラソン大会の開催を目指します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | |
| | | | | 12,500 | 9,522 | |
| 令和3年度計画 | (1) 第1回大会中止の清算業務(実行委員会での事業報告・決算報告) (2) 第2回大会の実施計画策定 (3) 第2回大会開催に向けた実行委員会の開催 (4) 関係機関・団体等との連絡調整(マラソンコースにおける交通規制、ボランティア関係、出店関係など) | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1) 第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会開催の中止について 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら規模を縮小し(種目はハーフマラソンのみ・茨城県内居住者18歳以上)、開催に向けて準備を進めてきたが、茨城県内でも感染拡大の傾向にあり事態の悪化が見込まれるため、ランナー、ボランティア等の安全、安心を最優先し、やむを得ず大会を中止とした。 (2) 令和4年度龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会について 令和4年度大会の中止決定(10月定例庁議で、市の方針として中止を決定) ⇒未だ新型コロナウイルス感染症流行の収束が見通せない状況であるため、令和4年度大会は中止することとなった。 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | ハーフマラソンは、大規模イベントのため、準備に相当期間を要するとともに、日々変化していくコロナ禍での大会開催日の感染状況を予測することが非常に困難であるため、今後については他大会の動向や感染状況を注視しながら、これまで準備してきた経験を踏まえ、マラソン大会の意義、本市の地域の実情に照らし合わせながら費用対効果等を再検証していく。 | | | | | |
| 令和4年度計画 | (1) 令和5年度開催に向けて、マラソン大会実行委員会及び運営委員会開催、大会準備を進めていく。 ※令和4年9月に新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ大会開催可否の判断を行う。 (2) 当大会における運営業務委託を締結し、運営委託業務について計画的に進めていく。 (3) 茨城県警との協議：交通警備計画(素案)を作成し、竜ヶ崎警察署と協議を進める (4) 応援要請：運営委託業者と大会従事員数の設計について協議し、市職員及びボランティア等に応援要請を行う。 (5) 情報発信(広報・PR活動)：当大会専用HP等を創設するほか、市公式HP、市公式SNS等で情報発信に努めていく。 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 3,500 | | | | | |

| 事業No. | 1-1-2 | 事業名 | 健幸マイレージ事業の推進 | 担当課 | 健幸長寿課 | | | | | |
|---|---|----------------|--------------|------------------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 事業内容 | ウォーキングや健診の受診などによりポイントが付与される健幸マイレージ事業を推進し、スポーツや運動の習慣化に向けた動機付けを支援します。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| | | | | | 4,981 | 4,258 | | | | |
| 令和3年度計画 | 健幸マイレージのPR活動を行い、登録者の増加に努める。 (1) 市広報紙への事業掲載や各種講座等での事業説明を行い、登録のフォローを行う。 (2) ポイント管理システムにおける歩数ランキング機能の運用を継続する。 (3) 貯めたポイントに応じた賞品交換を年1回(6月)に実施する。 (4) 賞品交換申込時に、健康改善など事業に参加したことについての意識調査アンケートを実施する。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | 健幸マイレージ事業の普及啓発 (1) 広報紙において、健幸マイレージ事業について周知を行った。(5月) その他、ウォーキング講座等において、事業の説明を行い、登録動員を図った。 (2) 歩数ランキング機能の運用を継続した。ランキングが励みになるとの声もいただいております。概ね好評であった。 (3) 貯めたポイント数に応じた賞品交換を年1回(6月)実施した。 (4) 賞品交換申込時に、意識調査アンケートを実施し、健康状態が良くなったとの回答を多くいただいた。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ★単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成26年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| ★ | ★ | 健幸マイレージ事業の登録者数 | 人 | — | 目標 | 1,000 | 1,500 | 2,000 | 2,500 | 3,000 |
| | | | % | — | 実績 | 1,198 | 1,822 | 2,162 | 2,565 | |
| | | | | | 達成度 | 120 | 121 | 108 | 103 | 0 |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により、PR活動はできなかったが、着実に登録者は増えてきている。また、登録者の平均歩数も昨年度より500歩増えており、健康づくりへの関心が高くなってきていると考えられる。ウォーキングは、コロナ禍の中でも、手軽に運動することができるツールであり、今後も当初の目標である登録者数3,000人に向けて、啓発活動を続けていきたい。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | 健幸マイレージのPR活動を行い、登録者の増加に努める。 (1) 市広報紙への事業掲載や各種講座等での事業説明を行い、登録のフォローを行う。 (2) 貯めたポイントに応じた賞品交換を年1回(6月)に実施する。 (3) 利用者が飽きず楽しめる新たな機能の搭載について、検討する。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 4,495 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-3 | 事業名 | 総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|---|---|---|-----------------------|------------------|------------|--------|--------|-----------|--------|--------|--|
| 事業内容 | | 総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室やイベントを開催するなど、子どもから高齢者まで日常的にスポーツや健康づくりを行い、気軽に交流を深めることができる場を提供します。 | 予算額 ※千円 | 2,293 | 決算額 ※千円 | 1,499 | | | | | |
| 令和3年度計画 | | (1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 ジュニアアスリート支援事業 ・龍ヶ崎市小学生陸上記録会直前合同練習会 / コンディショニングレクチャー / グループオンライントレーニング 地域スポーツ推進事業 ・ウォーキング講座 / ランニングクリニック / HOGUストレッチ / サイクリング教室 障がい者スポーツ支援事業・障がい者スポーツ教室 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | (1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 たつのこフィールドや北文間運動広場など活動に係る施設利用について連携協力し、活動の充実を図った。 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 新型コロナウイルスの影響により中止となった事業もあるが、ウォーキング講座など市民に身近な場所である各コミュニティセンター等を拠点として進めた事業は参加者数も増加し安定した事業となっている。 ジュニアアスリート支援事業 ・龍ヶ崎市小学生陸上記録会直前合同練習会/コンディショニングレクチャー(新型コロナウイルスの影響のため中止) グループオンライントレーニング 4回 23人 地域スポーツ推進事業 ・ウォーキング講座 30回 延226名 / ランニングクリニック メイン(谷川真理氏講師)1回 98名 サブ 13回 72人 ・HOGUストレッチ 35回 延379人 / サイクリング教室 4回 延28人 障がい者スポーツ支援事業 ・障がい者スポーツ教室 12回 / 延165人 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成26年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | スポーツ教室の延べ利用者 (総合型地域スポーツクラブ) | 人 | 20,957 | 目標 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | |
| | | | | | 実績 | 23,088 | 19,167 | 11,704 | 10,463 | | |
| | | | % | — | 達成度 | 105 | 87 | 53 | 48 | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 北文間運動広場が開設されたことにより、スポーツ教室等の活動場所が広がった。 交付金事業についても、地域スポーツ推進事業を始め市民に身近なコミュニティセンターの協力を得て実施したことにより安定した参加者が確保できるようになった。今後も継続して事業を開催していきたい。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | (1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 ニューススポーツ推進事業 : ニューススポーツスクール 障がい者スポーツ推進事業 : 障がい者スポーツ教室 地域スポーツ推進事業 : ウォーキング講座 / ランニングクリニック / HOGUストレッチ / ロードサイクリング教室 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 2,022 | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-4 | 事業名 | スポーツ大会・イベントの充実 | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | |
|---|--|---|----------------|------------------|-----|-------|------------|------------|-------|-------|--|
| 事業内容 | | 市民スポーツフェスティバルや市民スポーツ・レクリエーションまつりをはじめ誰もが気軽に楽しめる各種スポーツ大会・イベントを開催し、幅広い年代や関心、適性等に応じた多様なスポーツ機会を提供します。 | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | | 2,527 | 600 | | | |
| 令和3年度 計画 | | 市民スポーツフェスティバルや市民スポーツ・レクリエーションまつりをはじめ、誰もが気軽に楽しめる各種スポーツ大会・イベントを開催し、幅広い年代や関心、適性等に応じた多様なスポーツ機会を提供する。 (1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 10/10実施予定 (2)市民スポーツフェスティバルの開催 (3)県民駅伝・中学校駅伝競走大会他 | | | | | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | | 市民スポーツレクリエーションまつり及び県民駅伝・中学校駅伝競走大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、各スポーツ団体が主催する市民スポーツフェスティバルは少年サッカー大会を始め7団体が感染症対策をしながら大会を実施し、コロナ禍の中でもスポーツの機会を提供した。 (1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 中止 (2)市民スポーツフェスティバルの開催(10月～2月) 7団体 参加者数:1,844人 (3)県民駅伝・中学校駅伝競走大会 中止 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数 | 人 | 6,525 | 目標 | 7,500 | 8,500 | 8,600 | 8,700 | 8,800 | |
| | | | % | — | 実績 | 8,343 | 8,756 | 2,547 | 2,835 | | |
| | | | | | 達成度 | 111 | 103 | 30 | 33 | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツイベントの中止が相次いだ。今後は感染症を注視しながらイベントの開催に向けた検討をしていきたい。各スポーツ団体が開催するスポーツフェスティバルについてもできるだけ開催できるよう支援していきたい。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度 計画 | (1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)市民スポーツフェスティバルの開催 (3)県民駅伝 | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,977 | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-5 | 事業名 | 指定管理者によるスポーツ教室の充実 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | |
|---|--|--------------------------|-------------------|------------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 指定管理者が有するノウハウを生かし、子どもから高齢者まで幅広い年代のニーズに応じたスポーツ教室を展開し、市民の体力・健康づくりを支援します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | | |
| 令和3年度 計画 | 新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となっているため開館日が制約されるが、できるだけ市民の健康増進に寄与できる環境を整備する。 (1)指定管理者と連携し、幅広い年代やスポーツ・運動の習慣化に向けた動機付け等、多様なニーズに合わせた教室を実施する。 (2)市広報紙「りゅうぼー」へスポーツ教室募集記事を掲載するなど、市民へ広く周知し参加者の増加を図る。 (3)月一度の指定管理者の事業報告でスポーツ教室等の利用状況の把握 | | | | | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | (1)新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館や時間短縮営業があり、さらにワクチン接種会場となったため、スポーツ教室やイベント等が中止になりことが多かったが、営業再開時には感染症対策として、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保や手指消毒等利用者の協力を得てスポーツ教室を実施した。 (2)市広報紙「りゅうぼー」のイベントカレンダーに毎月のスポーツ大会等を掲載した。また、スポーツ教室の募集記事を掲載し参加者の増加を図った。 (3)毎月の定例会において、スポーツ教室の利用状況の前月との比較による増減理由などの報告を受けた。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | スポーツ教室の延べ利用者数 (指定管理者) | 人 | 51,795 | 目標 | 52,000 | 54,000 | 54,000 | 54,000 | 54,000 |
| | | | % | — | 実績 | 47,895 | 45,653 | 40,999 | 29,070 | |
| | | | | | 達成度 | 92 | 85 | 76 | 54 | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や時間短縮営業、さらにワクチンの集団接種会場となりスポーツ教室が実施できず、利用者も減少している。今後感染症対策を講じながら、利用者のニーズにあったスポーツ教室を開催していく必要がある。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度 計画 | 新型コロナウイルスのワクチン集団接種会場となっているため開館日が制限されるが、市民の健康増進に寄与できるよう環境を整備する。 (1)指定管理者と連携し、幅広い年代やスポーツ・運動の習慣化に向けた動機付け等、多様なニーズに合わせた教室を実施する。 (2)市広報紙「りゅうぼー」へスポーツ教室の募集記事を掲載するなど、市民へ広く周知し参加者の増加を図る。 (3)月1回の指定管理者との定例会においてスポーツ教室等の利用状況を把握する。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-6 | 事業名 | ニュースポーツの推進 | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|--|---|---|------------|------------------|-----|-------|------------|------------|-------|-------|
| 事業内容 | スポーツ推進委員やレクリエーション協会との連携を図りながら、ニュースポーツの体験教室や大会を開催するなど、ニュースポーツの普及に努めます。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| | | | | | | | 1,243 | 332 | | |
| 令和3年度計画 | スポーツ推進委員やレクリエーション協会と連携して、ニュースポーツの研究やニュースポーツ体験教室などを開催し、ニュースポーツの普及に努める。 (1)ニュースポーツの研究・龍ヶ崎発のニュースポーツの普及 (2)ニュースポーツ体験教室の実施 (3)各種ニュースポーツ大会の開催 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1)ニュースポーツの研究・龍ヶ崎市発のニュースポーツの普及 市スポーツ推進委員が研究を重ね、子どもから高齢者まで気軽に楽しめる龍ヶ崎市発のニュースポーツ「まいりゅうコロコロ」を考案し、実技研修等を行いながらルールの改善を図った。令和4年度からはコミュニティセンターからの普及を図るため、各コミュニティセンターで実施する体験教室の希望調査を行った。(8コミュニティセンター・計17回 実施予定) (2)ニュースポーツ体験教室の実施 令和4年2月27日(日) 会場:たつのこアリーナ ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 (3)各種ニュースポーツ大会の開催 ・龍ヶ崎市レクリエーション協会加盟団体によるニュースポーツ大会等※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ・ヘルシーボール大会 開催日:11月28日(日) 会場:たつのこアリーナ ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | ニュースポーツ教室・大会の延べ参加者数 | 人 | 946 | 目標 | 1,100 | 1,150 | 1,150 | 1,200 | 1,200 |
| | | | % | — | 実績 | 1,157 | 1,339 | 34 | 0 | |
| | | | | | 達成度 | 105 | 116 | 3 | 0 | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に■ | | 例年ニュースポーツの大会や体験教室の実施はニューライフアリーナ龍ヶ崎でのイベントとして実施しているが、参加できる方が限られてしまうため、市民に身近な場所であるコミュニティセンターで体験する機会を提供する必要がある。 | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | スポーツ推進委員やレクリエーション協会と連携して、ニュースポーツ体験教室の実施等、ニュースポーツの普及に努める。 (1)コミュニティセンターでの龍ヶ崎発のニュースポーツ「まいりゅうコロコロ」の普及 (2)ニュースポーツ体験教室の実施 (3)各種ニュースポーツ大会の開催 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,245 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-7 | 事業名 | ウォーキングの普及 | | | 担当課 | スポーツ都市推進課/健幸長寿課 | | | | | |
|---|-------|--|-----------|------------------|----|-------|-----------------|-------|------------|-------|--|--|
| 事業内容 | | ウォーキングに係る講座やイベントを継続的に実施するとともに、ウォーキングコースを広く周知することにより、より多くの市民へのウォーキング普及に努めます。 | | | | | 予算額 ※千円 | 1,240 | 決算額 ※千円 | 522 | | |
| 令和3年度 計画 | | <p>【スポーツ都市推進課】 総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)と連携し、市の交付金事業としてポールを使ったウォーキングと体操を合わせたウォーキング教室を各コミセンを拠点として実施する。 指定管理者事業としてウォーキングタイムを実施する。</p> <p>【健幸長寿課】 高齢者への健康づくりの一つとしてウォーキングを普及していきます。 (1) 健幸ウォーキング講座を開催(全5回1コースを年2回) (2) てくてくロードについて市広報紙等に掲載し、コースの周知を行います。 (3) 健幸ウォーキングマップを配布することにより、てくてくロードの周知を行います。 (4) てくてくロードの環境を維持するために、コースの点検作業及び路面標示の提示を行います。</p> | | | | | | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | | <p>【スポーツ都市推進課】 NPO法人クラブ・ドラゴンズの交付金事業として、市民に身近なコミュニティセンターと連携しポールを使ったウォーキング教室を実施した。実施回数:30回 延参加者数:226人 指定管理者の事業としてウォーキングタイムを実施した。実施回数:29回 延参加者数:455人</p> <p>【健幸長寿課】 高齢者への健康づくりの一つとしてウォーキングを普及しました。 (1) 健幸ウォーキング講座を開催し、市内でてくてくロード等のコースをポールウォーキングしました。(5~6月・令和4年2月~3月) (2) てくてくロードについて市広報紙等に掲載し、コース及び完歩賞の周知をしました。 (3) 健幸ウォーキングマップを各コミュニティセンター等で配布し、てくてくロードの周知をしました。 (4) てくてくロードの環境を維持するために、7月に長戸コースの除草作業、11月に13コースの状況確認をしました。</p> | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | | |
| ☆ | ☆ | 健康ウォーキング講座の延べ参加者数 | 人 | 189 | 目標 | 360 | 380 | 400 | 425 | 450 | | |
| | | | | | 実績 | 843 | 847 | 321 | 728 | | | |
| % | — | 達成度 | % | — | 目標 | 234 | 223 | 80 | 171 | | | |
| | | | | | 実績 | 234 | 223 | 80 | 171 | | | |
| ☆ | ☆ | てくてくロードを歩いた延べ人数 | 人 | 1,179 | 目標 | 2,000 | 2,075 | 2,150 | 2,225 | 2,300 | | |
| | | | | | 実績 | 1,176 | 974 | 1,063 | 649 | | | |
| % | — | 達成度 | % | — | 目標 | 59 | 47 | 49 | | | | |
| | | | | | 実績 | 59 | 47 | 49 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に | | <p>【スポーツ都市推進課】 コロナ禍ではあったが、ウォーキングは屋外での活動でもあり、マスクの着用やソーシャルディスタンスをとりながら実施することができた。今後もコロナ禍でもできる健康づくりとしてウォーキングの取組を進めていきたい。</p> <p>【健幸長寿課】 事業等を通して、ウォーキングに関心を持ち日々歩いている方が増えてきていることは認識している。そのような中で、てくてくロードをコースとしてウォーキングをされている方も多くいることから、利用者が安全安心に歩くことができるよう、コース環境の管理を今後も実施していく必要はある。 その他、てくてくロードに関する周知は継続して行い、講座等を通して、より楽しみながら歩ける機会の提供を図っていく。</p> | | | | | | | | | | |
| 令和4年度 計画 | | <p>【スポーツ都市推進課】 総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業としてポールを使ったウォーキング教室を各コミセンと連携して実施する。 指定管理者事業としてウォーキングタイムを実施する。</p> <p>【健幸長寿課】 高齢者への健康づくりの一つとしてウォーキングを普及していく。 (1) 健幸ウォーキング講座を開催(全5回1コースを年2回) (2) てくてくロードについて市広報紙等に掲載し、コース及び完歩賞等の周知を行う。 (3) 現在の状況に合わせた健幸ウォーキングマップに改訂・増刷し、てくてくロードの周知を図る。 (4) てくてくロードの環境を維持するために、コースの点検作業等を行う。 (5) 老朽化したてくてくロードコース案内板を立て替える。</p> | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 4,825 | | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策1

| 事業No. | 1-1-8 | 事業名 | 健康づくりに向けた体操の普及 | | | | 担当課 | 健康長寿課 | | | |
|---|--|--|----------------|------------------|----|--------|--------|------------|------------|--------|--|
| 事業内容 | | コミュニティセンターなどの身近な場所において、いきいきヘルステラ教室や元気アップ体操を開催するなど、高齢者の健康づくりや居場所づくりに向けた体操の普及に努めます。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| | | | | | | | | 2,924 | 1,338 | | |
| 令和3年度計画 | | 高齢者の健康づくり等に向け、いきいきヘルステラ・元気アップ体操の普及に努める。 (1)シルバーリハビリ体操指導士会が主体となり、各コミュニティセンター等で「いきいきヘルステラ教室」を開催す。 (2)シルバーリハビリ体操指導士1級養成講習会を受講し、新しい指導員の増員を図る。 (3)シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会を開催し、新しい指導員の増員を図る。 (4)元気アップ体操指導員が主体となり、各コミュニティセンター等で「元気アップ体操」を開催する。 (5)元気アップ体操指導員養成講習会を開催し、新しい指導員の増員を図る。 (6)元気アップ体操指導員の研修会を開催し、指導スキルの均一化やレベルアップを図る。 (7)市広報紙等にて、各々の体操指導員の活動や体操についての周知を行う。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 高齢者の健康づくり等に向け、いきいきヘルステラ・元気アップ体操の普及に努めた。 (1)シルバーリハビリ体操指導士会が主体となり、各コミュニティセンター等で「いきいきヘルステラ教室」を開催した。 (2)シルバーリハビリ体操指導士1級養成講習会を受講し、新たに3名の1級指導士が養成された。 (3)シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会を開催し、修了者3名が指導士会に入会した。 (4)元気アップ体操指導員が主体となり、各コミュニティセンター等で「元気アップ体操」を開催した。 (5)元気アップ体操指導員養成講習会を開催し、新たに3名の指導員が養成された。 (6)元気アップ体操指導員の研修会を年4回実施し、指導員のスキルアップ等を行った。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市内での体操活動も、中止となる期間があり、再開後も参加者数を減らすなどの感染症防止対策を施しながらの活動となった。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成26年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | いきいきヘルステラ教室の延べ参加者数 | 人 | 21,881 | 目標 | 22,400 | 22,800 | 23,200 | 24,000 | 25,000 | |
| | | | | | 実績 | 19,942 | 18,745 | 5,841 | 6,425 | | |
| % | — | 達成度 | 89 | 82 | 25 | 27 | 0 | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成26年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | 元気アップ体操の延べ参加者数 | 人 | 7,398 | 目標 | 7,000 | 7,100 | 7,200 | 7,300 | 7,450 | |
| | | | | | 実績 | 7,121 | 6,292 | 3,106 | 4,629 | | |
| % | — | 達成度 | 102 | 89 | 43 | 63 | 0 | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、シルバーリハビリ体操ならびに元気アップ体操の活動は大幅に制限されたことから、参加者数は減少している。今後も、感染症防止対策を施し続けながらの教室運営となるため、指導士ならびに参加者の方が安全安心に体操が行えるように支援をしていきたい。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | 高齢者の健康づくり等に向け、いきいきヘルステラ・元気アップ体操の普及に努める。 (1)シルバーリハビリ体操指導士会が主体となり、各コミュニティセンター等で「いきいきヘルステラ教室」を開催する。 (2)シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会を開催し、新しい指導員の増員を図る。 (3)元気アップ体操指導員が主体となり、各コミュニティセンター等で「元気アップ体操」を開催する。 (4)元気アップ体操指導員の研修会を開催し、指導スキルの均一化やレベルアップを図る。 (5)市広報紙等にて、各々の体操指導員の活動や体操についての周知や参加者が少ない会場の参加者募集等を行う。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 2,230 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|----------------------|------------------|----|-------|------|------|------|------|----|
| 政策1 | スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | | | | | | | | |
| 施策2 | スポーツ団体活動の活性化 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 1-2-1 | スポーツ協会の組織体制の強化に向けた支援 | | | | | | | | | |
| | 1-2-2 | 総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援 | | | | | | | | | |
| | 1-2-3 | スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援 | | | | | | | | | |
| | 1-2-4 | スポーツ少年団の連携・交流大会への支援 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツクラブ等に加入している16歳以上の市民の割合 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | | | % | 17.6 | 目標 | — | — | — | — | 20 | |
| | | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| | ☆ | 総合型地域スポーツクラブの認知度 | 単位 | 25 | 目標 | — | — | — | — | 30 | |
| | | | % | — | 実績 | — | — | — | 27 | | |
| | | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| | ☆ | 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 単位 | 455 | 目標 | 500 | 550 | 600 | 700 | 800 | |
| | | | 人 | | 実績 | 423 | 456 | 400 | 278 | | |
| | | | | % | — | 達成度 | 85 | 83 | 67 | 40 | |
| | その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 龍ヶ崎市スポーツ少年団本部への加入団体数 | 単位 | 32 | 目標 | 32 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| | | | | 団 | | 実績 | 31 | 31 | 31 | 31 | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 97 | 97 | 94 | 91 |
| ☆ | | 市内スポーツ少年団への加入率 (小学生) | 単位 | — | 目標 | — | — | — | — | — | |
| | | | % | | 実績 | — | — | — | — | | |
| | | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| 進捗状況 | 評価事項 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | コロナ禍による活動の制限や少子化の進行に伴うスポーツ少年団への加入減少により、活動が縮小する少年団も多い中で、リモートによるストレッチや筋トレなど自宅で行える活動を取り入れ何とか活動を続けようと模索する少年団も出てきている。今後も団員の確保が難しい状況は続くと考えられるため、団員募集の支援や活動拠点の確保等の支援を継続していく必要がある。 また、総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」についても会員数が減少しており少子化やコロナ禍等の影響が大きいと思われるが、新たに北文間運動広場が開設されたことにより活動場所も増加し、安定した教室・講座が実施できている。また、交付金事業ではコミュニティセンターを拠点とした事業や障がい児を対象とした事業等を展開しており、利用者の増加につながるものと期待できることから概ね順調とした。 | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策2

| 事業No. | 1-2-1 | 事業名 | スポーツ協会の組織体制の強化に向けた支援 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
|---|---|-----|----------------------|------------|------------|--|
| 事業内容 | 市民の生涯スポーツの推進に向けてスポーツ協会が主体的に活動を展開できるよう、事務局機能の強化をはじめ、組織体制の強化を支援します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | |
| | | | | — | — | |
| 令和3年度 計画 | 他市町村へのアンケート調査実施項目の検討 ・調査項目を検討し、他市町村へアンケートを行う。 ※令和3年7月1日 龍ヶ崎市スポーツ協会へ名称変更 | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | 他市町村へのアンケート調査は実施できなかった。 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 他市町村のスポーツ協会の運営形態や事業内容及び財源等を確認しながら、スポーツ協会事務局機能の強化について検討する必要がある。 | | | | | |
| 令和4年度 計画 | 他市町村へのアンケート調査実施項目の検討 ・調査項目を検討し、他市町村へアンケート調査を行う。 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策2

| 事業No. | 1-2-2 | 事業名 | 総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | |
|---|---|------------------|--|------------------|------------|------------|------|------|------|------|
| 事業内容 | | | 総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援 会員募集や認知度向上を支援するとともに、幅広い年齢層が活動できるよう事業の拡大と活動拠点の確保を支援するなど、クラブの自立的運営と質的充実を促進します。 | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| | | | | | 2,293 | 1,499 | | | | |
| 令和3年度計画 | | | (1)総合型地域スポーツクラブの活動内容の周知 クラブの活動内容を市広報誌や市の公式ホームページに掲載する。 (2)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 活動場所・練習場所について連携協力し、市民へのスポーツ機会の充実を図る。 (3)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業の実施 ・ジュニアスリット支援事業(小学生市陸直前合同練習会・コンディショニングレクチャー・オンラインパーソナル) ・地域スポーツ推進事業(ウォーキング講座・ランニングクリニック・ストレッチ講習会・サイクリング教室) ・障がい者スポーツ推進事業(障がい者スポーツ教室) | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | (1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 たつのこフィールドや北文間運動広場など活動に係る施設利用について連携協力し、活動の充実を図った。 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあるが、ウォーキング講座など市民に身近な場所である各コミュニティセンター等を拠点として進めた事業は参加者数も増加し安定した事業となっている。 ジュニアスリット支援事業 ・龍ヶ崎市小学生陸上記録会直前合同練習会/コンディショニングレクチャー (新型コロナウイルスの影響のため中止) グループオンライントレーニング 4回 23人 地域スポーツ推進事業 ・ウォーキング講座 30回 延226名 / ランニングクリニック メイン(谷川真理氏講師)1回 98名 サブ 13回72人 ・HOGUストレッチ 35回 延379人 / サイクリング教室 4回 延28人 障がい者スポーツ支援事業 ・障がい者スポーツ教室 12回 / 165人 | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 総合型地域スポーツクラブの認知度 | % | 25 | 目標 | — | — | — | — | 30 |
| | | | % | — | 実績 | — | — | — | 27 | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| ☆ | 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 人 | 455 | 目標 | 500 | 550 | 600 | 700 | 800 | |
| | | | | 実績 | 423 | 456 | 400 | 278 | | |
| | | | % | — | 達成度 | 85 | 83 | 67 | 40 | 0 |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に 属 | 北文間運動広場が開設されたことにより、スポーツ教室等の活動場所は確保できつつある。交付金事業についても、地域スポーツ推進事業など市民に身近なコミュニティセンターの協力を得て実施したことにより安定した参加者が確保できようになった。今後も継続して事業を開催していきたい。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | | (1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 ニューススポーツ推進事業 ・ニューススポーツスクール 地域スポーツ推進事業 ・ウォーキング講座 / ランニングクリニック / HOGUストレッチ / ロードサイクリング教室 障がい者スポーツ支援事業 ・障がい者スポーツ教室 (3)各小中学校へのチラシの配付 | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 2,022 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策2

| 事業No. | 1-2-3 | 事業名 | スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|---|-------|----------------------|--|------------------|-----|-------|------|------------|-------|------------|-----|
| 事業内容 | | | スポーツ少年団の団員募集や指導者の育成支援するとともに、活動拠点の確保や大会の開催・出場を支援するなど、スポーツ少年団が継続的に活動できるよう支援します。 | | | | | 予算額 ※千円 | 1,330 | 決算額 ※千円 | 433 |
| 令和3年度計画 | | | (1)バスの賃借料の補助 大会に出場するスポーツ少年団を対象に、年1回を限度としバスの賃借料を補助する。 (2)学校施設夜間開放使用料の免除 活動拠点の確保を目的に、市内小中学校体育館の夜間開放使用料を免除する。 (3)スポーツ施設使用料の減免 総合運動公園及び市内テニスコートを対象に大会使用時に限り施設使用料及び備品使用料を減免する。 (4)市広報紙「りゅうぼー」及び市公式HPへの掲載(団紹介・団員募集) (5)各団への支援策の検討 | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | (1)バスの賃借料の補助 団体数:3団体 (2)学校施設夜間開放使用料の免除 16団体 (3)スポーツ施設使用料の減免 団体数2団体 大会数2大会 (4)市広報紙「りゅうぼー」及び市公式HPへの掲載(団紹介・団員募集) (5)テニスコート使用料の減免:2団体 | | | | | | | | |
| その他の目標数値 ★単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ★ | 龍ヶ崎市スポーツ少年団本部への加入団体数 | 団 | 32 | 目標 | 32 | 32 | 33 | 34 | 35 | |
| | | | % | — | 実績 | 31 | 31 | 31 | 31 | | |
| | | | | | 達成度 | 97 | 97 | 94 | 91 | 0 | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の自粛、施設の利用制限等により、スポーツ少年団活動が縮小しており、団員の減少により活動を休止する団体も出てきている。その一方で、コロナ禍でも活動を続けようと模索する団体も出てきており、リモートによるストレッチや筋トレなど自宅で行える活動を取り入れている団体もある。当面はコロナ禍での活動が続くと思われることから、引き続き団体の活動が継続・活性化できるよう多角的な支援をしていく必要がある。 | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | | (1)バス賃借料の補助 大会に出場するスポーツ少年団を対象に、年1回を限度としバスの賃借料を補助する。 (2)学校施設夜間開放使用料の免除 活動拠点の確保を目的に、市内小中学校の夜間開放使用料を免除する。 (3)スポーツ施設使用料の減免 総合運動公園及び市内テニスコートを対象に大会使用時に限り施設使用料及び備品使用料を減免する。 (4)市広報紙「りゅうぼー」及び市公式HPへの掲載(団紹介・団員募集) (5)各団への支援策の検討 | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,330 | | | | | | | | | | |

| 事業No. | 1-2-4 | 事業名 | スポーツ少年団の連携・交流活動への支援 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|---|-------|-----|---|--|--|--|-----|------------|-----|------------|---|
| 事業内容 | | | スポーツ少年団同士の連携や交流活動の促進に向けて支援します。 | | | | | 予算額 ※千円 | 120 | 決算額 ※千円 | 0 |
| 令和3年度計画 | | | 龍ヶ崎市スポーツ少年団本部交流大会の開催 開催予定日:令和4年2月6日(日) 内容:スポーツ少年団活動の功労者に対し表彰を行う。 その他の内容は未定(種目内容や人数等を検討) | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | 交流大会については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、交流大会の際に行っていた表彰については実施し、功労者表彰対象者12名(教育長賞5名、特別功労賞3名、功労賞4名)に賞状と記念品を団を通じ渡しました。 | | | | | | | | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、感染症対策を実施したうえで大会を開催できるよう内容を見直します。 | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | | (1)龍ヶ崎市スポーツ少年団交流大会の開催 開催予定日:令和5年2月4日 内容:各団対抗で長縄跳び・綱引き種目を競う。スポーツ少年団活動の功労者に対し表彰を行う。 | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 120 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|------------------|--|-------|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 政策1 | スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | | | | | | | | |
| 施策3 | 障がい者スポーツの環境整備 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 1-3-1 | スポーツ施設のバリアフリー化の推進 | 1-3-5 | 全国障害者スポーツ大会の開催を契機とした障がい者スポーツの普及 | | | | | | | |
| | 1-3-2 | スポーツを通じた障がい者の交流の促進 | | | | | | | | | |
| | 1-3-3 | 障がい者スポーツの周知啓発 | | | | | | | | | |
| | 1-3-4 | 障がい者スポーツ大会の開催及び参加への支援 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者) | 人 | ベース値 (平成28年度) | 5,068 | 目標 | 5,140 | 5,180 | 5,220 | 5,260 | 5,300 |
| | | | % | — | 実績 | 4,817 | 4,231 | 2,619 | 1,100 | | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設における障がい者スポーツ大会の開催数 | 回 | 2 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | | % | — | 実績 | 5 | 4 | 0 | 0 | | |
| | | | | | 目標 | | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | | % | — | 達成度 | | | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | | |
| | | | % | — | 達成度 | | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 <input checked="" type="checkbox"/> ※当てはまる事項に | | 障がい者の総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による施設閉館や終息が見えない感染の不安から利用を控えていると思われる、目標値の約20%の利用に留まっている。また昨年度に引き続き、大会やイベントも中止となっており評価することは難しいが、施設面においては、身体障がい者手帳アプリを導入して利用者の利便性向上を図り、令和4年4月に開設したスポーツサロン北文間館の改修時にはスロープを設け館内のバリアフリー化を行い誰もが利用しやすい施設へと改修を行うなど、進捗状況は概ね順調であると判断した。 今後も指定管理者と連携しながら、誰もが安心してスポーツを行うことができる施設運営を目指していく必要がある。 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策3

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------|--|-------------------|------------------|----|-------|-------|------------|------------|-------|--|
| 事業No. | 1-3-1 | 事業名 | スポーツ施設のバリアフリー化の推進 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
| 事業内容 | | 市のスポーツ施設のバリアフリー化を推進し、障がい者の利用に配慮した施設運営に努めます。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| | | | | | | | | 57,860 | 57,860 | | |
| 令和3年度計画 | | 既存施設の点検及び利用者の意見等を聴取しながら、障がい者だけではなく高齢者等、誰もが利用しやすい施設となるよう適宜改善を図る。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | スポーツサロン北文間館改修時にスロープを設け、館内はバリアフリー化とし、誰もが利用しやすい施設へとしました。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者) | 人 | 5,068 | 目標 | 5,140 | 5,180 | 5,220 | 5,260 | 5,300 | |
| | | | | | 実績 | 4,817 | 4,231 | 2,619 | 1,100 | | |
| % | — | 達成度 | 94 | 82 | 50 | 21 | 0 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 総合運動公園についてはバリアフリー化が進み、利便性が向上しました。しかし、その他の屋外施設については立地場所や施設の構造上バリアフリー化が困難な場所があるため、バリアフリー化の推進を行うにあたり今後の課題となります。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | バリアフリー化の検討(和式便座→様式便座) | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------|---|--------------------|--|--|--|-----|------------|------------|--|--|
| 事業No. | 1-3-2 | 事業名 | スポーツを通じた障がい者の交流の促進 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
| 事業内容 | | 市が実施するスポーツイベント等では、障がい者に配慮し、スポーツ・レクリエーション活動への一層の参加を促進するなど、障がい者同士あるいは健常者との交流を促進します。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| | | | | | | | | 1,096 | 116 | | |
| 令和3年度計画 | | スポーツ・レクリエーションまつり等において、年齢・体力・性別を問わず誰もが楽しめるニュースポーツを体験できる機会を提供し、障がい者スポーツの理解と普及を図る。また、広報紙りゅうほー等で参加の促進を図る。 (1)スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)ニュースポーツ体験教室の開催 (3)NPO法人クラブ・ドラゴンズの交付金事業として「障がい者スポーツ支援事業」の実施 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 新型コロナウイルス感染症の影響により市民スポーツ・レクリエーションまつり及びニュースポーツ体験教室は中止となった。NPO法人クラブ・ドラゴンズの交付金事業として「障がい者スポーツ支援事業」を実施し、市内の障がい者施設と連携し、障がい児放課後デイサービスに通う子供たちを対象に基礎的な身体の動かし方を楽しみながら学べるような場を提供し運動能力の向上を図った。回数:12回 延参加者数:165人 | | | | | | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベント・教室等が中止となったドラゴンズの交付金事業として障がい児の放課後デイサービスに通う子ども達を対象にスポーツ指導を実施しているが、今後はさらに対象者を増やしていきたい。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | (1)スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)ニュースポーツ体験教室の開催 (3)NPO法人クラブ・ドラゴンズの交付金事業「障がい者スポーツ支援事業」を実施 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,192 | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策3

| | | | | | | |
|---|-------|-----|--|------------|------------|--|
| 事業No. | 1-3-3 | 事業名 | 障がい者スポーツの周知啓発 | 担当課 | 社会福祉課 | |
| 事業内容 | | | 障がい者のレクリエーションや健康づくりとして、障がい者スポーツ大会や集いに関する情報提供や周知を行い、参加を促進します。 | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | |
| | | | | — | — | |
| 令和3年度計画 | | | 広報紙や市役所窓口等にて各種大会について広報活動を行うとともに、障がい者団体や障がい者施設等に参加の働きかけを行う。新規参加者の参加を狙い、龍ヶ崎市内の障がい者事業所に情報提供を実施する。 | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | 新型コロナウイルスの影響により、障がい者スポーツ大会や集いの実施がなかったため、周知啓発活動実施なし。 | | | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | 参加者の高齢化や固定化が進んでいるため、若い世代にも参加してもらえるよう周知していく必要がある。 | | | |
| 令和4年度計画 | | | 広報紙や市役所窓口等にて各種大会について広報活動を行うとともに、障がい者団体に参加の働きかけを行う。また、参加者を幅広く呼びかけるため、市内の障がい福祉事業所に情報提供を実施する。 | | | |
| 予算額 ※千円 | | | — | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|-------|---------------------------------|---|------------------|-----------------|-------|------|------|------|------|
| 事業No. | 1-3-4 | 事業名 | 障がい者スポーツ大会の開催及び参加への支援 | 担当課 | 社会福祉課/スポーツ都市推進課 | | | | | |
| 事業内容 | | | 障がい者の交流機会を広く確保するため、積極的に施設の開放を促進し、障がい者スポーツ大会の開催を支援するとともに、県大会や全国大会等への参加を支援します。 | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | | |
| | | | | 87 | 0 | | | | | |
| 令和3年度計画 | | | 【社会福祉課】 (1)地域身体障害者スポーツ大会 令和3年8月21日(土) たつのこアリーナ ※開催に関して、現在関係市町村・障がい者協会と方針調整中 【スポーツ都市推進課】 スポーツ施設において、障がいのある方への利便性の確保及び施設の開放を促進するとともに、全国大会等への出場者に対し激励金を交付し経済的な支援も行う。 | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | 【社会福祉課】 令和3年8月に近隣市町村で開催を予定していた地域身体障害者スポーツ大会(ニューライフアリーナ龍ヶ崎)については、新型コロナウイルスの影響により中止した。 【スポーツ都市推進課】 障がい者の全国大会出場激励金については申請がなかった。 | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設における障がい者スポーツ大会の開催数 | 回 | 2 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | | | | 実績 | 5 | 4 | 0 | 0 | |
| | | % | — | 達成度 | 125 | 100 | 0 | 0 | 0 | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | 例年開催していた障がい者の大会は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に続き開催されなかったが、大会開催に際し、新型コロナウイルスの感染防止やバリアフリー会場の確保等、障がい者が安心して参加できる環境づくりが重要である。今後の開催については感染状況を注視しながら検討していくものと思われる。 | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | | 【社会福祉課】 地域身体障害者スポーツ大会 令和4年9月17日(土) 江戸崎総合運動公園 体育館 ※開催に関して、現在関係市町村・障がい者協会と方針調整中 【スポーツ都市推進課】 スポーツ施設において、障がい者への利便性の確保及び施設の開放を促進するとともに、全国大会等への出場者に対し激励金を交付し経済的な支援も行う。 | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | | | 87 | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1-施策3

| | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|---------------------------------|------------------|-----|------------|------------|-------|-------|-------|
| 事業No. | 1-3-5 | 事業名 | 全国障害者スポーツ大会の開催を契機とした障がい者スポーツの普及 | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | |
| 事業内容 | 第19回全国障害者スポーツ大会のスポーツ吹矢(オープン競技)の開催に向けた準備を進めるとともに、同大会の開催を広く周知し、障がい者スポーツへの関心を高めます。 | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | — | — | | | |
| 令和3年度 計画 | (1)スポーツ施設において、障がい者への施設開放を促進する。 (2)新たに卓球バレーを行える場を提供する(指定管理者提案事業) | | | | | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | (1)新型コロナウイルス感染症の影響により障がい者のスポーツ大会も中止となり、通常の施設利用も減少している。 (2)指定管理者事業として障がい者も楽しめる卓球バレーの普及を掲げているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり今年度は未実施。 (3)身体障がい者手帳アプリ(ミライOID)をスマホに登録することにより、その画面(スマホ)を提示するだけで障がい者割引等窓口で利用できる制度を導入した。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者) | 人 | 5068 | 目標 | 5,140 | 5,180 | 5,220 | 5,260 | 5,300 |
| | | | | | 実績 | 4,817 | 4,231 | 2,619 | 1,100 | |
| | | | % | — | 達成度 | 94 | 82 | 50 | 21 | 0 |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | 新型コロナウイルス感染症の影響により大会等も実施されず、障がい者の施設利用が減少している。 今後感染症の終息時には、利用者が戻るよう施設開放の促進や障がい者スポーツの関心を高めるための工夫が必要。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度 計画 | (1)スポーツ施設において、障がい者への施設開放を促進する。 (2)新たに卓球バレーを行える場を提供する(指定管理者提案事業) | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | |

| 政策2 | | 子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|---|------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|
| 施策1 | | 子どもの体力づくりの推進 | | | | | | | | |
| 主な事業 | | 2-1-1 | 各小中学校の課題に応じた体力づくり | | | | | | | |
| | | 2-1-2 | 運動・遊び・スポーツ活動の実践力の育成 | | | | | | | |
| | | 2-1-3 | 小中一貫教育における体力向上策の計画立案 | | | | | | | |
| | | 2-1-4 | 学校体育及び競技大会における市のスポーツ施設の活用 | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 体力テスト総合評価でA+Bの児童生徒の割合 | % | 54.3 | 目標 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | | | | | 実績 | 54.4 | 51.6 | — | 47 | |
| | | | | | 達成度 | 91 | 86 | — | 78 | |
| ☆ | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において男女ともに県平均を上回った種目数 | | 小学5年生 2種目 中学2年生 2種目 | 目標 | 小5 4種目 中2 4種目 | |
| | | | | 実績 | 小5 2種目 中2 0種目 | 小5 0種目 中2 0種目 | — | 小5 0種目 中2 0種目 | | |
| | | | | 達成度 | 小5 50 中2 0 | 小5 0 中2 0 | — | 小5 0 中2 0 | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | % | — | 達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | | |
| | | % | — | 達成度 | | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 目標値である「体力テスト総合評価AまたはBの児童生徒の割合60%」については中学校女子以外の目標達成は厳しい結果となっているが、コロナ禍でも実施できる体力向上の取組みについて各校工夫を凝らして実施している。また、市の充実したスポーツ施設を活用することによって児童生徒の活動意欲が高まり、専門家からの助言で技能の向上が図られているなど、取組の進捗状況は概ね順調である。 | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2-施策1

| 事業No. | 2-1-1 | 事業名 | 各小中学校の課題に応じた体力づくりの推進 | | | | 担当課 | 指導課 | | | | |
|--|---------------------------------------|---|----------------------|------------------------------|---------------|------------------|------------------|-----------------------------|------------------|------------------|--|--|
| 事業内容 | | 各小中学校が「体力アップ推進プラン」及び「体力アップ1校1プラン」を策定し、それぞれの課題に応じた児童生徒の体力づくりに取り組みます。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | | | — | — | | | |
| 令和3年度計画 | | 体力テストA及びBの割合60%を目指して下記のような取組を行う。 (1)新型コロナウイルス感染症対策を講じながら体力テストを実施する。 (2)体力テストの結果を分析しながら「体力アップ推進プラン」を作成する。 (3)学校訪問を通して、体力向上に向けた指導・助言を行う。 | | | | | | 実施期間4月～7月 8月提出 6月～12月 | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら下記のような取組を行った。 (1)(2)体力テストの実施と体力アップ推進プランの作成 令和3年度に行われた体力テストの結果を分析し、8月に各校で体力アップ推進プランを作成した。その中で学校の実態から課題を見つけ「1学校1プラン」を作成し、体力の向上に努めた。 (3)新型コロナウイルス感染症対策を講じながら体力テストを実施した。 学校訪問の際、各校の新型コロナウイルス感染症対策及び熱中症対策と体力向上に向けた進捗状況を確認し指導・助言を行った。 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | | |
| | ☆ | 体力テスト総合評価でAまたはBの児童生徒の割合 | % | 54.3 | 目標 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | | |
| | | | % | — | 実績 | 54.4 | 51.6 | — | 46.8 | | | |
| | | | % | — | 達成度 | 91 | 86 | — | 78 | 0 | | |
| ☆ | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において男女ともに県平均を上回った種目数 | | | 小学5年生 2種目 中学2年生 2種目 | 目標 | 小5 4種目 中2 4種目 | 小5 4種目 中2 2種目 | 小5 4種目 中2 4種目 | 小5 4種目 中2 4種目 | 小5 4種目 中2 4種目 | | |
| | | % | — | 達成度 | 小5 50 中2 0 | 小5 0 中2 0 | — | — | 小5 0 中2 0 | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に■ | | コロナ禍でも実施できる体力向上について各校工夫を凝らして実施しているが、目標値である「体力テスト総合評価AまたはBの児童生徒の割合60%」については中学校女子以外については困難な数値設定となっている。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | 体力テストA及びBの割合60%を目指して下記のような取組を行う。 (1)新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの体力テスト (2)体力テストの結果を分析した「体力アップ推進プラン」の作成 (3)学校訪問を通して、体力向上に向けた指導・助言 | | | | | | 実施期間4月～7月 8月提出 6月～12月 | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | | |

| 事業No. | 2-1-2 | 事業名 | 運動・遊び・スポーツ活動の実践力の育成 | | | | 担当課 | 指導課 | | | | |
|--|-------|--|---------------------|--|--|--|-----|------------|------------|--|--|--|
| 事業内容 | | 健康でたくましく生きるための体力の向上に向けて、学校における運動・外遊びの時間を確保するなど、日常的な運動・遊び・スポーツ活動の実践力を育成します。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | | | — | — | | | |
| 令和3年度計画 | | 日常的な運動・遊び・スポーツ活動の実践力を育成するために新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら下記のような取組を行う。 (1)日課表を工夫し、業前、業間、昼休み等の他、感染拡大防止策として活動場所を工夫して運動・スポーツ活動を行う。 (2)運動の特性に応じ、ある期間を推奨月間として運動に取り組む。(冬期における持久走・縄跳び・合同練習) (3)新型コロナウイルス感染症対策として縦割り班での遊びは控える。 | | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 日常的な運動・遊び・スポーツ活動の実践力を育成するために下記のような取組を行った。 (1)小学校の日課表の工夫における、運動・スポーツ活動の実践 日課表を工夫し、昼休みの時間延長や週1回の学級全員での外遊び等に取り組むよう指導した。 (2)推奨月間として運動に取り組む取組の実践。 冬期における持久走・縄跳び及び冬期の合同部活動について学校の実態に合わせて取り組むよう指導した。 (3)新型コロナウイルス感染症対策新型 縦割り班での遊びは実施しないよう各校に周知した。 | | | | | | | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に■ | | 小学校においては各校で運動・遊び・スポーツに親しめる活動を工夫して実践している。今後も、運動・遊び・スポーツ活動の実践力の育成を図っていく。中学校においても冬期の部活動において合同練習を行うなど工夫した取組が実施されているが、運動量の確保が課題となっている。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | 日常的な運動・遊び・スポーツ活動の実践力を育成するために新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら下記のような取組を行う。 (1)日課表の工夫による、運動量の確保 (2)運動の特性に応じ、一定期間を推奨月間としての取組 | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2-施策1

| 事業No. | 2-1-3 | 事業名 | 小中一貫教育における体力向上策の計画立案 | 担当課 | 指導課 | |
|---|-------|--|----------------------|-----|------------|------------|
| 事業内容 | | 小中一貫教育における体力向上策の計画を立案し、中学校区ごとに体力向上に向けた取組を推進します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | — | — |
| 令和3年度計画 | | 中学校区ごとに体力向上に向けた取組を推進するため下記の取組を行う。 (1)中学校区ごとに準備運動や体づくり運動等を見直し、年間指導計画の見直しを図る。 (2)個人の記録の向上を記録し引き継ぎを正確に行う。 | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 中学校区ごとに体力向上に向けた取組を推進するため下記の取組を行った。 (1)中学校区ごとに準備運動や体づくり運動等を見直し、年間指導計画の見直しを図る。9年間を見据えた年間指導計画の見直しをするよう指導した。 (2)個人の記録の向上を記録し引き継ぎを正確に行う。年度末に体カテストの結果の引き継ぎを行うよう指導した。 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 個人記録の引き継ぎについては継続して行われているが、今後は引き継がれてきた記録の有効な活用方について検討していく必要がある。また、校務支援システムの活用により引き継ぎが効果的であると考えている。 | | | | |
| 令和4年度計画 | | 中学校区ごとに体力向上に向けた取組を推進するため下記の取組を行う。 (1)準備運動や体づくり運動等を含めた年間指導計画の見直し (2)個人記録の向上を記録し蓄積及び引き継ぎ | | | | |
| 予算額 ※千円 | | — | | | | |

| 事業No. | 2-1-4 | 事業名 | 学校体育及び競技大会における市のスポーツ施設の活用 | 担当課 | 指導課 | |
|---|-------|---|---------------------------|-----|------------|------------|
| 事業内容 | | 学校教育や各種競技大会の場として総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設を活用し、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めます。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | — | — |
| 令和3年度計画 | | 新型コロナウイルス感染状況を適切に判断しスポーツ施設を活用したスポーツ大会の実施を検討していきます。 (1)流通経済大学龍ヶ崎フィールドの活用について:陸上記録会(中止) (2)スポーツ施設の活用について:中学校総合体育大会、新人体育大会 (3)たつのこアリーナのプールの使用について:水泳学習 | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 市のスポーツ施設を活用し、児童生徒の体力・運動能力の向上を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため複数の大会の開催を見送る決断をした。 (1)(2)流通経済大学龍ヶ崎フィールド及びスポーツ施設の活用について 総合体育大会及び新人体育大会において活用した。小中学校の陸上記録会及び中学校駅伝大会は中止となった。 (3)たつのこアリーナのプールの使用について 当初計画通り、水泳学習で活用した。 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 市の充実したスポーツ施設を活用することによって児童生徒の活動意欲が高まり、専門家からの助言で技能の向上が図られている。設備が充実しておりケガの恐れもなくのびのびと活動でき、今後も連携を取り合いながら有効に活用し、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めていく。 | | | | |
| 令和4年度計画 | | 新型コロナウイルス感染状況を適切に判断しスポーツ施設を活用したスポーツ大会の実施を検討していきます。 (1)流通経済大学龍ヶ崎フィールド及びスポーツ施設の活用 (2)たつのこアリーナのプールの活用 | | | | |
| 予算額 ※千円 | | — | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|--|---|------------------|-----|-----|-------|-----|------|----|------|----|------|----|------|--------|
| 政策2 | 子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策2 | 運動部活動の活性化 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 2-2-1 | 部活動指導員配置制度の創設 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2-2-2 | 運動部活動における外部指導者の活用 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2-2-3 | 運動部活動の支援体制の充実 | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツ指導者バンク制度による運動部活動への指導者派遣人数 | 人 | ベース値 (平成28年度) | 6 | 数値 | 平成30年 | 10 | 令和元年 | 10 | 令和2年 | 10 | 令和3年 | 10 | 令和4年 | 10 |
| | | | % | — | 達成度 | 130 | 90 | 100 | 80 | 0 | | | | | | |
| | ☆ | 生徒の運動部活動への参加率 | % | 71.2 | 目標 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | モニタリング |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | | | | 目標 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | | | | | |
| | | | % | — | 達成度 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | | | | | | | | |
| | | % | — | 達成度 | | | | | | | | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | スポーツ指導者派遣事業では、各中学校運動部からの要望のとおり9名の派遣を予定していたところ、新型コロナウイルス感染症の影響により8名の派遣となったが、概ね希望どおりに派遣することができている。今後はさらに充実した指導者派遣を実施できるよう、継続して人材確保に努めていく必要がある。また、大会出場に係る交通費等についてはコロナ禍に配慮したバス利用の補助を実施しており、保護者の経済的負担軽減を図りながら部活動支援を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2-施策2

| | | | | | | |
|---|--|-----|---------------|-----|------------|------------|
| 事業No. | 2-2-1 | 事業名 | 部活動指導員配置制度の創設 | 担当課 | 教育総務課／指導課 | |
| 事業内容 | スポーツ指導に係る専門性を有し、教員と連携して運動部活動を支え、大会引率も可能な部活動指導員の配置制度を創設します。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | — | — |
| 令和3年度計画 | 優良事例の調査・情報収集を行い、中学校における適切な練習時間や休養日の設定状況確認、教員の部活動指導時間の軽減、部活動指導員の段階的な配置に向けた取り組みなど、制度運営と管理に努める。 | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | 各種研修会に参加し、県の最新の動向を踏まえながら、優良事例の情報収集に努めた。 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 部活動指導員の確保が課題である。 | | | | | |
| 令和4年度計画 | ・部活動指導員の募集 ・部活動指導員の研修 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------|-------------------|------------------|---------------|------------|------|------|------|------|
| 事業No. | 2-2-2 | 事業名 | 運動部活動における外部指導者の活用 | 担当課 | スポーツ都市推進課／指導課 | | | | | |
| 事業内容 | スポーツ指導者バンク制度の充実に努めるとともに、流通経済大学やスポーツ協会との連携により、運動部活動における外部指導者の活用を促進します。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| | | | | | 1,000 | 280 | | | | |
| 令和3年度計画 | 各中学校運動部にアンケートを実施し、スポーツ指導者バンクに登録のある指導者の派遣を行う。また、スポーツ指導者バンクの充実を図る。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | スポーツ指導者派遣事業(市スポーツ協会事業) 派遣実績:4中学校 6競技 指導者8名 城西中学校:野球・卓球・剣道 長山中学校:ソフトテニス・卓球 中根台中学校:サッカー 城ノ内中学校:卓球・弓道 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | スポーツ指導者バンク制度による運動部活動への指導者派遣人数 | % | 6 | 目標 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | | | | | 実績 | 13 | 9 | 10 | 8 | |
| | | | % | — | 達成度 | 130 | 90 | 100 | 80 | 0 |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 各中学校運動部にアンケートを実施し、指導者を派遣している。各中学校の要望9名に対して指導者9名を配置したが、新型コロナウイルス感染症の影響で指導者が1名指導できなくなり8名を派遣した。今後はスポーツ指導者バンクの充実を図るため、引き続き指導者の募集を行っていく必要がある。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | 【スポーツ都市推進課】 各中学校運動部にアンケートを実施し、スポーツ指導者バンクに登録のある指導者の派遣を行う。また、スポーツ指導者バンクの充実を図る。 【指導課】 中学校部活動スポーツ指導者派遣事業に基づき、以下の取組を推進する。 (1)地域の競技団体との連携や、複数顧問による指導体制づくりを行い、部活動の活性化につながるよう外部指導者の有効な活用方法を検討していく。 (2)中学校体育連盟との連携や各種研修会への積極的な参加を通して、部活動顧問の指導技術の向上を図る。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,000 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2-施策2

| 事業No. | 2-2-3 | 事業名 | 運動部活動の支援体制の充実 | 担当課 | 教育総務課 | |
|---|--|-----|---------------|-----|------------|------------|
| 事業内容 | 大会出場に係る経費の補助やバスの借り上げなどのほか、運動部活動の活性化に向けて支援体制を充実させます。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | 10,355 | 5,958 |
| 令和3年度計画 | 県南大会以上の大会出場に係る必要経費(交通費・参加費等)について、引き続き、補助金交付による支援を行う。また、昨年同様、コロナの終息が見えない中で大会出場となるため、バス等での移動は、定員の半分程度に抑え乗車することで感染リスクの低減を図る。並びに、バスが増便することから補助金交付基準を見直し、補助上限額を撤廃し保護者負担の軽減を図る。 | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | 大会出場(県南大会以上)に係る必要経費について、各中学校より提出された補助金の交付申請書類及び実績報告書類の内容を精査し、適正に補助金の交付を行った。 ○補助金交付件数:69件【総合体育大会 県南大会:30件 県大会:17件 関東大会:11件】【新人体育大会:11件】 コロナ禍における大会出場となったため、バス等での移動は、定員の半分程度に抑え乗車することで感染リスクの低減を図った。これにより、バスが増便することから補助金交付基準を見直し、補助上限額を撤廃し保護者負担を軽減した。 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に 印 | 義務教育における保護者の負担軽減及び運動部活動活性化の一助となった。 | | | | | |
| 令和4年度計画 | 保護者の経済的負担の軽減が、部活動への積極的な参加に繋がると考えられるため、県南大会以上の大会出場に係る必要経費(交通費・参加費等)について、引き続き、補助金交付による支援を行う。 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 10,000 | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|------------------|-----|--------|--------|--------|--------------|---------|
| 政策2 | | 子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | |
| 施策3 | | 地域の連携による子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | |
| 主な事業 | | 2-3-1 流通経済大学生による体育授業サポート等の促進 | | | | | | | | |
| | | 2-3-2 児童生徒のスポーツ活動支援 | | | | | | | | |
| | | 2-3-3 子どもが遊びやスポーツに親しむ機会の提供 | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 体育の授業以外にスポーツや運動をしている児童生徒の割合 | % | 児童67.7 生徒68.4 | 目標 | — | — | — | — | 児童・生徒75 |
| | | | % | — | 実績 | — | — | — | 児童66 生徒71 | |
| | ☆ | 部活動に所属していない生徒のうち、学校外のクラブチームに所属していると答えた生徒の割合 | % | 5.8 | 目標 | — | — | — | — | モニタリング |
| | | | % | — | 実績 | — | — | — | — | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数 | 人 | 18,937 | 目標 | 19,800 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | | | % | — | 実績 | 20,166 | 18,124 | 629 | 951 | |
| | | | | | 達成度 | 102 | 91 | 3 | 5 | 0 |
| | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | | |
| | | | | 達成度 | | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 「たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数」については、新型コロナウイルス感染症対策を優先しながら事業を実施しており利用者数は少ないが、サポーターや地域のボランティアによる遊びの指導や見守りを行い、子どもたちの安全・安心な活動の場を提供することができた。また、小中学校の授業や運動会等では、流通経済大学生の協力を得るなど大学と連携したサポートが行われている。 | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2-施策3

| 事業No. | 2-3-1 | 事業名 | 流通経済大学生による体育授業サポート等の促進 | 担当課 | 指導課 | |
|---|-------|--|------------------------|-----|------------|------------|
| 事業内容 | | 児童生徒の体力及び技能の向上に向けて、流通経済大学生による体育授業サポート等(龍・流連携事業)を促進します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | — | — |
| 令和3年度計画 | | 龍・流連携事業に基づき、流通経済大学スポーツ健康科学部の大学生の協力を得て、感染拡大防止策を十分に図りながら計画的に実施していく。感染拡大状況を適切に判断し、実施の可否について適切に判断していく。 | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | 新型コロナウイルス感染状況を適切判断し、2週間前からの検温や人数制限等の策を講じながら実施した。 (1)小学校における体育授業サポート(市内11校全てで計画 8校で実施) 主な内容: タグラグビー、AED・心肺蘇生講習、持久走大会支援、器械運動補助 (2)中学校における体育授業および運動部活動サポート(市内6校全てで計画 2校で実施) 主な内容: AED・心肺蘇生法講習、部活動支援 (3)市立小中学校における運動会・体育祭におけるサポート 17校で実施予定であったが、コロナ禍による臨時休業のため8校のみで実施した。 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 年度当初の計画では17校全ての学校で計画を立てたが、9月及び2月の臨時休業により実施できない学校が多くあった。 | | | | |
| 令和4年度計画 | | 龍・流連携事業に基づき、流通経済大学スポーツ健康科学部の大学生の協力を得て、感染拡大防止策を十分に図りながら計画的に実施していく。感染拡大状況を適切に判断し、実施の可否について適切に判断していく。 | | | | |
| 予算額 ※千円 | | — | | | | |

| 事業No. | 2-3-2 | 事業名 | 児童生徒のスポーツ活動支援 | 担当課 | 指導課 | |
|---|-------|--|---------------|-----|------------|------------|
| 事業内容 | | 流通経済大学や地域のスポーツ団体などとの連携により、児童生徒の多様なスポーツ活動を支援します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | — | — |
| 令和3年度計画 | | 新型コロナウイルス感染防止の対策を図りながら、以下について状況を適切に判断しながら実施する。 (1)流通経済大学生の協力を得て、運動会や体育祭等の体育的行事の充実を図り、児童生徒のスポーツへの関心を高める。 (2)スポーツに関して専門性を有する地域人材の協力を得て、児童生徒が多様なスポーツを体験する機会を設ける。 | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | (1)流通経済大学生の協力を得てた体育的行事の充実 小学校運動会11校、中学校体育祭6校で審判や準備の補助として協力依頼したが、9月が臨時休業日となったため実施していない。代替行事として8校で大学生の協力を得ることができた。 (2)地域人材の協力 コロナ禍のため活動を制限した。ヤクルトスワローズ球団職員の方による投げ方教室を1校で実施した。 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | コロナ禍のため実施に至っていない場合が目立つが、年度当初から計画を立ててできる範囲で実施できている。 | | | | |
| 令和4年度計画 | | 新型コロナウイルス感染防止の対策を図りながら、以下について状況を適切に判断しながら実施する。 (1)流通経済大学生の協力を得て、運動会や体育祭等の体育的行事の充実を図り、児童生徒のスポーツへの関心を高める。 (2)スポーツに関して専門性を有する地域人材の協力を得て、児童生徒が多様なスポーツを体験する機会を設ける。 | | | | |
| 予算額 ※千円 | | — | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2-施策3

| 事業No. | 2-3-3 | 事業名 | 子どもが遊びやスポーツに親しむ機会の提供 | | 担当課 | 文化・生涯学習課 | | | | |
|---|---|---------------------------|----------------------|------------------|-----|------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 地域や家庭との緊密な連携を図り、子どもたちが気軽に遊びやスポーツに親しむ機会を提供します。 | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | 1,758 | 1,314 | | | |
| 令和3年度 計画 | たつのこやま管理棟において、NPOのサポーターや地域のボランティアにより遊びの指導や見守りを行い、子どもたちが自由な発想で活動することができる安心・安全な場として提供する。 (1)NPO法人ティ・ペア(土・日曜日 10:30~15:30) (2)たつの子山囲碁クラブ(月曜日 14:00~16:30) (3)龍ヶ崎市女性会(木曜日 14:00~16:30) | | | | | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | NPOのサポーターや地域のボランティアにより遊びの指導や見守りを行い、子どもたちが活動することができる安心・安全な場を提供した。 (1)NPO法人ティ・ペア(土・日曜日 10:30~15:30) 65回開催 参加者数 842人 (2)たつの子山囲碁クラブ(月曜日 14:00~16:30) 28回開催 参加者数 34人 (3)龍ヶ崎市女性会(木曜日 14:00~16:30) 28回開催 参加者数 75人 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆半年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数 | 人 | 18,937 | 目標 | 19,800 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | | | | | 実績 | 20,166 | 18,124 | 629 | 951 | |
| % | — | 達成度 | 102 | 91 | 3 | 5 | 0 | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | リピーターとなっている児童や生徒がいる一方で、新規の利用者が増えていないことが課題である。感染症への対策を優先しているために、まん延防止等重点措置が適用になっている期間には、利用を停止していたことや、室内であるために多くの人数が同時に利用できないために、実績値が積み重なっていない現状がある。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度 計画 | NPOのサポーターや地域のボランティアにより遊びの指導や見守りを行い、子どもたちが自由な発想で活動することができる安心・安全な場を提供する。さらに、子どもの広場 移動教室「作っちゃおう!」を4回を開催し、新たな利用者を増やしていくことや、創作活動の機会拡充を図る。 (1)開催日 5月29日(日) 場所 龍ヶ岡公園管理棟内 (2)開催日 7月31日(日) 場所 八原コミュニティセンター (3)開催日 11月20日(日) 場所 馴柴コミュニティセンター (4)開催日 1月29日(日) 場所 久保台コミュニティセンター | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,681 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|--|---|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 政策3 | 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | | | | | | | | |
| 施策1 | スポーツ指導者・トップアスリートの育成 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 3-1-1 指導者の養成と資質向上 | | | | | | | | | | |
| | 3-1-2 技術講習会等を通じた競技力の向上 | | | | | | | | | | |
| | 3-1-3 関係団体の連携による優秀選手の早期発掘と育成 | | | | | | | | | | |
| | 3-1-4 国際・全国大会出場に対する支援・応援 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツ指導者養成講習会の受講者数 | 人 | 22 | 目標 | 30 | 40 | 50 | 55 | 60 | |
| | | | % | — | 実績 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | 達成度 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ☆ | スポーツ全国大会出場件数(大学生を除く。) | 件 | 42 | 目標 | 50 | 55 | 60 | 65 | 70 | |
| | | | % | — | 実績 | 42 | 51 | 24 | 57 | | |
| | | | | | | 達成度 | 84 | 93 | 40 | 88 | 0 |
| | ☆ | 市民参加型スポーツ技術講習会等の延べ参加者数 | 人 | 500 | 目標 | 510 | 550 | 550 | 550 | 550 | |
| | | | % | — | 実績 | 559 | 526 | 0 | 0 | | |
| | | | | | | 達成度 | 110 | 96 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | | % | — | 達成度 | | | | | |
| | | | | 目標 | | | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | | | |
| | | % | — | 達成度 | | | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ指導者養成講習会は3年連続で実施できず、指導者育成の取組みは進んでいない。 一方、競技者については、各競技団体が感染防止対策を行いながら可能な範囲で大会を実施し、コロナ禍においても各選手の育成に努めた。また、優れた資質を有するまたはトップレベルを目指している競技者を支援するため、国際大会や全国大会へ出場した選手に対する激励金の交付やその活躍を広報紙・SNSで市民へ周知するなどの支援ができていたことから概ね順調とした。 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3 施策1

| | | | | | | | | |
|---|-------|-----|--|------------|------------|--|--|--|
| 事業No. | 3-1-1 | 事業名 | 指導者の養成と資質向上 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
| 事業内容 | | | 優秀な指導者等を講師とした指導者向けの講習会や研修会を開催し、参加者の増加に努めることで、指導者の養成と資質向上を図ります。 | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | 300 | 299 | | | |
| 令和3年度計画 | | | (1)スポーツ指導者養成講習会の開催 講師:スポーツに関する有識者または流通経済大学スポーツ健康科学部の知見を活用した講習会を予定 (2)各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者に対して表彰を行う | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | (1)技術講習会の実施・・・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・加盟団体による講習会 ・スポーツ協会主催の講習会 (2)スポーツ協会が主催し、各競技団体が主管する市民スポーツフェスティバルを開催し、選手の育成に努めた。 市民スポーツフェスティバル(市内各スポーツ団体主管による大会)を開催 開催期間:令和3年10月1日～令和4年3月31日 競技数:7競技 参加者数:1,844人 | | | | | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、スポーツ指導者養成講習会や表彰式は中止としたが、長年尽力された指導者や大会で活躍した多くの選手を表彰することができ、今後の活動の意欲の向上につながっていると考えられる。 | | | | | |
| 令和4年度計画 | | | (1)スポーツ指導者養成講習会の開催 講師:スポーツに関する有識者または流通経済大学スポーツ健康科学部の知見を活用した講習会を予定 (2)各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者に対して表彰を行う | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 300 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|-------|------------------------|---|------------------|------------|-------|------|------|------|------|
| 事業No. | 3-1-2 | 事業名 | 技術講習会等を通じた競技力の向上 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | |
| 事業内容 | | | 指導者や選手への技術指導を主眼とした講習会等を開催し、競技力の向上を図ります。 | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | | |
| | | | | 600 | 0 | | | | | |
| 令和3年度計画 | | | 技術講習会の開催(市スポーツ協会事業) 内容:市スポーツ協会加盟団体の競技で、トップアスリートを講師に迎えて技術力向上を図る | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | 技術講習会の開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催 | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 市民参加型スポーツ技術講習会等の延べ参加者数 | 人 | 500 | 目標 | 510 | 550 | 550 | 550 | 550 |
| | | | | | 実績 | 559 | 526 | 0 | 0 | |
| % | — | 達成度 | 110 | 96 | 0 | 0 | | | | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため技術者講習会は未開催となってしまったが、感染症対策を講じながら多様目で実施することが課題である。 | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | | 技術講習会の開催(市スポーツ協会事業) 内容:市スポーツ協会加盟団体の競技で、トップアスリートを講師に迎えて技術力向上を図る | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 600 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3 施策1

| | | | | | | |
|---|--|---|------------------------|-----|------------|------------|
| 事業No. | 3-1-3 | 事業名 | 関係団体の連携による優秀選手の早期発見と育成 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
| 事業内容 | スポーツ協会、各競技団体などの緊密な連携の下、選手として適性のある者の早期発見と継続的な育成に努めます。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | 1,000 | 600 |
| 令和3年度計画 | (1)大会開催による育成 スポーツ協会主催事業やスポーツフェスティバルを開催し、各競技選手の育成に努めます。 (2)技術講習会の実施 | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1)スポーツ協会が主催し、各競技団体が主管する市民スポーツフェスティバルを開催し、選手の育成に努めた。 市民スポーツフェスティバル(市内各スポーツ団体主管による大会)を開催 開催期間:令和3年10月1日~令和4年3月31日 競技数:7競技 参加者数:1,844人 (2)技術講習会の実施・・・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・加盟団体による講習会 ・スポーツ協会主催の講習会 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 各競技団体が感染防止対策を行いながら可能な範囲で大会を実施し、コロナ禍においても各選手の育成に努めた。一方、優秀選手の継続的な育成を行うためには、指導者のレベルアップも必要であり、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、市スポーツ関係団体やスポーツ指導者バンクに登録をしている指導者が受講するような講習会を開催することが必要がある。 | | | | |
| 令和4年度計画 | (1)大会開催による育成 スポーツ協会主催事業やスポーツフェスティバルを開催し、各競技選手の育成に努めます。 (2)技術講習会の実施 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,000 | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--------------------|------------------|------------|------------|------|------|------|------|
| 事業No. | 3-1-4 | 事業名 | 国際・全国大会出場に対する支援・応援 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | |
| 事業内容 | 国際大会や全国大会に出場する個人や団体などを支援・応援することで、トップアスリートの活動を促進するとともに、市民のふるさと意識の醸成につなげます。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| | | | | | 2,500 | 2,219 | | | | |
| 令和3年度計画 | (1)スポーツ大会出場激励金の交付 国際大会や全国大会に出場する個人や団体に対し、激励金を交付することでトップアスリートの活動を金銭面から支援する。また、全国大会等へ出場する選手の報告や結果を広報紙「りゅうほう」に掲載し、選手の応援及び市民のふるさと意識の醸成を図る。 (2)「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に出場する郷土出身者に対し、特別奨励金制度を交付する。 (3)全国大会等出場者への表彰 市体育協会の自主事業として全国大会等へ出場した小学生から成人までを対象として表彰を行う。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1)スポーツ大会出場激励金の交付 国際大会や全国大会に出場する個人や団体に対し、激励金の交付を行うとともに、出場する選手について広報紙「りゅうほう」に掲載した。 交付件数:56件 (2)「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に出場する郷土出身者(サッカー:中山雄太選手)に対し、特別奨励金の交付を行うとともに、広報紙「りゅうほう」への掲載やツイッターなどSNSを活用した情報発信を行った。 (3)全国大会等出場者への表彰 ・市スポーツ協会 表彰の実施(全国大会等へ出場した選手や団体など) 被表彰者:功労賞(1名)、優秀賞(団体10、個人63名) | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | | | | 42 | 目標 | 50 | 55 | 66 | 65 | 70 |
| | | | | 実績 | 42 | 51 | 25 | 57 | | |
| | | | % | — | 達成度 | 84 | 93 | 38 | 88 | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | コロナ禍の影響で全国大会等の中止もあり激励金交付件数は目標には届いていないが、申請者の金銭面での支援となっている。またその活躍を市の広報紙等へ掲載し、市民への周知を図るとともにアスリートへのモチベーションアップにつながっていると考えられ、今後も継続していく必要がある。 また、本市の郷土出身選手等のオリンピックの応援を通して芽生えた市民のふるさと意識やアスリート支援の機運をどのように今後につなげていけるか課題である。 | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | (1)スポーツ大会出場激励金の交付 国際大会や全国大会に出場する個人や団体に対し、激励金を交付することでトップアスリートの活動を金銭面から支援する。また、全国大会等へ出場する選手の報告や結果を広報紙「りゅうほう」に掲載し、選手の応援及び市民のふるさと意識の醸成を図る。 (2)全国大会等出場者への表彰 市体育協会の自主事業として全国大会等へ出場した小学生から成人までを対象とした表彰を行う。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,450 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|---|-------|------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 政策3 | 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | | | | | | | |
| 施策2 | スポーツによる交流人口の増加 | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 3-2-1 | マラソン大会の開催【再掲】 | 3-2-5 | 各国代表チームとの交流促進 | | | | | | |
| | 3-2-2 | 競技スポーツ大会の開催促進 | 3-2-6 | スポーツツーリズムの推進 | | | | | | |
| | 3-2-3 | 茨城国体の開催に向けた機運の醸成 | 3-2-7 | 地域スポーツコミッションの設立 | | | | | | |
| | 3-2-4 | 事前キャンプ招致活動の推進 | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの招致チーム数 | チーム | — | 目標 | 3 | 3 | 3 | | |
| | | | | | 実績 | 3 | 3 | 4 | | |
| | | | % | | 達成度 | 100 | 100 | 133 | | |
| | ☆ | スポーツを直接観戦する16歳以上の市民の割合 | % | 8.8 | 目標 | — | — | — | — | 10 |
| | | | | | 実績 | — | — | — | ※ | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| | ☆ | 市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合 | % | 32.1 | 目標 | — | — | — | — | 37 |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 31 | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(利用者数+観覧者数) | 人 | 347,454 | 目標 | 410,000 | 420,000 | 430,000 | 440,000 | 455,000 |
| | | | | | 実績 | 374,289 | 348,003 | 181,538 | 222,952 | |
| | | | % | — | 達成度 | 91 | 83 | 42 | 51 | |
| | ☆ | 海外代表チームの市内での合宿数 | 回 | 3 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 1 | モニタリング |
| | | | | | 実績 | 3 | 3 | 0 | 1 | |
| % | | | — | 達成度 | 100 | 100 | 0 | 100 | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 2019年にたつのこアリーナで国体柔道競技が開催される認知度(一般) | % | 12 | 目標 | 50 | | | | |
| | | | | | 実績 | 49 | | | | |
| | | | % | — | 達成度 | 98 | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | | |
| | | | % | — | 達成度 | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業や利用制限等により、施設の利用者数や観覧者数は前年度より増加しているものの、目標地の半数に留まっている。しかしながら、トップレベルのスポーツ大会等の実施や、2020東京オリンピック競技大会の事前キャンプに関する基本合意を締結した4チームのうちコロナ禍の影響で1チームとなった事前キャンプについては、感染症対策やコロナ禍でできる交流について検討し実施することができたことなどから、進捗状況は概ね順調とした。 | | | | | | | | |

※ 調査方法変更により数値なし

(参考)主な観戦の仕方を全て回答した場合『テレビの中継を見る』83%に次いで、「直接、試合会場で観戦をする」が29%

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3-施策2

| 事業No. | 3-2-1 | 事業名 | マラソン大会の開催【再掲】 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
|---|---|-----|---------------|------------|------------|--|
| 事業内容 | 関係機関・団体と協議・連携を図りながら、市内外から多くの人が参加できるマラソン大会の開催を目指します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | |
| | | | | 12,500 | 9,522 | |
| 令和3年度計画 | (1)第1回大会中止の清算業務(実行委員会での事業報告・決算報告) (2)第2回大会の実施計画策定 (3)第2回大会開催に向けた実行委員会の開催 (4)関係機関・団体等との連絡調整(マラソンコースにおける交通規制, ボランティア関係, 出店関係など) | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1)第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会開催の中止について 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら規模を縮小し(種目はハーフマラソンのみ・茨城県内居住者18歳以上)、開催に向けて準備を進めてきたが、茨城県内でも感染拡大の傾向にあり事態の悪化が見込まれるため、ランナー、ボランティア等の安全、安心を最優先し、やむを得ず大会を中止とした。 (2)令和4年度龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会について 令和4年度大会の中止決定(10月定例庁議で、市の方針として中止が決定) ⇒未だ新型コロナウイルス感染症流行の収束が見通せない状況であるため、令和4年度大会は中止することとなった。 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | ハーフマラソンは、大規模イベントのため、準備に相当期間を要するとともに、日々変化していくコロナ禍での大会開催日の感染状況を予測することが非常に困難であるため、今後については他大会の動向や感染状況を注視しながら、これまで準備してきた経験を踏まえ、マラソン大会の意義、本市の地域の実情に照らし合わせながら費用対効果等を再検証していく。 | | | | | |
| 令和4年度計画 | (1)令和5年度開催に向けて、マラソン大会実行委員会及び運営委員会開催、大会準備を進めていく。 ※令和4年9月に新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ大会開催可否の判断を行う。 (2)当大会における運営業務委託を締結し、運営委託業務について計画的に進めていく。 (3)茨城県警との協議:交通警備計画(素案)を作成し、竜ヶ崎警察署と協議を進める (4)応援要請:運営委託業者と大会従事員数の設計について協議し、市職員及びボランティア等に応援要請を行う。 (5)情報発信(広報・PR活動):当大会専用HP等を創設するほか、市公式HP、市公式SNS等で情報発信に努めていく。 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 3,500 | | | | | |

| 事業No. | 3-2-2 | 事業名 | 競技スポーツ大会の開催促進 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---------------|------------------|------------|-------|------|------|------|------|
| 事業内容 | 市民がトップレベルのスポーツを見て楽しむとともに、スポーツへの関心を高めるような大会の開催を促進します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | | |
| | | | | — | — | | | | | |
| 令和3年度計画 | (1)総合運動公園において、関東大学サッカーリーグ、関東大学ラグビーリーグ戦、東京新大学野球連盟リーグ戦等、公式戦の招致に努める。 (2)流通経済大学運動部以外のトップレベルのスポーツ大会等の招致に努める。 茨城県民球団・茨城アストロプラネッツのBCリーグ公式戦 プロ野球日本ハムファイターズのイースタンリーグ公式戦 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1)関東大学サッカーリーグ 5試合 関東サッカーリーグ(KSL) 12試合 東京新大学野球連盟春季・秋季リーグ 4試合 流通経済大学陸上競技会 5回 (2)茨城アストロプラネッツのBCリーグ公式戦の開催 3試合 プロ野球日本ハムファイターズのイースタンリーグ公式戦開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | スポーツを直接観戦する16歳以上の市民の割合 | % | 8.8 | 目標 | — | — | — | — | 10 |
| | | | % | — | 実績 | — | — | — | ※ | |
| | ☆ | 市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合 | % | 32.1 | 目標 | — | — | — | — | 37 |
| % | | | — | 実績 | — | — | — | 31 | | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | 大規模大会の開催時については、来場者等に対して駐車場やトイレ、駅からの輸送対策を十分に周知する必要がある。新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となったものもあるが、総合運動公園においてプロの試合や大学トップレベルの試合が開催された。トップレベルの試合を開催するために、環境整備に努めていく必要がある。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | (1)総合運動公園において、関東大学サッカーリーグ、関東大学ラグビーリーグ戦、東京新大学野球連盟リーグ戦等、公式戦の招致に努める。 (2)流通経済大学運動部以外のトップレベルのスポーツ大会等の招致に努める。 茨城県民球団・茨城アストロプラネッツのBCリーグ公式戦 プロ野球日本ハムファイターズのイースタンリーグ公式戦 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | |

※1 調査方法変更により数値を得ることができなかった

(参考)主な観戦の仕方を全て回答した場合「テレビの中継を見る」83%に次いで、「直接、試合会場で観戦をする」が29%

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3-施策2

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|------------------------------------|------------------|------------------|-----|------------|------------|-------------------|------|------|--|
| 事業No. | 3-2-3 | 事業名 | 茨城国体の開催に向けた機運の醸成 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課(旧国体推進課) | | | |
| 事業内容 | 茨城国体の柔道競技の開催に当たっては、選手が日頃の成果を十分に発揮できる大会運営に努め、龍ヶ崎市の魅力を発信する大会を目指します。また、同大会の積極的な広報に努めるとともに、柔道競技大会を招致するなど、同大会の開催に向けた機運の醸成を図ります | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| 令和2年度計画 | 令和元年度事業終了 | | | | | | | | | | |
| 令和2年度実施内容 | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | 2019年にたつこのアリーナで国体柔道競技が開催される認知度(一般) | % | 12 | 目標 | 50 | — | / | / | / | |
| | | | % | — | 実績 | 49 | — | / | / | / | |
| | | | % | — | 達成度 | 98 | — | / | / | / | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度計画 | | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---------------|------------------|-----|------------|------------|------|------|------|--|
| 事業No. | 3-2-4 | 事業名 | 事前キャンプ招致活動の推進 | | | | 担当課 | 秘書課 | | | |
| 事業内容 | 流通経済大学と連携しながら、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする大規模大会の事前キャンプ地として、各国代表チームの招致活動を推進します。 | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| | | | | | | 21,032 | 2,670 | | | | |
| 令和3年度計画 | 事前キャンプの基本合意書を締結した代表チームが事前キャンプに訪れた際のおもてなしをする。 | | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | ・流通経済大学との連携により平成29年に設立された「龍ヶ崎市国際スポーツ大会キャンプ等招致活動委員会」を中心に2020東京大会に向けた招致活動を展開し、キューバ共和国柔道チーム・オセアニア地域柔道チーム・タイ王国陸上競技チーム・アメリカ合衆国柔道チームの4チームと事前キャンプに関する基本合意書を締結した。 ・コロナ禍の影響により、2020東京大会の事前キャンプについては、アメリカ合衆国柔道チーム(6名)のみの受入れとなり、強化キャンプに訪れた選手団等との歓迎会や交流事業を企画・運営し、龍ヶ崎市柔道スポーツ少年団と綱引きや質問コーナー等を設け交流を深めた。 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの招致チーム数 | チーム | — | 目標 | 3 | 3 | 3 | / | / | |
| | | | % | — | 実績 | 3 | 3 | 4 | / | / | |
| | | % | — | 達成度 | 100 | 100 | 133 | / | / | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■ | | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | 令和3年度事業終了 | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3-施策2

| 事業No. | 3-2-7 | 事業名 | 地域スポーツコミッションの設立 | 担当課 | まちの魅力創造課/スポーツ都市推進課 (秘書課) | |
|---|---|-----|-----------------|------------|-----------------------------|--|
| 事業内容 | スポーツツーリズムの活性化とスポーツによるまちづくり・地域活性化の推進主体として、地域スポーツコミッションの設立を目指します。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | |
| | | | | 3,610 | 1,334 | |
| 令和3年度 計画 | (1)「北海道×茨城県プロジェクト」と連携した交流人口増加につながる大規模スポーツイベントの開催 (2) 近隣自治体との広域連携によるスポーツコミッションの立ち上げ検討 (3) 東京2020オリンピック聖火リレーの市内走行や龍ヶ崎市スポーツ交流協会において2020年オリンピック東京大会後の事後交流などを行うことで市民のスポーツに対する意識啓発を図る。 | | | | | |
| 令和3年度 実施内容 | (1)プロ野球BCリーグ公式戦を5月28日(金)～30日(日)実施した。金曜日はナイトゲームから、翌土曜日の龍ヶ崎市DAY、そして日曜日のデイゲームと試合を開催し、多くの観客を動員した。特に龍ヶ崎市DAYは800人近くの観客がTOKIWAスタジアム龍ヶ崎に集まった。 (2)「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム」において、プラットフォームの持つ広域性やそれぞれの特徴、資源の最大限に生かしながら、民間業者と連携して課題解決に努め、地方創生に繋げる方向性を示した「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム推進計画」を策定した。 (3)事後交流として、8月1日にたつのこアリーナにてアメリカ合衆国柔道チーム5名を招き、龍ヶ崎市柔道スポーツ少年団と交流を行った。選手は日本文化(書道・和装)を体験した。柔道スポーツ少年団と交流では、コロナ禍において直接組み合わせることは難しいと配慮し、綱引きやクイズ大会を行い、子ども達も積極的にオリンピック選手と交流した。 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | プロ野球イースタン・リーグ公式戦の機会を活用した関係人口の増加が図られるよう、ボールパーク化の面でイベントの検討を行う。また、広域連携組織である「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム」において本年度、事務局であることから加盟自治体間においてスポーツに対する課題など認識や考え方をすり合わせる作業を行う必要がある。 | | | | | |
| 令和4年度 計画 | (1)「北海道×茨城県プロジェクト」と連携した関係人口の創出につながる大規模スポーツイベントの開催する。 (2)「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム推進計画」に位置付けられた施策に基づき、事業を展開推進する。 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 1,541 | | | | | |

| 政策3 | | 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | | | | | | |
|---|----|--|----------------------|------------------|-----|-------|------|------|------|------|
| 施策3 | | 流通経済大学運動部との連携 | | | | | | | | |
| 主な事業 | | 3-3-1 | 流通経済大学運動部の公式試合等の情報提供 | | | | | | | |
| | | 3-3-2 | 流通経済大学運動部との交流促進 | | | | | | | |
| | | 3-3-3 | 流通経済大学運動部応援活動の促進 | | | | | | | |
| | | 3-3-4 | 流通経済大学運動部の活動支援 | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 流通経済大学運動部公式戦応援ツアーの延べ参加者数 | 人 | 28 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| | | | | | 実績 | 74 | 49 | 0 | 0 | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設における流通経済大学運動部公式戦の開催数 | 試合 | 31 | 目標 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| | | | | | 実績 | 41 | 37 | 21 | 30 | |
| | | | | | | 達成度 | 93 | 61 | 0 | 0 |
| | | | | | 達成度 | 103 | 93 | 53 | 75 | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | | | 達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | | | 達成度 | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 流通経済大学運動部への活動支援については、総合運動公園内のスポーツ施設の優先貸出し等、市及び指定管理者との連携により適切に対応している。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学運動部公式試合の観戦ツアー等を開催することはできなかったが、広報紙やSNSを活用したイベント等の情報発信や大学との連携を図りながら大学運動部と市民の交流を促進することができた。 | | | | | | | | |

| 事業No. | 3-3-1 | 事業名 | 流通経済大学運動部の公式試合等の情報提供 | 担当課 | まちの魅力創造課(企画課) | |
|---|-------|---|----------------------|-----|---------------|------------|
| 事業内容 | | 流通経済大学運動部の公式試合等の情報を提供することで、身近な場所で全国トップレベルの大学スポーツが観戦できることを市民に周知するとともに、同運動部の応援・サポートに向けた機運の醸成を図ります。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| 令和3年度計画 | | 様々な媒体を活用し、状況に応じリアルタイムでの有効的な情報発信を行う。 (1) 龍・流連携掲示板(市庁舎玄関前)による情報発信 (2) 市広報紙、市公式ホームページ及びSNSを活用した流通経済大学運動部の公式試合等に関する情報発信 (3) 毎月、市内で開催される流経大運動部の試合日程について、デジタルサイネージを活用した情報発信 | | | — | — |
| 令和3年度実施内容 | | 広報紙などに掲載している総合運動公園イベントスケジュールで試合情報の提供を行った。また、市広報紙や市公式SNS、市役所本庁舎1階の掲示板などを活用し、身近な場所で全国レベルの大学スポーツが観戦できることを紹介し、各運動部の試合情報の周知を図ったがデジタルサイネージを活用した情報発信には至らなかった。各運動部が出場した大会の一部では、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の一環で、会場への入場者数の制限や非公開試合などで開催されたため、情報発信に制限があった。 | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 今後でも有効的な情報発信を検討しながら、流通経済大学と連携した周知PRなど効果的な情報発信に努め、身近な場所で全国トップレベルの大学スポーツが観戦できることを積極的に市民に周知し、観戦する新たな市民を増やす必要がある。 | | | | |
| 令和4年度計画 | | 龍・流連携掲示板(市庁舎玄関前)を有効活用した流通経済大学運動部の情報発信や市広報紙、市公式ホームページ及びSNSを活用した同大学運動部の公式試合等に関する情報発信を随時行っていく。 | | | | |
| 予算額 ※千円 | | — | | | | |

| 事業No. | 3-3-2 | 事業名 | 流通経済大学運動部との交流促進 | 担当課 | まちの魅力創造課(企画課) スポーツ都市推進課 | |
|---|-------|---|-----------------|-----|----------------------------|------------|
| 事業内容 | | 龍・流連携事業によるスポーツイベント等の開催を支援し、流通経済大学運動部と市民の交流を促進し、地域のにぎわいの創出を図ります。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| 令和3年度計画 | | 【企画課】 新型コロナウイルス感染症が収束されない場合の有効的な方法を検討しながら、龍・流連携事業によるスポーツイベント等の開催支援や運動部応援バスツアー、スポーツイベントでの学生派遣などを通じ、市民と大学との交流を図り、大学があるまちならではの交流事業を推進する。 【スポーツ都市推進課】 流通経済大学運動部の公式戦について、優先的にスポーツ施設の貸出を行う。 | | | 48 | 0 |
| 令和3年度実施内容 | | 【企画課】 ボランティア学生小中学校派遣事業では救命救急をはじめ、親子活動、学習支援、さらには、陸上競技や運動会の代替行事等の運営支援など、小中学校合わせて35の事業を行った。また、「龍・流連携担当者会議」を開催するなど、当該事業の趣旨や概要の共通理解を深めるとともに疑問点の解消を図ったことにより、より有意義な事業を展開することができた。運動部応援バスツアーや市民大学講座については、当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も実施には至らなかった。 【スポーツ都市推進課】 総合運動公園における流通経済大学運動部の優先貸出による公式戦は、次のとおり開催された。 サッカー：関東大学サッカーリーグ戦・・・5試合 関東サッカーリーグ戦(KSL)・・・12試合 ラグビー：関東大学ラグビー春季大会・・・1試合 硬式野球：東京新大学野球連盟春季・秋季リーグ戦・・・4試合 陸上競技：流通経済大学陸上競技会・・・5回(8試合) | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 新型コロナウイルス感染症拡大防止に準じた試合観戦方法の検討やスポーツに興味がない人に向けたアプローチの企画を検討。現在行っている交流については今後、より持続性のあるものへの転換が必要と考える。陸上競技場は第3種公認更新工事のため11月～3月まで休場となり、サッカーの公式戦及び陸上競技会等が開催できない期間があったが、改修が終了したため今後も継続して優先的に貸出していく。 | | | | |
| 令和4年度計画 | | 龍・流連携事業によるスポーツイベント等の開催支援や運動部応援バスツアー、スポーツイベントでの学生派遣などを通じ、市民と大学との交流を図り、大学があるまちならではの交流事業を展開していく。また、流通経済大学運動部の公式試合日程等を市公式ホームページやSNSを活用して積極的に情報を発信するとともに、優先的に施設の貸出しをする。市民が参加できる各種競技イベントや体験教室などの充実を図る。 | | | | |
| 予算額 ※千円 | | 55 | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3-施策3

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------|--|--------------------------|------------------|----|-------|------|---------------|------------|------|---|
| 事業No. | 3-3-3 | 事業名 | 流通経済大学運動部応援活動の促進 | | | | 担当課 | まちの魅力創造課(企画課) | | | |
| 事業内容 | | 全国大会やリーグ戦などのうち、市民の関心の高い試合の応援ツアーを開催するなど、市民参加による流通経済大学運動部の応援・サポート活動を促進します。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| | | | | | | | | 87 | 0 | | |
| 令和3年度計画 | | より多くの方の関心を高め、応援・サポート活動への参加を促進するため、大学及び各運動部との連携を強め、情報把握や効果的な周知PR等に努める。 (1)流通経済大学運動部応援バスツアー等を実施し、市民参加による同大学運動部のバックアップを行う。 (2)各運動部が全国大会等で優秀な成績を収めた場合に、懸垂幕を作成し、設置する。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | (1)応援バスツアーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施には至らなかった。 (2)11月にサッカー部が「関東大学サッカーリーグ戦1部」で優勝した際、懸垂幕を作成し、設置するとともに、各種SNSで情報を発信した。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | 種別 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | | ☆ | 流通経済大学運動部公式戦応援ツアーの延べ参加者数 | 人 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | |
| | | | | | 実績 | 78 | 49 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 98 | 61 | 0 | 0 |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、試合の入場者数制限や非公開試合が多くなったことから、コロナ過前と比較すると、市民の観戦機会は減少している。小中学生のスポーツへの関心惹起には効果的である流通経済大学運動部の試合に対して、市民全体はもとより、市内小中学校に在学する児童生徒がいる家庭に対しての周知をすることが重要である。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | より多くの方の関心を高め、応援・サポート活動への参加を促進するため、大学及び各運動部との連携を強め、情報把握や効果的な周知PRを行う。流通経済大学運動部応援バスツアー等を実施し、市民参加による同大学運動部のバックアップを行う。各運動部が全国大会等で優秀な成績を収めた場合に、懸垂幕を作成し、設置する。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 86 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------|--|-----------------------------------|----|------------------|----|-------|------------|------------|------|------|
| 事業No. | 3-3-4 | 事業名 | 流通経済大学運動部の活動支援 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
| 事業内容 | | 市内での公式試合数の増加に向けて、大学運動部と調整を図り、市の運動施設の貸出しを行うなど、各運動部の活動を支援します。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| | | | | | | | | — | — | | |
| 令和3年度計画 | | (1)流通経済大学運動部公式戦に対し市の運動施設を優先貸出 (2)流通経済大学運動部の練習活動に市の運動施設を優先貸出 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | (1)流通経済大学運動部公式戦に対し市の運動施設を優先貸出 サッカー：関東大学サッカーリーグ戦・・・5試合 関東サッカーリーグ戦(KSL)・・・12試合 ラグビー：関東大学ラグビー春季大会・・・1試合 硬式野球：東京新大学野球連盟春季・秋季リーグ戦・・・4試合 陸上競技：流通経済大学陸上競技会・・・5回(8試合) (2)流通経済大学運動部の練習活動に市の運動施設を優先貸出 陸上部：短距離60日間 / 駅伝部27日間 野球部：硬式野球部17日間 / 軟式野球部35日間 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設における流通経済大学運動部公式戦の開催数 | 試合 | 31 | 目標 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| | | | | | | 実績 | 41 | 37 | 21 | 30 | |
| | | | | | | % | — | 達成度 | 103 | 93 | 53 |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 流通経済大学運動部の活動支援として、フィールド・スタジアムを陸上部・サッカー部・野球部等に優先的に貸出している。フィールドは11月～3月まで第3種公認更新工事を行い休場となっていたが、改修工事が終了したため今後リニューアルしたフィールドを利用できるよう優先的に貸出しを行っていく。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | (1)流通経済大学運動部公式戦に対し市の運動施設を優先貸出 (2)流通経済大学運動部の練習活動に市の運動施設を優先貸出 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|--|-----------------------|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 政策4 | | スポーツ環境の充実 | | | | | | | | |
| 施策1 | | スポーツ施設の充実と有効活用 | | | | | | | | |
| 主な事業 | | 4-1-1 | スポーツ施設の機能・設備の充実 | | | | | | | |
| | | 4-1-2 | 利用しやすい施設運営とサービスの充実 | | | | | | | |
| | | 4-1-3 | 大規模イベント開催時における交通対策の推進 | | | | | | | |
| | | 4-1-4 | 学校体育施設の開放の推進 | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | たつのこアリーナ(メインアリーナ), たつのこフィールド, たつのこスタジアムの稼働率 | % | アリーナ84.8 フィールド63.4 スタジアム49.8 | 目標 | アリーナ86 フィールド64 スタジアム50 | アリーナ87 フィールド65 スタジアム51 | アリーナ87 フィールド66 スタジアム52 | アリーナ88 フィールド67 スタジアム54 | アリーナ90 フィールド68 スタジアム55 |
| | | | | | 実績 | アリーナ86 フィールド63 スタジアム40 | アリーナ86 フィールド58 スタジアム33 | アリーナ81 フィールド52 スタジアム25 | アリーナ65 フィールド62 スタジアム35 | |
| | | | | 達成度 | アリーナ100 フィールド98 スタジアム80 | アリーナ99 フィールド89 スタジアム65 | アリーナ93 フィールド79 スタジアム48 | アリーナ74 フィールド93 スタジアム65 | | |
| | ☆ | たつのこアリーナ利用者(個人), たつのこフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度 | % | アリーナ75.3 屋外施設73.7 | 目標 | アリーナ78 屋外施設75 | アリーナ80 屋外施設76 | アリーナ80 屋外施設76 | アリーナ80 屋外施設76 | アリーナ80 屋外施設76 |
| | | | | | 実績 | アリーナ82.4 屋外施設84.7 | アリーナ79.8 屋外施設81.1 | アリーナ79 屋外施設85.4 | アリーナ79.8 屋外施設83.5 | |
| | | | | 達成度 | アリーナ106 屋外施設113 | アリーナ100 屋外施設104 | アリーナ99 屋外施設109 | アリーナ100 屋外施設107 | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 学校体育施設の貸出割合 | % | — | 目標 | 85 | 90 | 93 | 96 | 100 |
| | | | | | 実績 | 87 | 91 | 86 | 78 | |
| | | | | | 達成度 | 102 | 101 | 92 | 81 | 0 |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | | | 達成度 | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間の活力も考慮しながら、高水準の機能・設備を備えた施設として充実を図ることができており、計画的な改修・修繕等に努めている。また、指定管理者選定委員会による事業の評価に基づき、運営の改善等を行うとともに、民間のノウハウを活かした適切な管理運営がされている。今後も、市民が利用しやすい環境を整えるための施設整備や運営について、計画を検討していく。 | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策1

| 事業No. | 4-1-1 | 事業名 | スポーツ施設の機能・設備の充実 | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | |
|--|---------|---|-----------------|----------------------|-----|----------------------|----------------------|--------------------|----------------------|------------------|
| 事業内容 | | 総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間活力の活用も考慮しながら、高水準の機能・設備を備えた施設として充実を図るとともに、計画的な改修、修繕及び備品の更新に努めます。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | 141,278 | 134,211 | | | |
| 令和3年度計画 | | (1)たつのこフィールド第3種陸上競技場継続改修工事 陸上競技場の第3種公認継続のため、事前検査により指摘のあった改修事項並びに(公財)日本陸上競技連盟のルールに沿った施設へと改修を行う。 (2)たつのこアリーナプール循環ろ過装置等ろ材交換 プール循環装置4基、ジャグジーろ過装置1基、雨水中水ろ過装置1基のろ過材の交換を行う。 (3)たつのこアリーナインバータ交換工事 空調機制御盤の中にある、インバータ2基に不具合が見つかったため、交換を行う。 (4)旧北文間小学校校舎改修工事 校舎1階のトイレ・更衣室等の改修を行う。 | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | (1)たつのこフィールド第3種陸上競技場継続改修工事(R3年10月～R4年3月) 改修工事 契約額: 67,606,000円 (2)たつのこアリーナプール循環ろ過装置等ろ材交換(R3年6月～7月) 交換工事 契約額 6,380,000円 (3)たつのこアリーナインバータ交換工事(R3年9月～R4年3月) 交換工事 契約額 2,365,000円 (4)旧北文間小学校校舎改修工事 改修工事 契約額 57,860,000円 | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | たつのこアリーナ利用者(個人)、たつのこフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度 | % | アリーナ75.3 屋外施設73.7 | 目標 | アリーナ78 屋外施設75 | アリーナ80 屋外施設78 | アリーナ80 屋外施設78 | アリーナ80 屋外施設78 | アリーナ80 屋外施設78 |
| | | | | | 実績 | アリーナ82.4 屋外施設84.7 | アリーナ79.8 屋外施設81.1 | アリーナ79 屋外施設85.4 | アリーナ79.8 屋外施設83.5 | |
| | | | % | — | 達成度 | アリーナ106 屋外施設113 | アリーナ100 屋外施設104 | アリーナ99 屋外施設109 | アリーナ100 屋外施設107 | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に■ | | 総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間活力の活用も考慮しながら、高水準の機能・設備を備えた施設として充実を図るとともに、計画的な改修、修繕及び備品の更新に努めます。 | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | (1)たつのこフィールド倉庫建築工事 陸上競技場に備品を収納するための倉庫を新たに建築する。 (2)高砂運動広場ダッグアウト設置工事 高砂運動広場野球場に屋根付きベンチを設置する。 (3)たつのこスタジアム外灯・スタンド等LED化工事 館内照明及び園路外灯等のLED化工事を行う。 (4)たつのこフィールド外灯等LED化工事 館内照明及び園路外灯等のLED化工事を行う。 (5)たつのこアリーナ照明LED化工事 館内照明及び園路外灯等のLED化工事を行う。 | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 110,970 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-1 施策1

| 事業No. | 4-1-2 | 事業名 | 利用しやすい施設運営とサービスの充実 | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|---|---|--|----------------------|------------------------------------|----------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 事業内容 | | 指定管理者と連携を図りながら、利用者の視点に立った利用しやすい施設運営とサービスの充実努めます。 | | | | | 予算額 ※千円 | | 決算額 ※千円 | |
| | | | | | | | — | | — | |
| 令和3年度計画 | | (1)指定管理者との定例会の開催 月次報告書を提出の上、毎月1回、指定管理者と定例会を開催し、利用等についての意見を交換を行う。 (2)指定管理者選定委員会による事業評価 事業評価シートに基づき、事業の点検・評価を行い運営の改善等を行う。 (3)コロナ禍における利用率の向上 たつのアリーナがワクチン接種会場に指定されたことによる協力並びにワクチン接種による施設利用制限の中の稼働率の向上を図る。 | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | (1)指定管理者との定例会の開催 月次報告書を提出の上、毎月1回、指定管理者と定例会を開催し、利用等についての意見を交換を行った。 (2)指定管理者選定委員会による事業評価 事業評価シートに基づき、事業の点検・評価を行い運営の改善等を行った。 (3)コロナ禍における利用率の向上 たつのアリーナがワクチン接種会場に指定されたことによる協力並びにワクチン接種による施設利用制限の中の稼働率の向上を図った。 | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | たつのアリーナ(メインアリーナ)、たつのフィールド、たつのスタジアムの稼働率 | % | アリーナ84.8 フィールド63.4 スタジアム49.8 | 目標 | アリーナ85 フィールド64 スタジアム50 | アリーナ87 フィールド65 スタジアム51 | アリーナ87 フィールド66 スタジアム52 | アリーナ88 フィールド67 スタジアム54 | アリーナ90 フィールド68 スタジアム55 |
| | | | % | — | 実績 | アリーナ86 フィールド63 スタジアム40 | アリーナ86 フィールド58 スタジアム33 | アリーナ81 フィールド52 スタジアム25 | アリーナ85 フィールド52 スタジアム35 | |
| | | | % | — | 達成度 | アリーナ100 フィールド98 スタジアム80 | アリーナ99 フィールド89 スタジアム65 | アリーナ93 フィールド75 スタジアム48 | アリーナ74 フィールド93 スタジアム65 | |
| ☆ | たつのアリーナ利用者(個人)、たつのフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度 | % | アリーナ75.3 屋外施設73.7 | 目標 | アリーナ78 屋外施設75 | アリーナ80 屋外施設76 | アリーナ80 屋外施設76 | アリーナ80 屋外施設76 | アリーナ80 屋外施設76 | |
| | | % | — | 実績 | アリーナ82.4 屋外施設84.7 | アリーナ79.8 屋外施設81.1 | アリーナ79 屋外施設95.4 | アリーナ79.8 屋外施設93.5 | | |
| | | % | — | 達成度 | アリーナ106 屋外施設113 | アリーナ100 屋外施設104 | アリーナ99 屋外施設109 | アリーナ100 屋外施設107 | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 新型コロナウイルス感染症の影響による大会数や観覧者数の減少など、しばらくコロナ禍による影響が続くと思われる。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | (1)指定管理者との定例会の開催 月次報告書を提出の上、毎月1回、指定管理者と定例会を開催し、利用等についての意見を交換を行う。 (2)指定管理者選定委員会による事業評価 事業評価シートに基づき、事業の点検・評価を行い運営の改善等を行う。 (3)コロナ禍における利用率の向上 コロナ禍により譲れてしまった利用者呼び戻すような取り組みを行う。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策1

| | | | | | | |
|--|--|-----|-----------------------|------------|------------|--|
| 事業No. | 4-1-3 | 事業名 | 大規模イベント開催時における交通対策の推進 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
| 事業内容 | 総合運動公園等における大規模イベントの開催には、近隣公園等の駐車場との相互利用を促進するとともに、公共交通機関の利用を促進するなど、施設利用者の円滑な誘導に努めます。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | |
| | | | | - | - | |
| 令和3年度計画 | 大規模大会開催時等により駐車場が不足する恐れがある場合には、白羽駐車場の利用を促すなど、臨機応変な対応を行っていく。 | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | コロナ禍による影響で大会参加者数の制限やソーシャルディスタンスに伴う観覧者数の間引きなどにより、来館者数は大幅に減少している。また、龍ヶ岡公園第2駐車場整備による駐車台数の増加もあり、駐車場問題は落ち着いた。 | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に☑ | 年数回あるイースタンリーグやBCリーグなどの大規模大会の開催時等駐車場が足りなくなる恐れがある。白羽駐車場は民間への売買により使用できなくなることから、TOKIWAスタジアム龍ヶ崎の多目的広場の活用や民間施設の駐車場などの借用などを考慮する必要がある。 | | | | | |
| 令和4年度計画 | 大規模大会開催時等により駐車場が不足する恐れがある場合は、近隣の民間施設の駐車場借用を行うなど臨機応変な対応を行っていく。 | | | | | |
| 予算額 ※千円 | - | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------|--------------|------------------|------------|------------|------|------|------|------|
| 事業No. | 4-1-4 | 事業名 | 学校体育施設の開放の推進 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | |
| 事業内容 | 学校体育施設をより使いやすくするため、設備面や利用方法の見直しを進めながら、市民が身近でスポーツに親しめる場となるよう施設の開放を推進します。 | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | | |
| | | | | | 20 | 20 | | | | |
| 令和3年度計画 | 学校と連携を図りながら、多くの市民の方が利用できるよう学校体育施設の夜間開放事業を推進する。 | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | 【利用実績】 103団体(小学校11校・中学校6校) 学校体育施設開放規則の一部を改正した。 (令和4年4月1日付けで愛宕中学校と城南中学校を統合し、龍ヶ崎中学校を設置した。) | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | 学校体育施設の貸出割合 | | — | 目標 | 85 | 90 | 93 | 96 | 100 |
| | | | | | 実績 | 87 | 91 | 86 | 78 | |
| | | % | — | 達成度 | 102 | 101 | 92 | 81 | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に☑ | 利用する団体はあまり変わらないが、学校体育施設の貸出割合が減少している。古い小学校の施設が老朽化し、貸出割合が極端に少ないため改修が必要である。また、市民に学校体育施設を周知するためにホームページ及びお知らせ等で利用団体の募集を行う。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | 学校と連携を図りながら、多くの市民の方が利用できるよう学校体育施設の夜間開放事業を推進する。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | 20 | | | | | | | | | |

| | |
|------------|---------|
| 全体 | 112/144 |
| 小学校 | 51/77 |
| 11校×1団体×7日 | =77 |
| 中学校 | 61/67 |
| 4校×2団体×7日 | =56 |
| 城ノ内中 | 4 |
| 長山中 | 7 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|---|---|--------------------------|-------|--------------------------|-----|-----|----|----|--------|
| 政策4 | スポーツ環境の充実 | | | | | | | | | | |
| 施策2 | スポーツボランティア活動の普及啓発 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 4-2-1 | スポーツ推進委員の資質向上 | | | 4-2-5 | 障がい者スポーツのボランティアの育成と活動の促進 | | | | | |
| | 4-2-2 | スポーツ推進委員の活動の活性化 | | | | | | | | | |
| | 4-2-3 | スポーツボランティア活動の促進 | | | | | | | | | |
| | 4-2-4 | スポーツボランティアの育成等に向けた仕組みの構築 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合 | % | ベース値 (平成29年度) 11.4 | 目標 | — | — | — | — | 20 | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 10 | | |
| | | | | | | 達成度 | — | — | — | — | |
| | ☆ | 流通経済大学スポーツイベントボランティア延べ参加者数 | 人 | | 193 | 目標 | — | — | — | — | モニタリング |
| | | | | | | 実績 | 181 | 166 | 60 | 48 | |
| | | | | | | 達成度 | — | — | — | — | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | 国体柔道競技の補助員・ボランティアの確保見込数 | | | 目標 | 100 | 180 | | | | |
| | | | | | 実績 | 110 | 183 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | 110 | 102 | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | スポーツ推進委員の活動では、考案した龍ヶ崎市発のニュースポーツ「まいりゅうコロコロ」をより楽しめるルールに改善するための研究を続けおり、今後の普及に向けた活動促進が期待される。 また、中止となった「第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会」では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運営方法を検討し、広くボランティアの募集を行わず、重症化しやすいと言われる65歳以上の方には、大会前に応援旗を作成するボランティアを実施するなど、コロナ禍でのボランティア活動を実施することができた。 | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策2

| 事業No. | 4-2-1 | 事業名 | スポーツ推進委員の資質向上 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
|---|-------|-----|---|-----|------------|------------|
| 事業内容 | | | 市民の多様なスポーツニーズに対応するため、指導者としての知識や技術の習得を図るとともに、研修会に参加するなど、スポーツ推進委員の資質向上を図ります。 | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | 137 | 0 |
| 令和3年度計画 | | | 地域スポーツを支えるリーダーとして必要な知識や技術、最新の情報を習得するため、スポーツ推進委員向け研修会及び研究大会へ参加する。 (1)関東スポーツ推進委員研究大会 長野大会 6月4・5日 (2)茨城県南スポーツ推進委員協議会 研修会(詳細未定) (3)市スポーツ推進委員協議会での実技研修の実施 | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | (1)(2)の研修及び研究大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止 (3)茨城県スポーツ推進委員協議会研修委員会主催の研修会開催に向けて検討を行い、実施に向けて準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 (4)龍ヶ崎市発のニューススポーツ「まいりゅうコロコロ」の市民への普及に向けて、市スポーツ推進委員協議会内で研修会を実施し、研究を重ねながらルールの改善と技術の習得に努めた。 | | | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | コロナ禍で県や県南等の研修会や研究大会が全て中止となっているため、市協議会内部での定期的な研修を行う必要がある。 | | | |
| 令和4年度計画 | | | 地域スポーツを支えるリーダーとして必要な知識や技術、最新の情報を習得するため、スポーツ推進委員向け研修会及び研究大会へ参加する。 (1)関東スポーツ推進委員研究大会 神奈川大会 6月3日 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (2)茨城県スポーツ推進委員協議会研修委員会 研修会(詳細未定) (3)茨城県南スポーツ推進委員協議会 研修会(詳細未定) (4)市スポーツ推進委員協議会 実技研修の実施 | | | |
| 予算額 ※千円 | | 203 | | | | |

| 事業No. | 4-2-2 | 事業名 | スポーツ推進委員の活動の活性化 | 担当課 | スポーツ都市推進課 | |
|---|-------|-----|--|-----|------------|------------|
| 事業内容 | | | スポーツ推進委員によるニューススポーツの研究や普及活動を促進するとともに、コーディネーターとしての活動の拡大及び活性化に向けて支援します。 | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | 968 | 264 |
| 令和3年度計画 | | | 地域スポーツにおけるコーディネーターとして、龍ヶ崎市発のニューススポーツ「まいりゅうコロコロ」を市民に広めるため、市スポーツ推進委員協議会委員のルールの習得に向けた取組を行います。 | | | |
| 令和3年度実施内容 | | | コロナ禍の影響によりイベントやニューススポーツ体験教室は実施することができなかったが、ニューススポーツの研究を重ね、子どもから高齢者まで気軽に楽しめる龍ヶ崎市発のニューススポーツ「まいりゅうコロコロ」を考案し、推進委員内の実技研修や検討を重ねながら、ルールの改善を図った。 令和4年度から市民に身近な場所であるコミュニティセンターで普及を図るため、「まいりゅうコロコロ」を中心としたニューススポーツ体験教室の実施について各コミュニティセンターへ希望調査を行った。(8か所で実施希望) | | | |
| 進捗状況 | | | 事業推進上の課題 | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | | コロナ禍の影響で大会や研修等も実施できず、推進委員の活動が思うように進まない部分はあるが、龍ヶ崎市独自のニューススポーツを考案したことにより、推進委員全員体制で普及に向けて取り組むことで、活性化につながる。 | | | |
| 令和4年度計画 | | | (1)龍ヶ崎市発のニューススポーツ「まいりゅうコロコロ」を中心としたニューススポーツを市民に広めるため、コミュニティセンターで体験教室等を実施する。 (2)実技研修の実施 | | | |
| 予算額 ※千円 | | 968 | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策2

| 事業No. | 4-2-3 | 事業名 | スポーツボランティア活動の促進 | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | | | | |
|---|-------|--|-----------------|------------------|-----|-------|------------|------|------|------|--------|------------|---|
| 事業内容 | | 流通経済大学やスポーツ団体等と連携を図りながら、スポーツイベントの運営に係るスポーツボランティア活動を促進し、地域への定着を図ります。 | | | | | 予算額 ※千円 | - | | | | 決算額 ※千円 | - |
| 令和3年度計画 | | 流通経済大学やスポーツ団体、企業等と連携を図り、マラソン大会やスポーツレクリエーションまつり等の大規模スポーツイベントへ多くの市民がスポーツボランティアとして参加できるよう促進する。 | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | <p>各種スポーツ大会やイベント開催時にボランティアの協力を依頼する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての大会が中止となった。</p> <p>(1) 各種大会・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会: 令和3年5月9日(中止) ・ 市民スポーツ・レクリエーションまつり: 令和3年10月10日(中止) ・ 第15回龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会: 令和3年12月18日(中止) | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | | | |
| | ☆ | 運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合 | % | 11.4 | 目標 | - | - | - | - | - | 20 | | |
| | | | % | - | 実績 | - | - | - | 10 | - | | | |
| | | | % | - | 達成度 | - | - | - | - | - | | | |
| | ☆ | 流通経済大学スポーツイベントボランティア延べ参加者数 | 人 | 193 | 目標 | - | - | - | - | - | モニタリング | | |
| | | % | - | 実績 | 181 | 166 | 60 | 48 | | | | | |
| | | % | - | 達成度 | - | - | - | - | - | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、全ての大会やイベントが中止となってしまい、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアの協力を得る機会を失ってしまった。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症にも対応した運営方法の検討や大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備していく。</p> | | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | | 流通経済大学やスポーツ団体、企業等と連携を図り、マラソン大会やスポーツレクリエーションまつり等の大規模スポーツイベントへ多くの市民がスポーツボランティアとして参加できるよう促進する。 | | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | - | | | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策2

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------------|--------------------------|------------------|----|-------|------------|------------|------|------|--|
| 事業No. | 4-2-4 | 事業名 | スポーツボランティアの育成等に向けた仕組みの構築 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
| 事業内容 | 茨城国体やマラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けて、スポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築します。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| | | | | | | | — | — | | | |
| 令和3年度計画 | 大規模スポーツイベントについては、スポーツ関係団体、流通経済大学、イベントを所管する実施団体の構成団体によるボランティアの人員確保を基本とし、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらボランティアの公募を検討する。 | | | | | | | | | | |
| 令和3年度実施内容 | <p>龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会 開催日：令和3年5月9日→新型コロナウイルス感染症の影響により中止(※その他、大規模イベントの一つであるスポレクまつりも同感染症の影響により中止となった)。</p> <p>(1)スポーツ関係団体へ派遣を要請(223名参加予定) 龍ヶ崎市スポーツ協会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ交流協会</p> <p>(2)流通経済大学へ派遣を要請(130名参加予定) 陸上競技部、ライフセービング部</p> <p>(3)スポーツ団体以外へのボランティア協力を依頼(96名予定) 消防団、商工会、(一社)青年会議所、民間企業2社ほか</p> <p>(4)新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、応援手旗作成ボランティアの公募(10名参加)</p> | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | 国体柔道競技の補助員・ボランティアの確保見込数 | 人 | — | 目標 | 100 | 180 | | | | |
| | | | | | 実績 | 110 | 183 | | | | |
| % | — | 達成度 | 110 | 102 | | | | | | | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会開催に向けて、新型コロナウイルス感染拡大防止として、ランナーとボランティアスタッフとの接触を極力避ける運営方法を取り入れ人員削減を行ったため、広くボランティアを募集しなかった。また、当日の従事に対する負担や重症化しやすいと言われる65歳以上の方への配慮として、大会前に応援旗を作成するボランティア活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症における変異株による感染拡大の影響によって、残念ながら第1回大会は中止となってしまった。今後についても、スポーツ団体や実行委員会の構成団体を中心としたボランティア編成に加え、新型コロナウイルスの感染状況に応じて公募による市民ボランティアの募集をしていく。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | 大規模スポーツイベントについては、スポーツ関係団体、流通経済大学、イベントを所管する実施団体の構成団体によるボランティアの人員確保が基本となるため、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらボランティアの公募を検討する。 | | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策2

| 事業No. | 4-2-5 | 事業名 | 障がい者スポーツのボランティアの育成と活動の促進 | 担当課 | スポーツ都市推進課/社会福祉課 | |
|---|-------|--|--------------------------|-----|-----------------|------------|
| 事業内容 | | スポーツ団体や障がい者福祉団体等と連携を図りながら、障がい者スポーツボランティアの育成と活動の促進を図ります。 | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 |
| | | | | | - | - |
| 令和3年度計画 | | <p>【社会福祉課】 地域身体障害者スポーツ大会 令和3年8月21日(土) たつのこアリーナ ※開催に関して、現在関係市町村・障がい者協会と方針調整中 [※1-3-4転記]</p> <p>【スポーツ都市推進課】 市民スポーツレクリエーションまつりにおいて、障がい者スポーツ体験コーナーを設置する。 実施日 令和3年10月10日(日) マラソン大会において視覚障がい者も参加できるよう伴奏者の登録を受付ける。 NPO法人クラブ・ドラゴンズの交付金事業として、市内の障がい者施設と連携し、施設利用の障がい者にスポーツ指導を行う。</p> | | | | |
| 令和3年度実施内容 | | <p>【社会福祉課】 令和3年8月に、近隣市町村で実施している地域身体障害者スポーツ大会をたつのこアリーナにて開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止した。</p> <p>【スポーツ都市推進課】 市民スポーツレクリエーションまつり及びマラソン大会は新型コロナウイルスの影響により中止した。 障がい児放課後デイサービスを利用している子どもたちを対象にスポーツ教室を実施した。12回 延参加者数165人 (クラブ・ドラゴンズ 交付金事業)</p> | | | | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に | | <p>【社会福祉課】 大会開催に際し、新型コロナウイルスの感染防止やバリアフリー会場の確保等、障がい者、ボランティア参加者ともに安心して参加できる環境づくり。</p> <p>【スポーツ都市推進課】 コロナ禍により、スポーツ大会・イベントが中止となってしまったが、障がい者福祉団体と連携し、障がい者やボランティアが安心して参加しやすい場を提供する。</p> | | | | |
| 令和4年度計画 | | <p>市民スポーツレクリエーションまつりにおいて、障がい者スポーツ体験コーナーを設置する。 マラソン大会において視覚障がい者も参加できるよう伴奏者の登録を受付ける。 NPO法人クラブ・ドラゴンズの交付金事業として、市内の障がい者施設と連携し、施設利用の障がい児にスポーツ指導を行う。</p> | | | | |
| 予算額 ※千円 | | - | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|-----------------|---|----|------------------|-----|-------|------|------|------|------|
| 政策4 | スポーツ環境の充実 | | | | | | | | | |
| 施策3 | スポーツに関する情報提供の充実 | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 4-3-1 | スポーツ施設・教室等に関する情報の一元化 | | | | | | | | |
| | 4-3-2 | スポーツ団体に関する情報提供の推進 | | | | | | | | |
| | 4-3-3 | 情報提供媒体の拡大 | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
| | ☆ | スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合 | % | 13.3 | 目標 | — | — | — | — | 30 |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 15 | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | 0 |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | | | % | — | 目標 | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | % | — | 目標 | | | | | |
| | | | | | 実績 | | | | | |
| 進捗状況 | | 評価事項 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | スポーツに関する情報は、市広報紙「りゅうほー」や市公式HP、指定管理者が発行するチラシ、フェイスブック等のSNSも活用し広く市民へ提供している。しかしながら、まだまだSNSでのスポーツ関連の情報発信が少ないため、それぞれのニーズに合った情報を選び積極的にSNSも活用しながら、より効果的な情報提供の仕方について検討する必要がある。 | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策3

| 事業No. | 4-3-1 | 事業名 | スポーツ施設・教室等に関する情報の一元化 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|---|---|-----------------------------|----------------------|------------------|-----|-------|------------|------------|------|------|--|
| 事業内容 | 市のスポーツ施設や学校体育施設などの利用案内とともに、スポーツ教室、サークル、イベント、健康・体づくりなどの情報を一元的に提供します。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| 令和3年度計画 | (1) 広報誌「りゅうぼー」による情報提供 月2回発行する広報誌に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載 (2) ホームページやSNSによる情報提供 イベントやスポーツ教室等の詳細な案内を臨機応変に提供 (3) 総合運動公園内スポーツ施設の掲示板等の活用 総合運動公園内施設の掲示板等へ、スポーツイベント・教室等のスポーツ関連情報の掲載 | | | | | | — | — | | | |
| 令和3年度実施内容 | (1) 広報誌「りゅうぼー」による情報提供 月2回発行する広報誌に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載し、利用者への周知を行いました。 (2) ホームページやSNSによる情報提供 ホームページは広報誌に比べ情報量が多く取り扱うことができることから、新しく開館した北文間運動広場の情報を詳細に公表することができた。また、たつこのこまちづくりパートナーズによるSNSを使用したイベントや教室等の紹介なども定期的に行いました。 (3) 総合運動公園内スポーツ施設の掲示板等の活用 スポーツ活動拠点である総合運動公園内施設の掲示板等を活用し、スポーツイベント・教室等のスポーツ関連情報を掲載しました。 | | | | | | — | — | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合 | % | 13.3 | 目標 | — | — | — | — | 30 | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 15 | — | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | — | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 指定管理者であるたつこのこまちづくりパートナーズと協力し、大会スケジュールやイベントの周知などより多くの方に見てもらえる周知手段を模索する必要がある。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | (1) 広報誌「りゅうぼー」による情報提供 月2回発行する広報誌に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載 (2) ホームページやSNSによる情報提供 イベントやスポーツ教室等の詳細な案内を臨機応変に提供 (3) 総合運動公園内スポーツ施設の掲示板等の活用 総合運動公園内施設の掲示板等へ、スポーツイベント・教室等のスポーツ関連情報の掲載 | | | | | | — | — | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

| 事業No. | 4-3-2 | 事業名 | スポーツ団体に関する情報提供の推進 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
|---|--|-----------------------------|-------------------|------------------|-----|-------|------------|------------|------|------|--|
| 事業内容 | 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容など、スポーツ団体の幅広い情報提供に努めます。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | | |
| 令和3年度計画 | 広報誌「りゅうぼー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行う。 | | | | | | — | — | | | |
| 令和3年度実施内容 | 広報誌「りゅうぼー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行った。 | | | | | | — | — | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合 | % | 13.3 | 目標 | — | — | — | — | 30 | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 15 | — | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | — | |
| 進捗状況 | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | 広報誌「りゅうぼー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行う。 | | | | | | | | | | |
| 令和4年度計画 | 広報誌「りゅうぼー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行う。 | | | | | | — | — | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

第2次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策4-施策3

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------|--|-----------|------------------|----|-------|------|------------|------------|------|--|
| 事業No. | 4-3-3 | 事業名 | 情報提供媒体の拡大 | | | | 担当課 | スポーツ都市推進課 | | | |
| 事業内容 | | スポーツに関する情報提供に当たっては、市の広報誌、ホームページ、SNSのほか、情報提供媒体の拡大を図るとともに、分かりやすい内容となるよう努めます。 | | | | | | 予算額 ※千円 | 決算額 ※千円 | | |
| 令和3年度 計画 | | 市の広報紙りゅうほーやホームページ、フェイスブック等のSNS、指定管理者が発行する教室のチラシ等、あらゆる年代の方がスポーツに関する情報を入手しやすいよう配慮し、情報発信に努める。 | | | | | | — | — | | |
| 令和3年度 実施内容 | | 市の広報紙りゅうほーやホームページ、フェイスブック等のSNS、指定管理者が発行する教室のチラシ等、あらゆる年代の方がスポーツに関する情報を入手しやすいよう配慮し、情報発信に努める。 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | |
| | ☆ | スポーツの情報提供に満足している 16歳以上の市民の割合 | % | 13.3 | 目標 | — | — | — | — | 30 | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 15 | | |
| | | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | |
| 進捗状況 | | 事業推進上の課題 | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 ※当てはまる事項に <input checked="" type="checkbox"/> | | 年代ごとに使用するSNSが異なるため、それぞれのニーズに合った情報を選び掲載していく必要がある。 | | | | | | | | | |
| 令和4年度 計画 | | 市の広報紙りゅうほーやホームページ、フェイスブック等のSNS、指定管理者が発行する教室のチラシ等、あらゆる年代の方がスポーツに関する情報を入手しやすいよう配慮し、情報発信に努める。 | | | | | | | | | |
| 予算額 ※千円 | — | | | | | | | | | | |

龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画の
評価について
(評価シート)

龍ヶ崎市健康づくり推進部
スポーツ都市推進課

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策1 施策1

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------------------------------|--------|------------------|--------|--------|-------------------|--------|--------|--------|------|
| 政策1 | スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | | | | | | | | |
| 施策1 | 高齢者をはじめ誰もがスポーツに親しむ機会の充実 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 1-1-1 | マラソン大会の開催 | | | | 1-1-5 | 指定管理者によるスポーツ教室の充実 | | | | |
| | 1-1-2 | 健幸マイレージ事業の推進 | | | | 1-1-6 | ニュースポーツの推進 | | | | |
| | 1-1-3 | 総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進 | | | | 1-1-7 | ウォーキングの普及 | | | | |
| | 1-1-4 | スポーツ大会・イベントの充実 | | | | 1-1-8 | 健康づくりに向けた体操の普及 | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 評価※ |
| | ★ | 健幸マイレージ事業の登録者数 | 人 | — | 目標 | 1,000 | 1,500 | 2,000 | 2,500 | 3,000 | A |
| | | | | | 実績 | 1,198 | 1,822 | 2,162 | 2,565 | | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 120 | 121 | 108 | |
| | ☆ | スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数 | 人 | 6,525 | 目標 | 7,500 | 8,500 | 8,600 | 8,700 | 8,800 | C |
| | | | | | 実績 | 8,343 | 8,756 | 2,547 | 2,835 | | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 111 | 103 | 30 | |
| | ☆ | スポーツ教室の延べ利用者数(指定管理者) | 人 | 51,795 | 目標 | 52,000 | 54,000 | 54,000 | 54,000 | 54,000 | C |
| | | | | | 実績 | 47,895 | 45,653 | 40,999 | 29,070 | | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 92 | 85 | 76 | |
| | ☆ | スポーツ教室の延べ利用者(総合型地域スポーツクラブ) | 人 | 20,957 | 目標 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | C |
| | | | | | 実績 | 23,088 | 19,167 | 11,704 | 10,463 | | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 105 | 87 | 53 | |
| | ☆ | ニュースポーツ教室・大会の延べ参加者数 | 人 | 946 | 目標 | 1,100 | 1,150 | 1,150 | 1,200 | 1,200 | D |
| | | | | | 実績 | 1,157 | 1,339 | 34 | 0 | | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 105 | 116 | 3 | |
| ☆ | ふるさとふれあい公園(グラウンドゴルフ場・ゲートボール場・ディスクゴルフ場)の延べ利用者数 | 人 | 15,859 | 目標 | 16,000 | 16,500 | 17,000 | 17,500 | 18,000 | B | |
| | | | | 実績 | 15,650 | 15,322 | 11,152 | 11,078 | | | |
| | | | | % | — | 達成度 | 98 | 93 | 66 | | 63 |
| ☆ | 健康ウォーキング講座の延べ参加者数 | 人 | 189 | 目標 | 360 | 380 | 400 | 425 | 450 | A | |
| | | | | 実績 | 843 | 847 | 321 | 728 | | | |
| | | | | % | — | 達成度 | 234 | 223 | 80 | | 171 |
| ☆ | てくてくロードを歩いた延べ人数 | 人 | 1,179 | 目標 | 2,000 | 2,075 | 2,150 | 2,225 | 2,300 | D | |
| | | | | 実績 | 1,176 | 974 | 1,063 | 649 | | | |
| | | | | % | — | 達成度 | 59 | 47 | 49 | | 29 |
| ☆ | いきいきヘルス体操教室の延べ参加者数 | 人 | 21,881 | 目標 | 22,400 | 22,800 | 23,200 | 24,000 | 25,000 | D | |
| | | | | 実績 | 19,942 | 18,745 | 5,841 | 6,425 | | | |
| | | | | % | — | 達成度 | 89 | 82 | 25 | | 27 |
| ☆ | 元気アップ体操の延べ参加者数 | 人 | 7,398 | 目標 | 7,000 | 7,100 | 7,200 | 7,300 | 7,450 | B | |
| | | | | 実績 | 7,121 | 6,292 | 3,106 | 4,629 | | | |
| | | | | % | — | 達成度 | 102 | 89 | 43 | | 63 |
| 総合評価基準 | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | 各種スポーツ大会やイベントを定期的実施し、身近で気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図り、誰もがスポーツを通じて健康的な生活を送れるような様々な施策を実施してきた。 現在、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値の多くは目標に届かず、令和4年度末の目標値達成は難しい状況であるが、屋外施設の利用やウォーキングなどの屋外活動については、コロナ禍でも実施しやすいものとして順調に参加者は伸びており期待ができる。また、その他の施策についても、コロナ禍前までは順調に参加者が伸びていたものの、イベントの中止や施設の休館・時短営業により実施できていないため評価が難しいが、ニュースポーツの研究や、感染症対策を徹底しながら指定管理者の教室は実施されている。 今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、実施可能な取組を進めていくことが重要である。 | | | | | | | | | | B |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策1 施策2

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------------------|----------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|---|
| 政策1 | スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | | | | | | | | | |
| 施策2 | スポーツ団体活動の活性化 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 1-2-1 | スポーツ協会の組織体制の強化に向けた支援 | | | | | | | | | | |
| | 1-2-2 | 総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援 | | | | | | | | | | |
| | 1-2-3 | スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援 | | | | | | | | | | |
| | 1-2-4 | スポーツ少年団の連携・交流大会への支援 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツクラブ等に加入している16歳以上の市民の割合 | % | 17.6 | 目標 | — | — | — | — | 20 | C | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 11 | | | |
| | ☆ | 総合型地域スポーツクラブの認知度 | % | 25 | 目標 | — | — | — | — | 30 | A | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 27 | | | |
| | ☆ | 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 人 | 455 | 目標 | 500 | 550 | 600 | 700 | 800 | C | |
| | | | | | 実績 | 423 | 456 | 400 | 278 | | | |
| | その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 龍ヶ崎市スポーツ少年団本部への加入団体数 | 団 | 32 | 目標 | 32 | 32 | 33 | 34 | 35 | A |
| | | | | | | 実績 | 31 | 31 | 31 | 31 | | |
| | | ☆ | 市内スポーツ少年団への加入率(小学生) | % | — | 目標 | — | — | — | — | — | — |
| | | | | | | 実績 | — | — | — | — | | |
| | ☆ | 市内スポーツ少年団への加入率(小学生) | % | — | 達成度 | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | | | |
| 総合評価基準 | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合評価 | |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | <p>スポーツクラブ等に加入している16歳以上の市民の割合は、ベース値である平成28年度より下がっている。総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」については、少子化やコロナ禍でのスポーツ活動の自粛等により会員数が減少しており目標値達成は厳しい状況であるが、認知度は多少上昇している。令和4年度から新たにスポーツサロン北文間館が開設されたことにより活動場所も増加し、安定した教室・講座が実施できることから、今後の会員数の増加や認知度上昇につながるものと期待できる。</p> <p>また、交付金事業ではコミュニティセンターを拠点とした事業や障がい児を対象とした事業等を展開していることも、利用者の増加が見込まれる。</p> <p>スポーツ少年団活動については、市民が主体的に運営するスポーツクラブとして、学校の体育館や近隣の運動公園などの公共施設を活動の拠点しており、市の施設利用料の減免や大会参加時のバス使用料の補助など支援を行ってきた。少子化の進行に伴い団員確保が難しく活動が縮小している団もあり、今後も継続した支援が必要となる。</p> | | | | | | | | | | B | |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策1 施策3

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------------------------|-----|---------------------------|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 政策1 | スポーツ・運動を通じた健康づくり | | | | | | | | | | |
| 施策3 | 障がい者スポーツの環境整備 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 1-3-1 | スポーツ施設のバリアフリー化の推進 | | 1-3-5 | 全国障害者スポーツ大会の開催を契機とした障がい者スポーツの普及 | | | | | | |
| | 1-3-2 | スポーツを通じた障がい者の交流の促進 | | | | | | | | | |
| | 1-3-3 | 障がい者スポーツの周知啓発 | | | | | | | | | |
| | 1-3-4 | 障がい者スポーツ大会の開催及び参加への支援 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者) | 人 | ベース値 (平成28年度) 5,068 | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 評価 ※ D |
| | | | % | — | 目標 | 5,140 | 5,180 | 5,220 | 5,260 | 5,300 | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設における障がい者スポーツ大会の開催数 | 回 | 2 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | D |
| | | | % | — | 実績 | 4,817 | 4,231 | 2,619 | 1,100 | | |
| | | | | | 達成度 | 94 | 82 | 50 | 21 | | |
| | | | | | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 実績 | 5 | 4 | 0 | 0 | | | | | |
| | | 達成度 | 125 | 100 | 0 | 0 | | | | | |
| 総合評価基準 | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合 評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | <p>障がい者の総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による施設閉館や終息が見えない感染の不安から利用を控えていると思われ、目標値の約20%の利用となっている。</p> <p>施設面においては、障がい者手帳アプリの導入による利用者の利便性の向上や施設改修時のバリアフリー化を行い、誰もが利用しやすい施設へと改善を図ってきた。</p> <p>障がい者のスポーツ活動は、生きがいづくりや機能回復及び社会参加につながる重要な要素のひとつであり、市民が互いの理解をより深めるためにも、引き続き、施設の利便性の向上を図るとともに、障がい者スポーツの普及や交流を促進していくことが必要である。</p> | | | | | | | | | | C |

※1 各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策2 施策1

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------|--|----|--------------------------|------------------------------|------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---|
| 政策2 | 子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | | | | |
| 施策1 | 子どもの体力づくりの推進 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 2-1-1 | 各小中学校の課題に応じた体力づくり | | | | | | | | | | |
| | 2-1-2 | 運動・遊び・スポーツ活動の実践力の育成 | | | | | | | | | | |
| | 2-1-3 | 小中一貫教育における体力向上策の計画立案 | | | | | | | | | | |
| | 2-1-4 | 学校体育及び競技大会における市のスポーツ施設の活用 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 体力テスト総合評価でA+Bの児童生徒の割合 | % | ベース値 (平成28年度) 54.3 | 目標 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | B | |
| | | | | | 実績 | 54.4 | 51.6 | — | 47 | | | |
| | 達成度 | 91 | 86 | — | 78 | | | | | | | |
| | ☆ | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において男女ともに県平均を上回った種目数 | % | — | 小学5年生 2種目 中学2年生 2種目 | 目標 | 小5 4種目 中2 4種目 | D |
| | | | | | | 実績 | 小5 2種目 中2 0種目 | 小5 0種目 中2 0種目 | — | 小5 0種目 中2 0種目 | | |
| | | | | | | 達成度 | 小5 50 中2 0 | 小5 0 中2 0 | — | 小5 0 中2 0 | | |
| 総合評価基準 | | 評価事項 | | | | | | | | | 総合評価 | |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | | 目標値である「体力テスト総合評価AまたはBの児童生徒の割合60%」については中学校女子以外については困難な数値設定となっている。コロナ禍でも実施できる体力向上について各校工夫しながら取組が実施されている。また、例年、市の充実したスポーツ施設を活用することによって、児童生徒の活動意欲が高まり、専門家からの助言で技能の向上が図られている。 | | | | | | | | | B | |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策2 施策2

| | | | | | | | | | | | |
|---|---------------|--|---|------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| 政策2 | 子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | | | |
| 施策2 | 運動部活動の活性化 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 2-2-1 | 部活動指導員配置制度の創設 | | | | | | | | | |
| | 2-2-2 | 運動部活動における外部指導者の活用 | | | | | | | | | |
| | 2-2-3 | 運動部活動の支援体制の充実 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツ指導者バンク制度による運動部活動への指導者派遣人数 | 人 | 6 | 目標 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | A |
| | | | | | 実績 | 13 | 9 | 10 | 8 | | |
| | | | | | 達成度 | 130 | 90 | 100 | 80 | | |
| | ☆ | 生徒の運動部活動への参加率 | % | 71.2 | 目標 | — | — | — | — | モニタリング | — |
| | | | | | 実績 | 72.1 | 71.0 | 68.4 | 67.9 | | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | | |
| 総合評価基準 | | 評価事項 | | | | | | | | | 総合評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | | スポーツ指導者バンク制度による運動部活動への指導者派遣については、毎年、各中学校運動部からの希望により派遣されており、各運動部活動の技術的指導を行う外部指導者の活用が推進されており、さらに充実した人材の確保が必要である。また、大会出場に係る交通費等について支援しており、バス利用の補助を実施し保護者の経済的負担軽減するなど、支援体制を充実している。 | | | | | | | | | B |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策2 施策3

| 政策2 | | 子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | | | |
|---|----|---|------------------------|------------------|-----|--------|--------|--------|------------------|---------|-----|------|
| 施策3 | | 地域の連携による子どものスポーツ活動の充実 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | | 2-3-1 | 流通経済大学生による体育授業サポート等の促進 | | | | | | | | | |
| | | 2-3-2 | 児童生徒のスポーツ活動支援 | | | | | | | | | |
| | | 2-3-3 | 子どもが遊びやスポーツに親しむ機会の提供 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 評価※ | |
| | ☆ | 体育の授業以外にスポーツや運動をしている児童生徒の割合 | % | 児童67.7 生徒68.4 | 目標 | — | — | — | — | 児童・生徒75 | A | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 児童65.8 生徒70.6 | | | |
| | | | | | 達成度 | — | — | — | — | | | |
| | ☆ | 部活動に所属していない生徒のうち、学校外のクラブチームに所属していると答えた生徒の割合 | % | 5.8 | 目標 | — | — | — | — | モニタリング | — | |
| | | | | | 実績 | — | — | — | — | | | |
| 達成度 | | | | | — | — | — | — | | | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数 | 人 | 18,937 | 目標 | 19,800 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | D | |
| | | | | | 実績 | 20,466 | 18,124 | 629 | 951 | | | |
| | | | | | 達成度 | 103 | 91 | 3 | 5 | | | |
| 総合評価基準 | | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | | 「たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値には遠い状況にあるが、感染対策を優先し、実施可能な範囲でNPOのサポーターや地域のボランティアによる指導や見守り事業が行われ、子どもたちが自由な発想で活動することができる安心・安全な場を提供している。 また、小中学校の授業や運動会等では、流通経済大学生の協力を得て実施するなど、大学と連携したサポートが毎年行われている。 今後も、子どもたちのスポーツ活動の充実を図るために、流通経済大学、小中学校、スポーツ団体、家庭、地域等の緊密な連携が必要である。 | | | | | | | | | | B |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策3 施策1

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|------------------------|---|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|---|------|
| 政策3 | 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | | | | | | | | | |
| 施策1 | スポーツ指導者・トップアスリートの育成 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 3-1-1 | 指導者の養成と資質向上 | | | | | | | | | | |
| | 3-1-2 | 技術講習会等を通じた競技力の向上 | | | | | | | | | | |
| | 3-1-3 | 関係団体の連携による優秀選手の早期発掘と育成 | | | | | | | | | | |
| | 3-1-4 | 国際・全国大会出場に対する支援・応援 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツ指導者養成講習会の受講者数 | 人 | 22 | 目標 | 30 | 40 | 50 | 55 | 60 | D | |
| | | | % | | — | 実績 | 12 | 0 | 0 | 0 | | |
| | ☆ | スポーツ全国大会出場件数(大学生を除く。) | 件 | 42 | 目標 | 50 | 55 | 60 | 65 | 70 | A | |
| | | | % | | — | 実績 | 42 | 51 | 24 | 57 | | |
| | ☆ | 市民参加型スポーツ技術講習会等の延べ参加者数 | 人 | 500 | 目標 | 510 | 550 | 550 | 550 | 550 | D | |
| | | | % | | — | 実績 | 559 | 526 | 0 | 0 | | |
| | 総合評価基準 | | 評価事項 | | | | | | | | | 総合評価 |
| | A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | | 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ指導者養成講習会は3年連続で実施できず、指導者育成の取組みは進んでいないため、今後はコロナ禍でも実施できる取組の検討が必要である。一方、競技者については、各競技団体において可能な範囲で大会を実施し、コロナ禍においても各選手の育成に努めている。 また、毎年、国際大会や全国大会へ出場した選手に対する激励金の交付や、その活躍を広報紙・SNSで市民へ周知するなどの支援を行いトップアスリートの育成に向けた活動を支援している。 | | | | | | | | | C |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策3 施策2

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|-----|---------|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---|------|
| 政策3 | 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | | | | | | | | | |
| 施策2 | スポーツによる交流人口の増加 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 3-2-1 | マラソン大会の開催【再掲】 | | 3-2-5 | 各国代表チームとの交流促進 | | | | | | | |
| | 3-2-2 | 競技スポーツ大会の開催促進 | | 3-2-6 | スポーツツーリズムの推進 | | | | | | | |
| | 3-2-3 | 茨城国体の開催に向けた機運の醸成 | | 3-2-7 | 地域スポーツコミッションの設立 | | | | | | | |
| | 3-2-4 | 事前キャンプ招致活動の推進 | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ★ | ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの招致チーム数 | チーム | — | 目標 | 3 | 3 | 3 | | | | A |
| | | | | | 実績 | 3 | 3 | 4 | | | | |
| | | | % | | 達成度 | 100 | 100 | 133 | | | | |
| | ☆ | スポーツを直接観戦する16歳以上の市民の割合 | % | 8.8 | 目標 | — | — | — | — | 10 | | — |
| | | | | | 実績 | — | — | — | ※2 | | | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | — | | | |
| | ☆ | 市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合 | % | 32.1 | 目標 | — | — | — | — | 37 | | A |
| | | | | | 実績 | — | — | — | 31 | | | |
| | | | % | — | 達成度 | — | — | — | 84 | | | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(利用者数+観覧者数) | 人 | 347,454 | 目標 | 410,000 | 420,000 | 430,000 | 440,000 | 455,000 | | C |
| | | | | | 実績 | 374,289 | 348,003 | 181,538 | 222,952 | | | |
| | | | % | — | 達成度 | 91 | 83 | 42 | 51 | | | |
| ☆ | 海外代表チームの市内での合宿数 | 回 | 3 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 1 | モニタリング | | A | |
| | | | | 実績 | 3 | 3 | 0 | 1 | | | | |
| | | % | — | 達成度 | 100 | 100 | 0 | 100 | | | | |
| その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 2019年にたつのこアリーナで国体柔道競技が開催される認知度(一般) | % | 12 | 目標 | 50 | | | | | A | |
| | | | | | 実績 | 49 | | | | | | |
| | | | % | — | 達成度 | 98 | | | | | | |
| 総合評価基準 | 評価事項 | | | | | | | | | | | 総合評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | 施設の利用者数や観覧車数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値の半数に留まっているが、プロ野球BCリーグ公式戦や流通経済大学運動部の公式戦を中心としたトップレベルのスポーツ大会等を実施し、高いレベルの競技スポーツを見る機会の充実を図ってきた。また、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでは、アメリカ合衆国柔道競技チームと基本合意を締結し、大会終了後に子どもたちとの事後交流事業を実施して代表チームとの交流促進を図ることができた。 市民意識調査では、「市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合」は、前回調査(H28)から1%減少し31.1%(R3)となっており、今後も、総合運動公園の充実した施設を活かして公式大会の招致や市内外から多くの人に参加できるスポーツイベントの開催に努め、市民のスポーツへの関心を高める取組が必要となる。 | | | | | | | | | | | B |

※1 各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

※2 調査方法変更により数値なし

(参考)主な観戦の仕方を全て回答した場合「テレビの中継を見る」83%に次いで、「直接、試合会場で観戦をする」が29%

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策3 施策3

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------------|----|------------------|----|-------|------|------|------|------|----------|
| 政策3 | 競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化 | | | | | | | | | | |
| 施策3 | 流通経済大学運動部との連携 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 3-3-1 | 流通経済大学運動部の公式試合等の情報提供 | | | | | | | | | |
| | 3-3-2 | 流通経済大学運動部との交流促進 | | | | | | | | | |
| | 3-3-3 | 流通経済大学運動部応援活動の促進 | | | | | | | | | |
| | 3-3-4 | 流通経済大学運動部の活動支援 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | 種別 | 指標名 | 単位 | ベース値 (平成28年度) | 数値 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 評価 ※ |
| | ☆ | 流通経済大学運動部公式戦応援ツアーの延べ参加者数 | 人 | 28 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | D |
| | | | | | 実績 | 74 | 49 | 0 | 0 | | |
| | ☆ | 総合運動公園のスポーツ施設における流通経済大学運動部公式戦の開催数 | 試合 | 31 | 目標 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | B |
| | | | | | 実績 | 41 | 37 | 21 | 30 | | |
| | | | | | % | — | 達成度 | 93 | 61 | 0 | 0 |
| | | | | % | — | 達成度 | 103 | 93 | 53 | 75 | |
| 総合評価基準 | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合 評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | 流通経済大学運動部への活動支援については、総合運動公園内のスポーツ施設の優先貸出し等、市及び指定管理者との連携により活動支援を行っている。また、例年、大学運動部公式試合観戦ツアー等の開催や、広報紙やSNSを活用したイベント等の情報発信など、大学との連携を図りながら大学運動部と市民の交流を行っており、大学と市民の交流の活性化を図ることで、地域のにぎわいの創出と市民のスポーツへの関心を高めている。 | | | | | | | | | | B |

※ 各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策4 施策1

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------|
| 政策4 | スポーツ環境の充実 | | | | | | | | | | |
| 施策1 | スポーツ施設の充実と有効活用 | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 4-1-1 | スポーツ施設の機能・設備の充実 | | | | | | | | | |
| | 4-1-2 | 利用しやすい施設運営とサービスの充実 | | | | | | | | | |
| | 4-1-3 | 大規模イベント開催時における交通対策の推進 | | | | | | | | | |
| | 4-1-4 | 学校体育施設の開放の推進 | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | たつのこアリーナ(メインアリーナ), たつのこフィールド, たつのこスタジアムの稼働率 | % | アリーナ84.8 フィールド63.4 スタジアム49.8 | 目標 | アリーナ86 フィールド64 スタジアム50 | アリーナ87 フィールド65 スタジアム51 | アリーナ87 フィールド66 スタジアム52 | アリーナ88 フィールド67 スタジアム54 | アリーナ90 フィールド68 スタジアム55 | B |
| | | | | | 実績 | アリーナ86 フィールド63 スタジアム40 | アリーナ86 フィールド58 スタジアム33 | アリーナ81 フィールド52 スタジアム25 | アリーナ85 フィールド62 スタジアム35 | | |
| | 達成度 | | | | アリーナ100 フィールド98 スタジアム80 | アリーナ99 フィールド89 スタジアム65 | アリーナ93 フィールド79 スタジアム48 | アリーナ74 フィールド93 スタジアム65 | | | |
| | ☆ | たつのこアリーナ利用者(個人), たつのこフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度 | % | アリーナ75.3 屋外施設73.7 | 目標 | アリーナ78 屋外施設75 | アリーナ80 屋外施設78 | アリーナ80 屋外施設78 | アリーナ80 屋外施設78 | アリーナ80 屋外施設78 | A |
| | | | | | 実績 | アリーナ82.4 屋外施設84.7 | アリーナ79.8 屋外施設81.1 | アリーナ79 屋外施設85.4 | アリーナ79.8 屋外施設83.5 | | |
| | | | | | 達成度 | アリーナ106 屋外施設113 | アリーナ100 屋外施設104 | アリーナ99 屋外施設109 | アリーナ100 屋外施設107.1 | | |
| 総合評価基準 | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合評価 |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | 総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間のノウハウを活かした適切な管理運営を行い、高水準の機能・設備を備えた施設として充実を図り、計画的な改修・修繕等に努めてきた。 今後も、市民が利用しやすい環境を整え積極的な活用を促進するため、施設整備や運営についての計画を検討していく必要がある。 | | | | | | | | | | B |

※ 各目標値の評価基準(達成度がA: 80%以上・B: 60~80%未満、C: 30~60%未満、D: 30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策4 施策2

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|---|---|------------------|------|-------|--------------------------|-----|----|----|--------|------|---|
| 政策4 | スポーツ環境の充実 | | | | | | | | | | | | |
| 施策2 | スポーツボランティア活動の普及啓発 | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 4-2-1 | スポーツ推進委員の資質向上 | | | | 4-2-5 | 障がい者スポーツのボランティアの育成と活動の促進 | | | | | | |
| | 4-2-2 | スポーツ推進委員の活動の活性化 | | | | | | | | | | | |
| | 4-2-3 | スポーツボランティア活動の促進 | | | | | | | | | | | |
| | 4-2-4 | スポーツボランティアの育成等に向けた仕組みの構築 | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | 運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合 (市民意識調査) | % | ベース値 (平成28年度) | 11.4 | 数値 | 目標 | — | — | — | — | 20 | C |
| | | | % | — | — | 実績 | — | — | — | — | 10 | | |
| | ☆ | 流通経済大学スポーツイベントボランティア延べ参加者数 | 人 | 193 | 目標 | — | — | — | — | — | モニタリング | — | |
| | | | % | — | — | 実績 | 181 | 166 | 60 | 48 | | | |
| | ★ | 国体柔道競技の補助員・ボランティアの確保見込数 | | | 目標 | 100 | 180 | | | | | A | |
| | | | % | — | — | 実績 | 110 | 183 | | | | | |
| 総合評価基準 | | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合評価 | |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | | スポーツ推進委員の活動では、ニュースポーツの研究を重ね、龍ヶ崎市独自のニュースポーツを考案したことにより活動が活性化しており、今後のニュースポーツ普及促進も期待ができる。また、市民意識調査では、「運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合」は、1割(R3)となっている。新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動に参加する機会が少なくなっているが、中止となった当市の「第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会」において、大会前に応援旗を作成するボランティアを実施しコロナ禍でできるスポーツに関わるボランティア活動の1つとすることができた。 | | | | | | | | | | B | |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策4 施策3

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------|--|---|------------------|------|-----|----|---|---|---|----|------|---|
| 政策4 | スポーツ環境の充実 | | | | | | | | | | | | |
| 施策3 | スポーツに関する情報提供の充実 | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業 | 4-3-1 | スポーツ施設・教室等に関する情報の一元化 | | | | | | | | | | | |
| | 4-3-2 | スポーツ団体に関する情報提供の推進 | | | | | | | | | | | |
| | 4-3-3 | 情報提供媒体の拡大 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値 | ☆ | スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合 | % | ベース値 (平成28年度) | 13.3 | 数値 | 目標 | — | — | — | — | 30 | C |
| | | | % | — | — | 実績 | — | — | — | — | 15 | | |
| | | | % | — | — | 達成度 | — | — | — | — | 50 | 0 | |
| 総合評価基準 | | 評価事項 | | | | | | | | | | 総合評価 | |
| A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要 | | スポーツに関する情報は、市広報紙「りゅうほー」や市公式HP、指定管理者が発行するチラシ、フェイスブック等のSNSも活用し広く市民への提供を行ってきたが、市民意識調査の結果では、「もっと情報提供をして欲しい」と考えている人の割合は、35.9%(R3)となっており、「今のままで良い」は14.8%(R3)で前回調査(H28)から1.5%の伸びに留まっており、より一層の情報提供が求められています。今後これまで以上に、それぞれのニーズに合った情報を選び、積極的にSNSも活用しながら、より効果的な情報提供の仕方について検討する必要がある。 | | | | | | | | | | C | |

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

スポーツ環境の現状と課題

1. スポーツ団体等

令和4年3月末現在

| 1 スポーツ団体（市内の主な団体） | 団体数 |
|---|-------|
| (1) 龍ヶ崎市スポーツ協会 目的 市民スポーツの統一組織として、子どもから高齢者まで、誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現に向けた事業を推進することを目的としています。 | 19 団体 |
| (2) 龍ヶ崎市スポーツ少年団本部 目的 スポーツ少年団相互の連絡調整を図り、心身共に健全な青少年を育成することを目的としています。 | 30 団体 |
| (3) 龍ヶ崎市レクリエーション協会 目的 各種レクリエーション活動の普及と生活文化の向上を推進し、生涯にわたって健康にして明るく文化的なまちづくりに寄与することを目的としています。 | 7 団体 |
| 2 総合型地域スポーツクラブ | 会員数 |
| NPO法人 クラブ・ドラゴンズ 目的 龍ヶ崎市の総合型地域スポーツクラブとして、スポーツ・文化活動を通して、地域の教育力の醸成、地域社会の人的交流の活性化、生涯学習活動の支援を行い、地域社会における社会教育の推進、子どもの健全育成に寄与することを目的としています。 | 278 人 |
| 3 その他 | 人数 |
| 龍ヶ崎市スポーツ推進委員 目的 スポーツ基本法に基づき龍ヶ崎市から委嘱される非常勤の公務員で、市民に対しスポーツの指導及び助言を行い、スポーツ活動の促進のために組織の育成拡充を図り、行政機関等が行うスポーツに関する行事又は事業に関し協力することが主な職務になります。 | 21 人 |

2. スポーツ施設の利用状況について

■総合運動公園のスポーツ施設利用者数

【龍ケ崎市総合体育館（たつのこアリーナ）】〔供用開始：平成14年6月30日〕

利用者数（人）

| 施設名 | 平成15年度 | 平成20年度 | 平成25年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| メインアリーナ | 47,310 | 48,932 | 47,411 | 50,111 | 52,629 | 25,571 | 19,071 |
| サブアリーナ | 11,978 | 14,163 | 17,289 | 18,435 | 14,977 | 10,632 | 10,639 |
| 多目的室 | 9,833 | 6,889 | 8,774 | 17,103 | 15,801 | 11,583 | 9,622 |
| トレーニング室 | 42,361 | 35,138 | 36,872 | 53,319 | 46,504 | 20,771 | 17,889 |
| 柔道場 | 9,945 | 14,714 | 11,492 | 12,314 | 15,706 | 9,586 | 7,468 |
| 剣道場 | 18,231 | 21,404 | 20,706 | 20,003 | 18,734 | 13,092 | 10,637 |
| プール | 79,780 | 75,145 | 78,584 | 86,650 | 75,446 | 46,209 | 42,272 |
| 合計 | 219,438 | 216,385 | 221,128 | 257,935 | 239,797 | 137,444 | 117,598 |

- ・龍ケ崎市総合体育館（たつのこアリーナ）の利用者数は、平成15年度から平成30年度までは増加傾向ですが、令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、施設の臨時休館や大会の中止等の影響により利用者数が減少しています。
- ・メインアリーナについては、令和3年度に新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種会場となっており、71,977人の利用がありました。目的がスポーツでの利用ではないため上記の数値から除いています。

【龍ケ崎市陸上競技場（たつのこフィールド）】〔供用開始：平成19年4月7日〕

利用者数（人）

| 利用内容 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成25年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| フィールド | 19,358 | 24,422 | 42,377 | 52,167 | 43,747 | 31,930 | 19,094 |
| 観覧 | 16,741 | 14,981 | 15,270 | 25,249 | 26,613 | 1,559 | 1,901 |
| 合計 | 36,099 | 39,403 | 57,647 | 77,416 | 70,360 | 33,489 | 20,995 |

※令和3年11月15日から令和4年3月31日までの間は、工事のため休場

- ・龍ケ崎市陸上競技場（たつのこフィールド）の利用者数は、平成19年度から平成30年度までは増加傾向ですが、令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、施設の臨時休館や大会の中止等の影響により利用者数が減少しています。

【龍ヶ崎市野球場（たつのこスタジアム）】〔供用開始：平成 22 年 5 月 1 日〕

利用者数（人）

| 利用内容 | 平成 22 年度 | 平成 25 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|-------|----------|----------|----------|--------|---------|---------|
| スタジアム | 15,263 | 17,376 | 12,931 | 14,129 | 7,986 | 7,429 |
| 観覧 | | 830 | 7,850 | 10,032 | 859 | 1,901 |
| 合 計 | 15,263 | 18,206 | 20,781 | 24,161 | 8,845 | 9,330 |

※平成 22 年度については、スタジアム利用及び観覧利用の合計利用者数

- ・龍ヶ崎市野球場（たつのこスタジアム）の利用者数は、供用開始から平成 25 年度まで増加傾向にありますが、令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、施設の臨時休館や大会の中止等の影響により利用者数が減少しています。

【多目的広場】〔供用開始：平成 23 年 5 月 1 日〕

利用者数（人）

| | 平成 25 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|-------|----------|----------|-------|---------|---------|
| 多目的広場 | 608 | 4 | 15 | 99 | 0 |

※たつのこスタジアムと同時に多目的広場を利用する場合は、利用者数に含まないものとする。

- ・少年野球チーム数の減少に伴い、スタジアムでの大会開催時の併用利用はありますが、多目的広場の単独での利用者数は少数にとどまっています。

■学校体育施設利用者数（夜間開放団体）

利用者数（人）

| | 平成 19 年度 | 平成 22 年度 | 平成 25 年度 | 平成 28 年度 | 令和元年度 | 令和 3 年度 |
|--------------------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|
| 学校体育施設 （夜間開放団体） | 152,969 | 121,432 | 106,531 | 115,642 | 102,279 | 64,204 |

- ・学校体育施設利用者数は、小中学校の統廃合による施設の減少などにより、年々減少傾向にあります。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、施設の貸出中止による影響により利用者数が大幅に減少しています。

■総合運動公園以外の公共スポーツ施設利用者数

利用者数（人）

| 施設名 | 平成 15 年度 | 平成 20 年度 | 平成 25 年度 | 平成 30 年度 | 令和 3 年度 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 高砂運動広場 | | | | | |
| （体育館） | 11,044 | 13,003 | 11,484 | 11,073 | 12,714 |
| （野球場） | 9,647 | 8,507 | 4,684 | 4,978 | 6,265 |
| 北文間運動広場 | | | | | |
| （体育館） | — | — | — | — | 9,195 |
| （多目的広場） | — | — | — | — | 249 |
| 小貝川市民運動公園 | | | | | |
| （野球場） | 8,436 | 3,520 | 2,744 | 3,626 | 2,046 |
| （多目的広場） | | 5,840 | 4,667 | 5,974 | 7,755 |
| 大正堀川運動公園 | | | | | |
| （野球場） | 7,213 | 5,600 | 3,706 | 1,656 | 2,873 |
| （多目的広場） | — | — | 495 | 1,400 | 1,011 |
| （テニスコート） | 6,598 | 3,775 | 2,080 | 2,688 | 2,349 |
| （フットサル） | — | — | — | — | 1,863 |
| 工業団地野球場（2面） | 12,872 | 19,892 | 9,013 | 8,600 | 14,388 |
| 北竜台公園（野球場） | 10,457 | 10,065 | 6,209 | 7,375 | 7,386 |
| 羽原川運動公園 （多目的広場） | 4,547 | 1,574 | 1,110 | 809 | 1,207 |
| 横田川運動公園 （サッカー場） | 9,855 | 10,837 | 9,159 | 6,259 | 7,006 |
| 若柴公園 （テニスコート） | 18,679 | 12,883 | 11,710 | 16,352 | 13,331 |
| 城南スポーツ公園 （テニスコート） | 15,049 | 8,905 | 6,093 | 15,858 | 5,533 |
| 龍ヶ岡公園 | | | | | |
| （テニス利用） | 28,802 | 15,821 | 11,406 | 12,685 | 15,168 |
| （フットサル利用） | — | — | — | — | 557 |
| 合 計 | 143,199 | 120,222 | 84,560 | 99,333 | 110,896 |

※令和元年度から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症の蔓延により臨時休館の期間あり。

- ・総合運動公園以外の公共スポーツ施設利用者数は、平成15年度が143,199人と特に多くなっていますが、平成19年の龍ヶ崎市陸上競技場・平成22年の龍ヶ崎市野球場の供用開始により、平成20年度以降は10万人前後で推移しています。
- ・令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の蔓延により施設の利用制限などを行いましたが、旧北文間小学校の跡地を利用した施設である北文間運動広場や大正堀川運動公園・龍ヶ岡公園のフットサルコート開設により、全体の利用者数は平成25年度及び平成30年度を上回っています。

3. 平成 28 年度体力・運動能力調査結果について

＜Tスコアによる茨城県と本市の平均値の比較＞

茨城県では、児童生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、体育・保健体育の指導の改善とその充実に資するため、公立小学校の児童並びに公立中学校及び県立高等学校の生徒の中から抽出し、体力・運動能力調査を実施しています。

調査結果は、測定単位が異なる記録を比較しやすいよう、令和3年度（2021）茨城県児童生徒の体力・運動能力調査における茨城県の平均値を50とし、それと比較した本市の児童生徒の体力・運動能力の水準（Tスコア）を次の表に示します。

$$Tスコア = \frac{(本市の平均値) - (茨城県の平均値)}{(茨城県の標準偏差)} \times 10 + 50$$

調査結果を見ると、小学校の合計点は、1学年の男女及び2学年の女子、5学年の男女が茨城県平均を下回っていますが、他の学年は茨城県平均を上回っており、4学年及び6学年の男子は、1ポイント上回っております。種目別では、反復横とび及びソフトボール投げの値が低く、シャトルラン及び立ち幅とびの値が高くなっています。

中学校の合計点は、1学年及び2学年の女子が茨城県平均を下回り2学年の男子及び3学年女子が茨城県の平均を上回っております。種目別では、反復横とび及び50m走の値が低く、上体起こし及び立ち幅とびの値が高くなっています。

【令和3年度Tスコア（茨城県の平均値と比較した本誌の児童生徒の体力・運動能力の水準）】

◎小学校

| 区 分 | | 握力 | 上体 起こし | 長座 体前屈 | 反復 横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち 幅とび | ソフトボール 投げ | 合計点 |
|------|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------|------|-----------|--------------|------|
| 1 学年 | 男子 | 49.6 | 49.8 | 47.0 | 47.8 | 49.7 | 50.5 | 50.1 | 49.6 | 48.6 |
| | 女子 | 50.6 | 49.0 | 47.3 | 48.5 | 49.1 | 51.2 | 50.3 | 48.8 | 48.8 |
| 2 学年 | 男子 | 50.3 | 50.0 | 49.7 | 49.3 | 50.9 | 50.6 | 49.0 | 50.6 | 50.1 |
| | 女子 | 48.2 | 49.2 | 49.1 | 48.8 | 50.7 | 50.3 | 49.9 | 49.0 | 49.3 |
| 3 学年 | 男子 | 49.5 | 50.7 | 49.0 | 50.9 | 51.2 | 49.9 | 50.1 | 50.2 | 50.8 |
| | 女子 | 48.4 | 50.3 | 49.0 | 50.3 | 51.6 | 50.5 | 50.4 | 48.7 | 50.3 |
| 4 学年 | 男子 | 50.9 | 50.4 | 51.0 | 48.1 | 52.1 | 50.0 | 49.5 | 49.7 | 51.0 |
| | 女子 | 49.7 | 50.7 | 49.5 | 47.2 | 50.9 | 49.9 | 50.6 | 48.6 | 50.3 |
| 5 学年 | 男子 | 50.3 | 49.7 | 50.4 | 48.5 | 49.8 | 49.7 | 51.6 | 48.4 | 49.9 |
| | 女子 | 51.2 | 49.7 | 51.1 | 47.4 | 49.7 | 49.8 | 50.8 | 49.1 | 49.8 |
| 6 学年 | 男子 | 50.5 | 50.9 | 50.9 | 50.6 | 50.1 | 50.2 | 52.0 | 50.0 | 51.3 |
| | 女子 | 49.4 | 50.1 | 51.2 | 49.5 | 50.2 | 48.9 | 51.9 | 47.5 | 50.3 |

◎中学校

| 区 分 | | 握力 | 上体 起こし | 長座 体前屈 | 反復 横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち 幅とび | ハンドボール 投げ | 合計点 |
|------|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------|------|-----------|--------------|------|
| 1 学年 | 男子 | 50.9 | 52.1 | 49.8 | 49.1 | 52.2 | 49.4 | 51.3 | 48.8 | 50.7 |
| | 女子 | 50.0 | 52.0 | 48.7 | 49.0 | 51.8 | 47.5 | 50.3 | 50.0 | 49.7 |
| 2 学年 | 男子 | 50.0 | 50.5 | 52.2 | 49.9 | 50.5 | 48.4 | 52.3 | 51.3 | 51.1 |
| | 女子 | 49.4 | 50.2 | 48.4 | 48.1 | 49.3 | 47.4 | 50.9 | 49.8 | 49.2 |
| 3 学年 | 男子 | 50.1 | 50.9 | 50.4 | 48.7 | 49.3 | 45.5 | 50.9 | 51.7 | 50.2 |
| | 女子 | 50.1 | 51.6 | 50.9 | 50.0 | 50.0 | 47.8 | 51.4 | 52.3 | 51.6 |

<全国体力・運動能力調査の結果（公立学校）>

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、国、茨城県及び本市における種目別平均値を次の表に示します。

| 区分 | 握力 kg | 上体 起こし 回 | 長座 体前屈 cm | 反復 横とび 点 | 20m シャトルラン 回 | 50m走 秒 | 立ち 幅とび cm | ボール 投げ m | 合計点 |
|-----------|----------|----------------|-----------------|----------------|--------------------|-----------|-----------------|----------------|-------|
| 〔小学校5年男子〕 | | | | | | | | | |
| 全 国 | 16.22 | 18.90 | 33.48 | 40.35 | 46.83 | 9.45 | 151.41 | 20.58 | 52.52 |
| 茨 城 県 | 16.51 | 20.17 | 35.61 | 41.64 | 50.43 | 9.41 | 152.35 | 20.01 | 54.27 |
| 龍ヶ崎市 | 16.67 | 19.92 | 35.75 | 40.24 | 49.50 | 9.35 | 154.50 | 18.89 | 53.69 |
| 〔小学校5年女子〕 | | | | | | | | | |
| 全 国 | 16.09 | 18.08 | 37.90 | 38.72 | 38.15 | 9.64 | 145.18 | 13.30 | 54.64 |
| 茨 城 県 | 16.52 | 19.57 | 39.81 | 40.43 | 43.71 | 9.52 | 147.38 | 14.08 | 57.35 |
| 龍ヶ崎市 | 17.09 | 19.15 | 40.62 | 38.48 | 43.06 | 9.47 | 148.75 | 13.65 | 56.86 |
| 〔中学校2年男子〕 | | | | | | | | | |
| 全 国 | 28.80 | 25.99 | 43.67 | 51.19 | 79.88 | 8.01 | 196.36 | 20.31 | 41.18 |
| 茨 城 県 | 29.62 | 26.80 | 46.21 | 51.36 | 81.74 | 7.88 | 198.38 | 20.57 | 43.58 |
| 龍ヶ崎市 | 29.52 | 26.73 | 47.79 | 50.87 | 82.05 | 7.91 | 200.83 | 21.08 | 44.04 |
| 〔中学校2年女子〕 | | | | | | | | | |
| 全 国 | 23.43 | 22.32 | 46.20 | 46.25 | 54.24 | 8.88 | 168.15 | 12.72 | 48.56 |
| 茨 城 県 | 24.05 | 23.46 | 49.14 | 46.73 | 57.84 | 8.65 | 170.59 | 13.28 | 51.85 |
| 龍ヶ崎市 | 23.53 | 23.37 | 46.90 | 44.46 | 55.45 | 8.67 | 170.50 | 13.10 | 49.90 |

※ボール投げについては、小学校ではソフトボール投げを、中学校ではハンドボール投げを実施している。

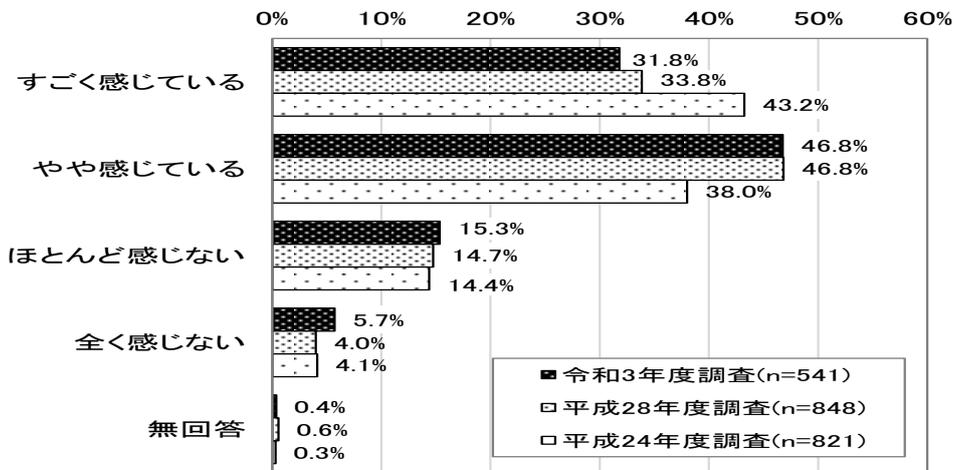
- ・小学校5年の合計点を全国及び茨城県と比較すると、男子・女子とも合計点で全国の平均値を上回りましたが、茨城県の平均値を下回りました。種目別では、男女とも握力・長座前屈・立ち幅とびで全国及び茨城県の平均値を上回りましたが、反復横とびで全国及び茨城県の平均値を下回りました。
- ・中学校2年の合計点を全国及び茨城県と比較すると、男子は合計点で全国及び茨城県の平均値を共に上回りましたが、女子は茨城県の平均値を下回りました。種目別では、男女とも反復横とびで全国及び茨城県の平均値を下回っています。

1. 市民の運動・健康に関する意識について

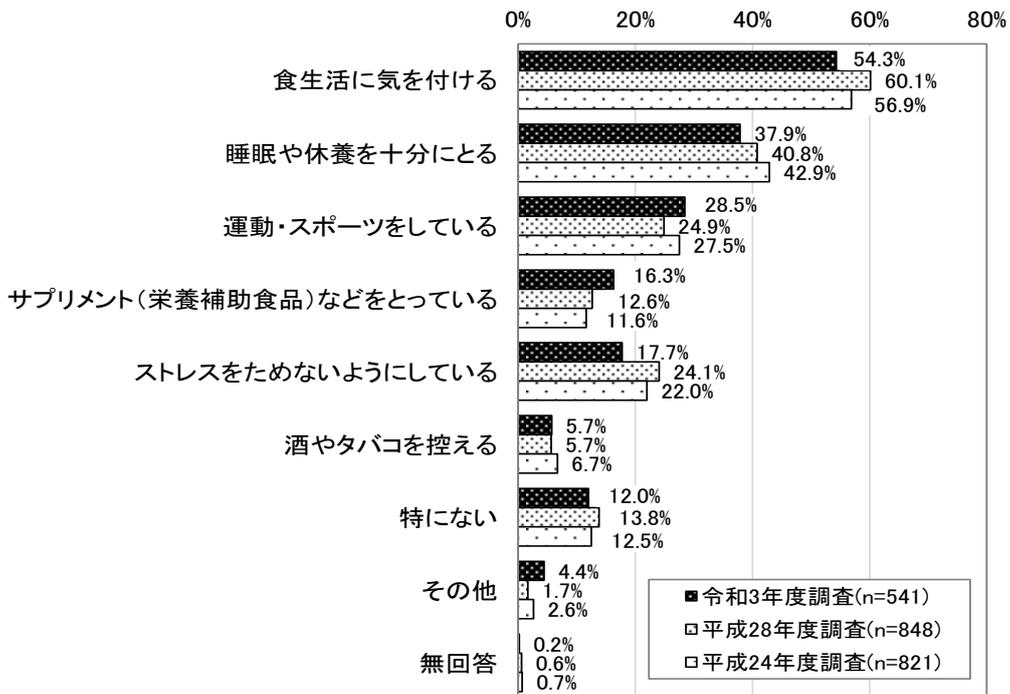
普段の生活の中で、運動不足を感じているかについては、「やや感じている」が46.8%と最も多く、次いで「すごく感じている」が31.8%となっており、およそ8割の市民が運動不足を感じています。

健康や体力の維持増進のために心掛けていることについては、「食生活に気を付ける」が54.3%と最も多く、次いで「睡眠や休養を十分にとる」が37.9%、「運動・スポーツをしている」が28.5%、「ストレスをためないようにしている」が17.7%となっています。

普段の生活の中で、運動不足を感じているかについて



健康や体力の維持増進のために心掛けていること



2. 運動やスポーツ活動について

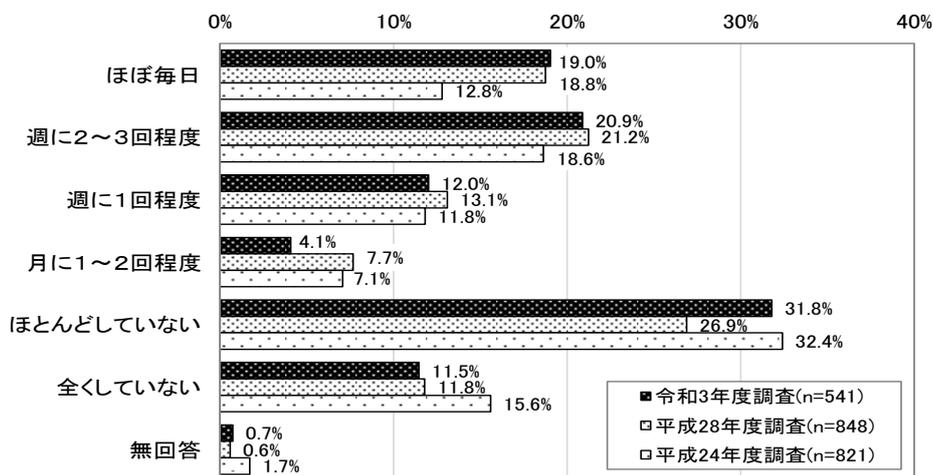
(1)活動日数

日頃、運動やスポーツ活動をする割合では、「ほとんどしていない」が31.8%で最も多く、次いで「週に2～3回程度」が20.9%、「週に1回程度」が13.1%の順となっており、53.1%の人が週1回以上運動やスポーツ活動をしており、平成24年度調査及び平成28年度調査に比べ、令和3年度調査では週1回以上運動やスポーツ活動を行っている人は増加傾向にあり、「ほとんどしていない」又は「全くしていない」人は減少の傾向となっております。

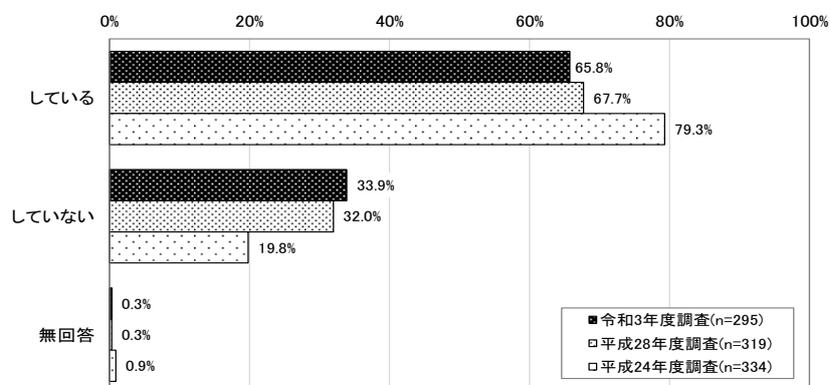
体育の授業以外に、運動やスポーツを「している」と答えた小学生は65.8%、中学生は70.6%となっておりますが、平成24年度調査及び平成28年度調査に比べ、減少傾向となっております。

年齢別で見ると、10歳代及び60歳代以上は週1回以上運動やスポーツ活動をしている割合が6割を超えていますが、40歳代では6割、30歳代では5割の方が「ほとんどしていない」と「全くしていない」と回答しています。

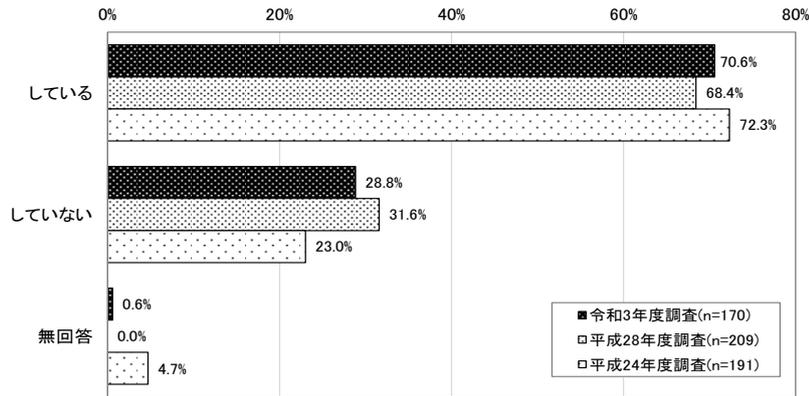
日頃どのぐらいの割合で運動やスポーツ活動をしているか（一般）



体育の授業以外に、運動やスポーツをしているか（小学生）



体育の授業以外に、運動やスポーツをしているか（中学生）



日頃どのぐらいの割合で運動やスポーツ活動をしているか（性別・年齢別・職業別クロス集計・一般）

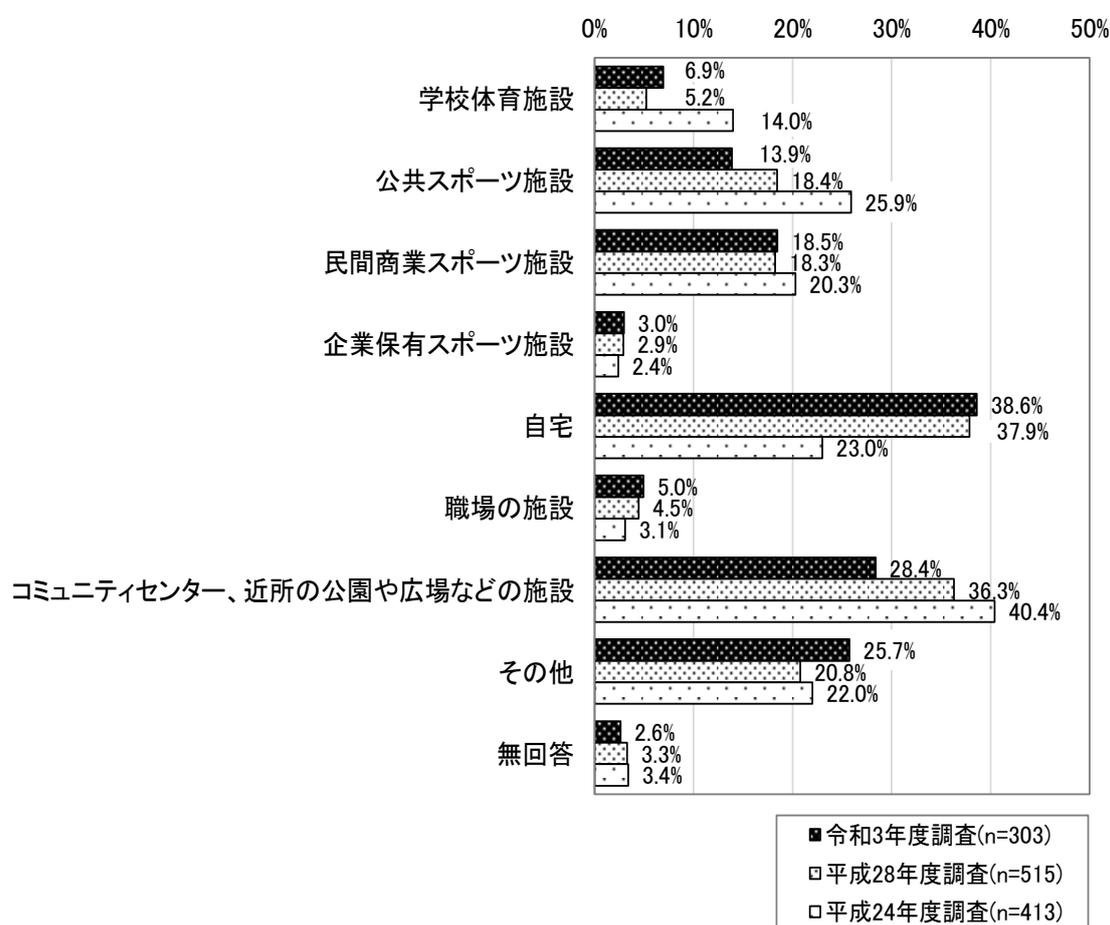
| | | ほぼ毎日 | 週に2〜3回程度 | 週に1回程度 | 月に1〜2回程度 | ほとんどしていない | 全くしていない | 無回答 |
|--------------|-----------------------|-------|----------|--------|----------|-----------|---------|------|
| 【性別】 | 全体(n=541) | 19.0% | 20.9% | 12.0% | 4.1% | 31.8% | 11.5% | 0.7% |
| | 男(n=239) | 24.3% | 17.2% | 14.2% | 5.0% | 31.0% | 7.5% | 0.8% |
| | 女(n=295) | 15.3% | 23.4% | 10.2% | 3.4% | 32.2% | 14.9% | 0.7% |
| 【年齢別】 | 全体(n=541) | 19.0% | 20.9% | 12.0% | 4.1% | 31.8% | 11.5% | 0.7% |
| | 10歳代(n=29) | 27.6% | 34.5% | 6.9% | 6.9% | 10.3% | 13.8% | 0.0% |
| | 20歳代(n=39) | 17.9% | 12.8% | 12.8% | 7.7% | 38.5% | 10.3% | 0.0% |
| | 30歳代(n=61) | 14.8% | 18.0% | 9.8% | 3.3% | 36.1% | 18.0% | 0.0% |
| | 40歳代(n=83) | 7.2% | 12.0% | 9.6% | 3.6% | 48.2% | 19.3% | 0.0% |
| | 50歳代(n=85) | 9.4% | 16.5% | 20.0% | 5.9% | 38.8% | 8.2% | 1.2% |
| | 60歳代(n=107) | 22.4% | 29.9% | 12.1% | 2.8% | 23.4% | 9.3% | 0.0% |
| 70歳以上(n=134) | 30.6% | 21.6% | 10.4% | 3.0% | 24.6% | 7.5% | 2.2% | |
| 【職業別】 | 全体(n=541) | 19.0% | 20.9% | 12.0% | 4.1% | 31.8% | 11.5% | 0.7% |
| | 会社員(n=149) | 12.1% | 13.4% | 14.8% | 4.7% | 40.9% | 13.4% | 0.7% |
| | 教員・公務員(団体職員を含む)(n=31) | 6.5% | 19.4% | 22.6% | 6.5% | 29.0% | 16.1% | 0.0% |
| | 農林業(n=5) | 20.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 60.0% | 20.0% | 0.0% |
| | 自営業(n=30) | 33.3% | 6.7% | 13.3% | 0.0% | 36.7% | 10.0% | 0.0% |
| | パート・アルバイト(n=75) | 14.7% | 22.7% | 5.3% | 4.0% | 38.7% | 14.7% | 0.0% |
| | 主婦(夫)(n=92) | 20.7% | 31.5% | 13.0% | 2.2% | 22.8% | 8.7% | 1.1% |
| | 学生(n=41) | 22.0% | 24.4% | 12.2% | 9.8% | 26.8% | 4.9% | 0.0% |
| | 無職(n=96) | 30.2% | 17.7% | 11.5% | 3.1% | 24.0% | 11.5% | 2.1% |
| その他(n=16) | 25.0% | 50.0% | 0.0% | 6.3% | 12.5% | 6.3% | 0.0% | |

(2)活動の場所

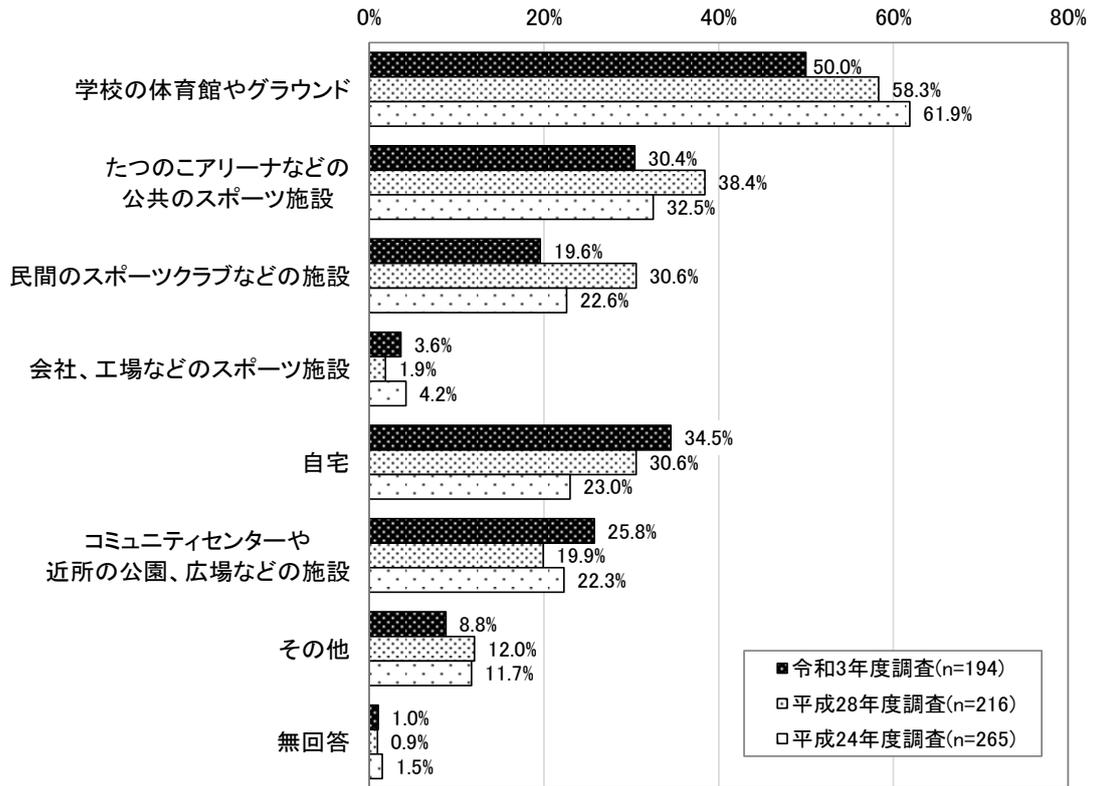
運動やスポーツ活動をする場所については、「自宅」で運動を行っている市民が38.6%と最も多く、次いで「コミュニティセンター、近所の公園や広場などの施設」が28.4%、「民間商業スポーツ施設」が18.5%、「公共スポーツ施設」が13.9%となっています。

小学生が運動やスポーツをする場所は、「学校の体育館やグラウンド」が50.0%と最も多く、「自宅」が34.5%、「コミュニティセンターや近所の公園、広場などの施設」が25.8%となっており、前回調査に比べ、「自宅」と「コミュニティセンターや近所の公園、広場などの施設」が増加している。中学生は、「学校の体育館やグラウンド」が70.8%と最も多く、「たつのこアリーナなどの公共のスポーツ施設」が25.0%、「自宅」が23.3%となっています。

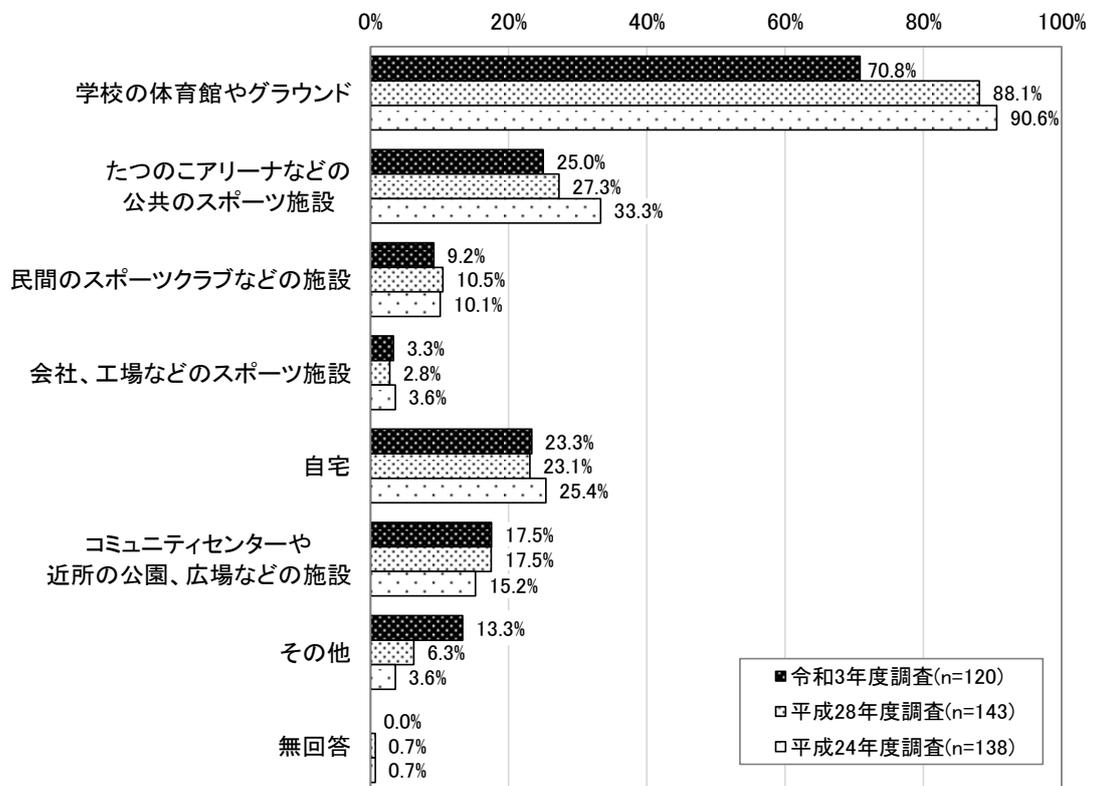
どのような場所で運動やスポーツを行っているか（一般）



どのような場所で運動やスポーツを行っているか（小学生）



どのような場所で運動やスポーツを行っているか（中学生）

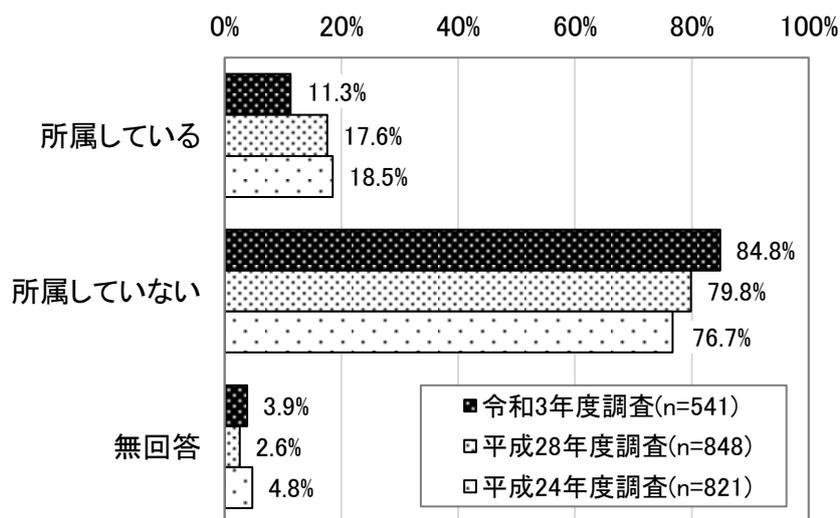


3. 所属するクラブ・チーム等の団体について

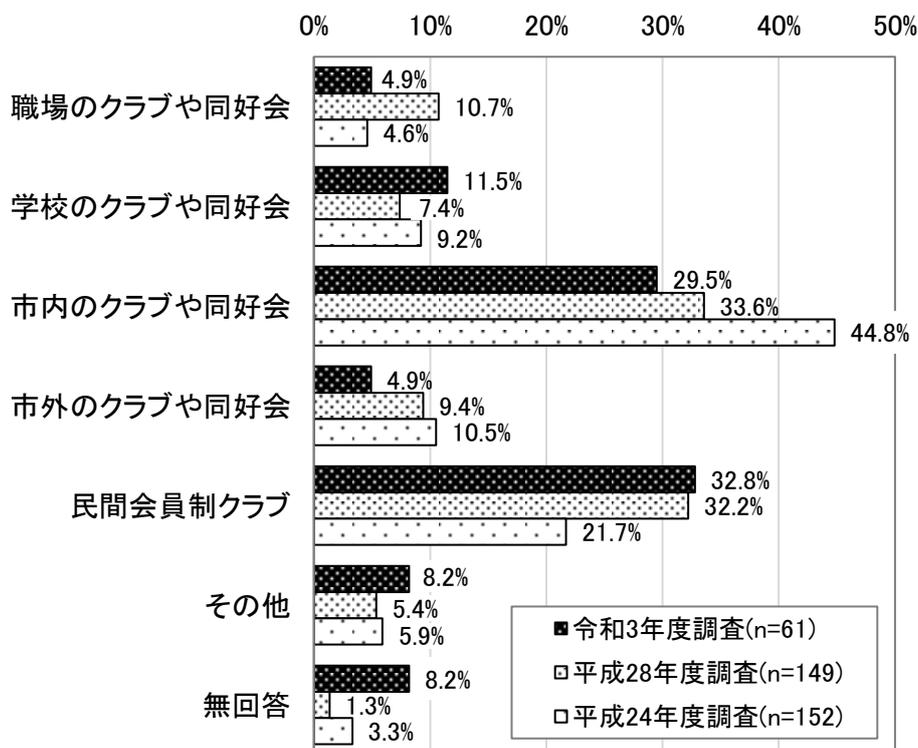
スポーツクラブやチーム等の団体については、「所属していない」が84.8%を占めており、男女別では、男女別についても、それほど傾向に違いが見られない。平成24年度調査及び平成28年度調査に比べ、減少傾向となっています。

所属しているクラブについては、「民間会員制クラブ」が32.8%と最も多く、次いで「市内のクラブや同好会」が29.5%であり、あわせて62.3%となっています。

スポーツクラブやチーム等の団体に所属していますか



所属しているクラブは、どのようなクラブですか

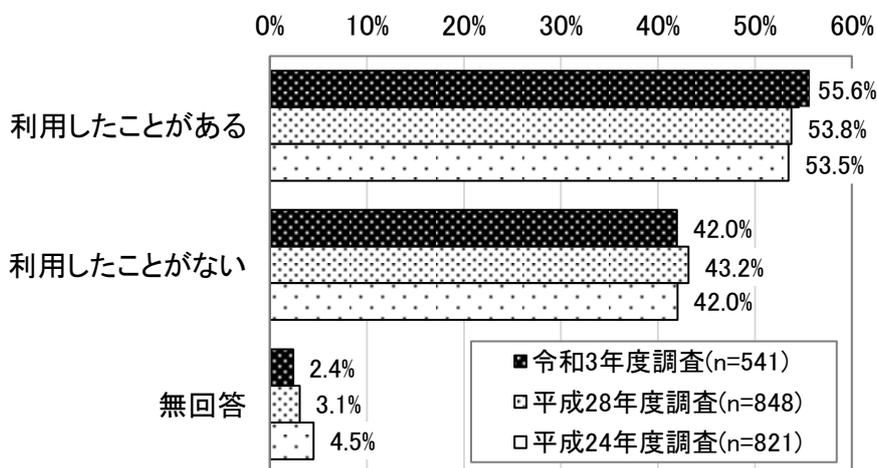


4. スポーツ環境について

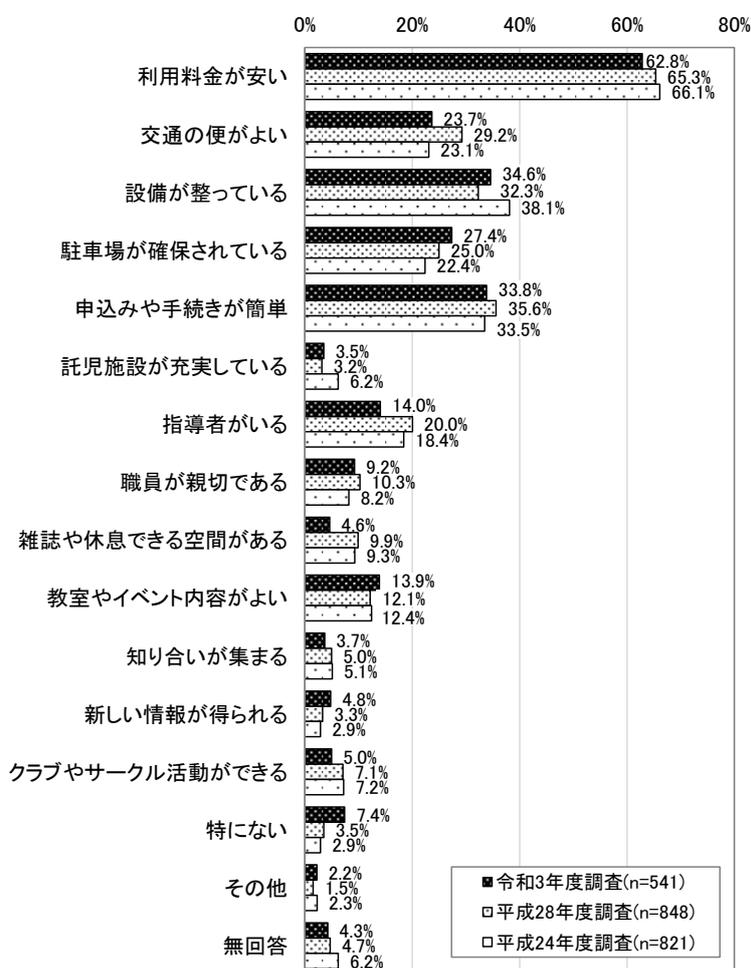
市のスポーツ施設を「利用したことがある」人の割合は55.6%となっています。

市民の利用を促進するための重要事項については、「利用料金が安い」が62.8%と最も多く、次いで「設備が整っている」が34.6%、「申込みや手続きが簡単」が33.8%、「駐車場が確保されている」が27.4%、「交通の便がよい」が23.7%となっています。

運動やスポーツ活動で、市のスポーツ施設を利用したことがあるか



市のスポーツ施設について、市民の利用を促進するためには、どのような点が重要ですか

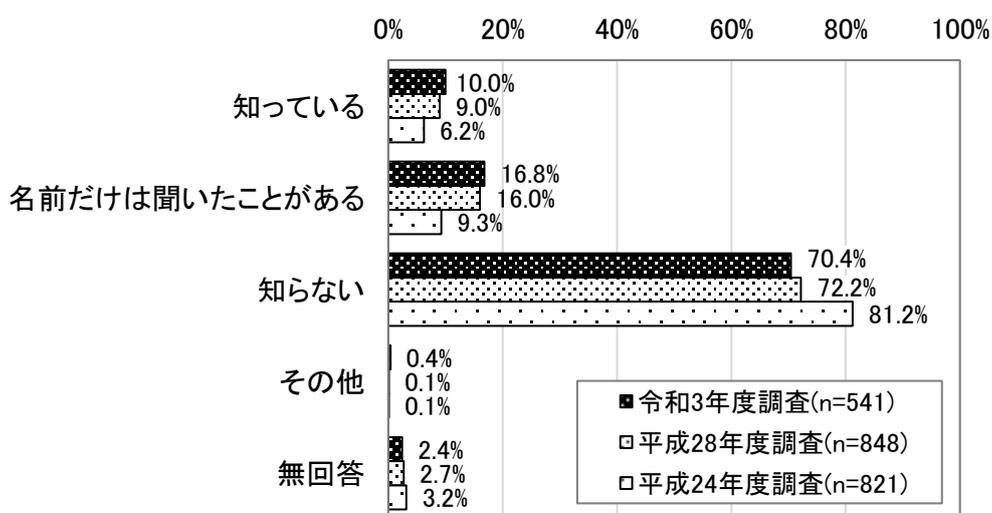


5. 総合型地域スポーツクラブについて

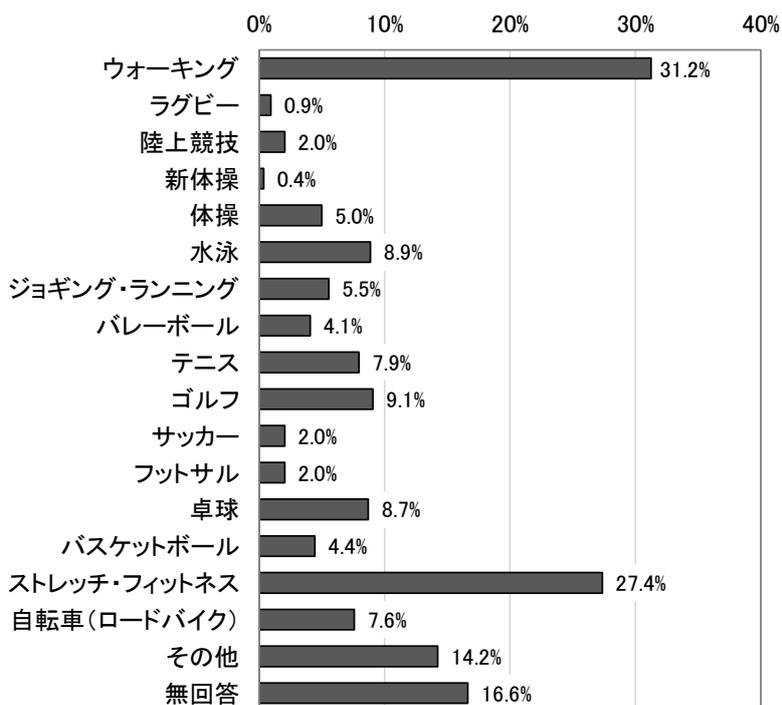
総合型地域スポーツクラブ NPO 法人クラブ・ドラゴンズを、「知らない」が70.4%と最も多く、次いで「名前だけは聞いたことがある」が16.8%、「知っている」は10.0%であり、認知している市民は26.8%となっています。

NPO 法人クラブ・ドラゴンズに参加したいと思う種目は、「ウォーキング」が31.2%と最も多く、次いで「ストレッチ・フィットネス」が27.4%、「ゴルフ」が9.1%、「水泳」が8.9%、「卓球」が8.7%、「テニス」が7.9%となっています。

総合型地域スポーツクラブ NPO 法人クラブ・ドラゴンズを知っているか



どのような種目があれば、参加したいと思いますか。

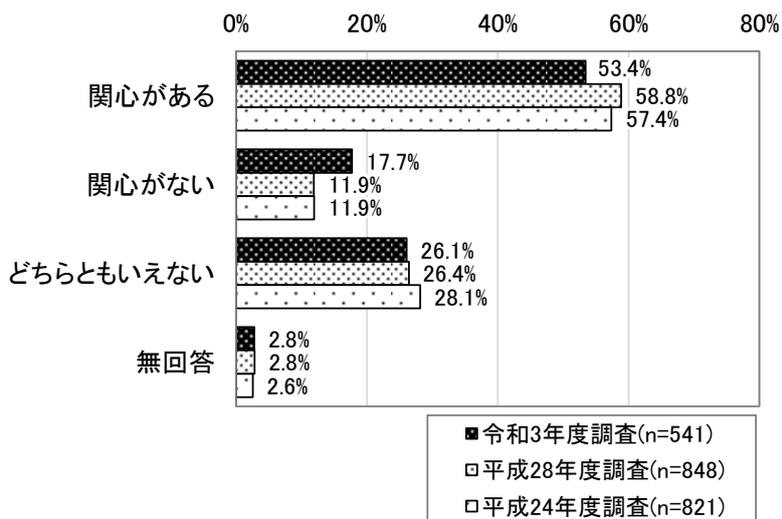


6. スポーツ観戦について

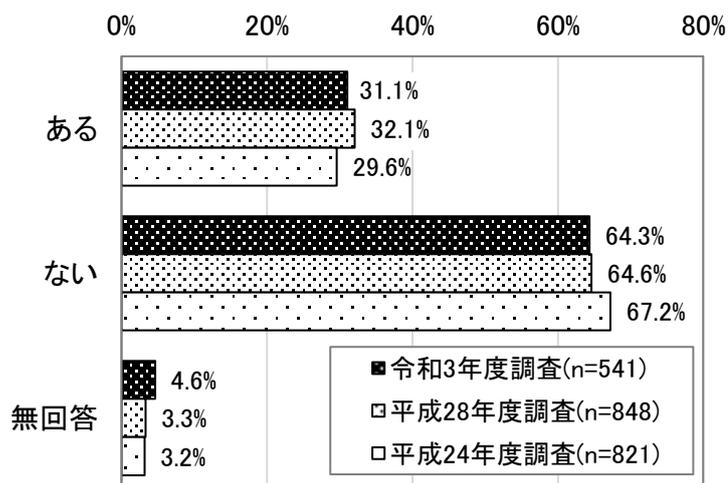
スポーツ観戦に「関心がある」が53.4%、「どちらともいえない」が26.1%、「関心がない」が17.7%となっており、平成24年度調査及び平成28年度調査に比べ、減少しています。

市内のスポーツ施設で観戦をした市民は、「ある」が31.1%、「ない」が64.3%となっており、平成24年度調査及び平成28年度調査に比べても、ほぼ横ばいとなっています。

スポーツ観戦に関心はありますか。



これまでに市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがありますか

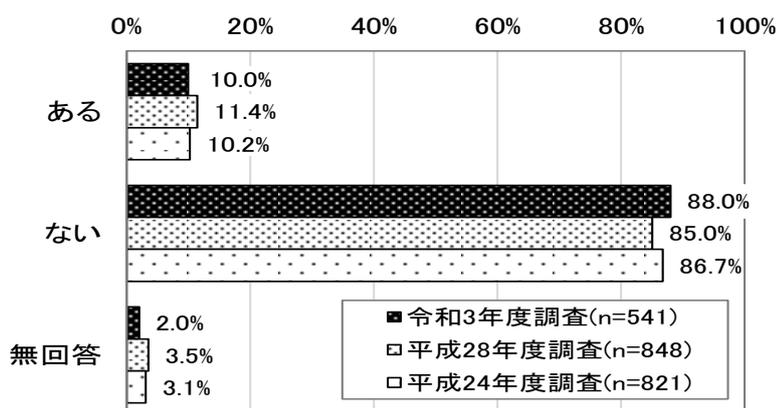


7. スポーツボランティアについて

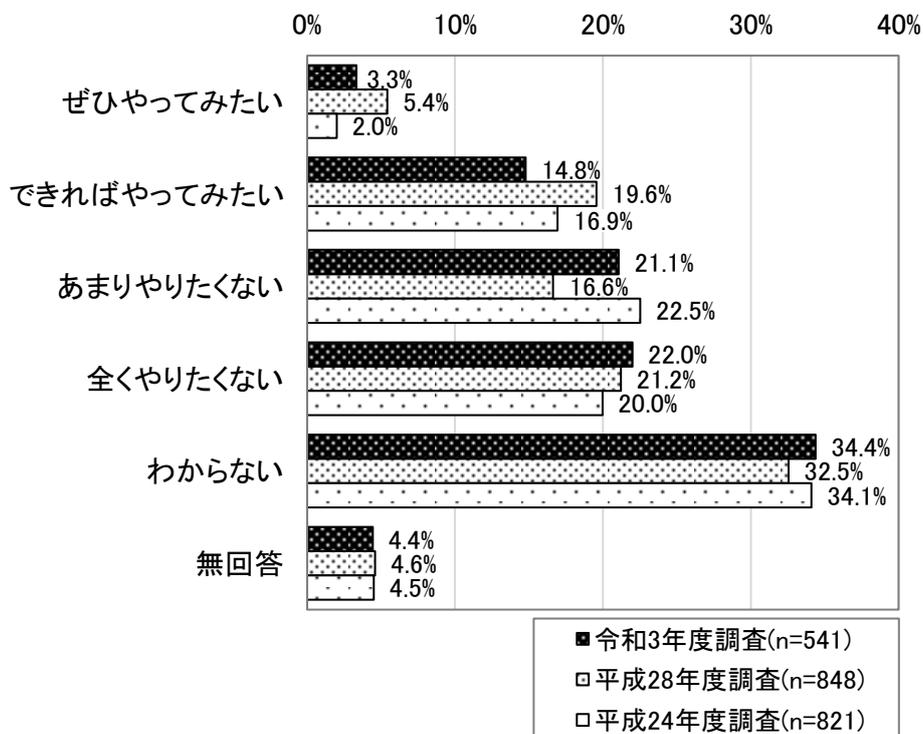
これまでに運動やスポーツ活動に関するボランティア活動をしたことがありますかについては、スポーツ活動のボランティア経験は「ある」が10.0%、「ない」が88.0%となっています。

スポーツイベントでボランティア活動をしてみたいと思う市民は、ボランティアを「ぜひやってみよう」は3.3%、「できればやってみよう」は14.8%であり、あわせて18.1%の市民がやってみようと思うと回答しており、男女別についても、それほど傾向に違いが見られない。

これまでに運動やスポーツ活動に関するボランティア活動をしたことがあるか



今後、様々なスポーツイベントでボランティア活動をしてみたいか

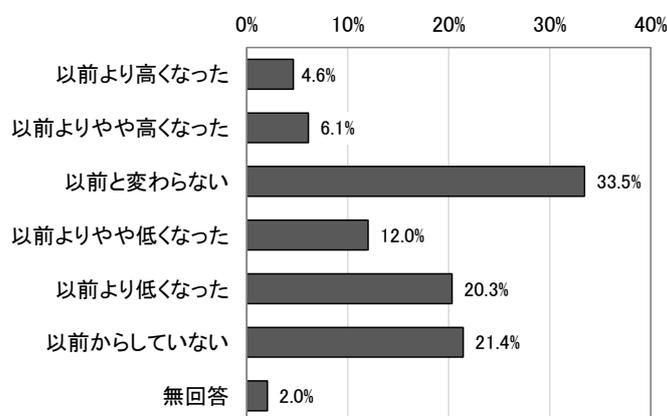


8. 新型コロナウイルス感染症の流行後について

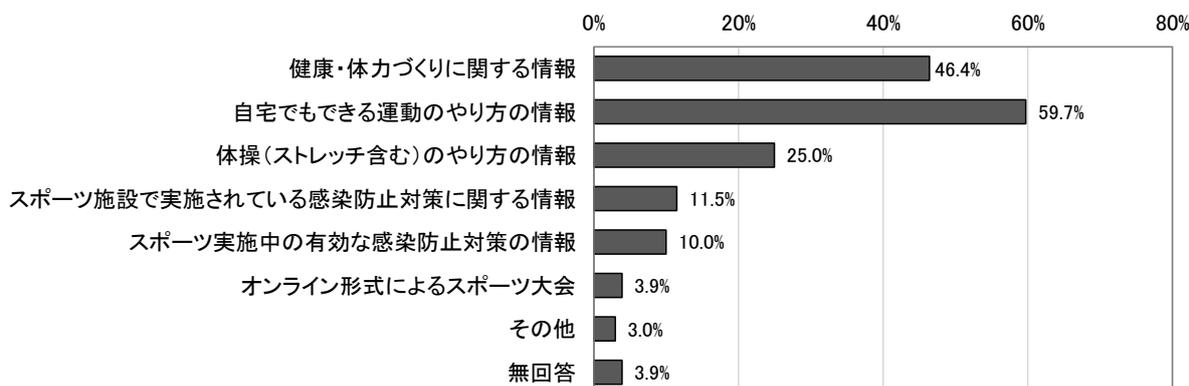
新型コロナウイルス感染症が流行する前後では、運動やスポーツ活動をする割合は、「以前より高くなった」、「以前よりやや高くなった」を合わせると10.7%が高くなったと回答し、「以前よりやや低くなった」、「以前より低くなった」をあわせると32.3%が低くなったと回答しています。

コロナ禍において、日常的にスポーツを実施する意欲を高める為に必要なことについては、「自宅でもできる運動のやり方の情報」が59.7%で最も多く、次いで「健康・体力づくりに関する情報」が46.4%、「体操（ストレッチ含む）のやり方の情報」となっており、情報発信の方法についての希望は、「チラシ（広報紙含む）等を媒体にした情報発信」が43.8%、「インターネット（動画配信含む）等を媒体にした情報発信」が43.1%となっている。

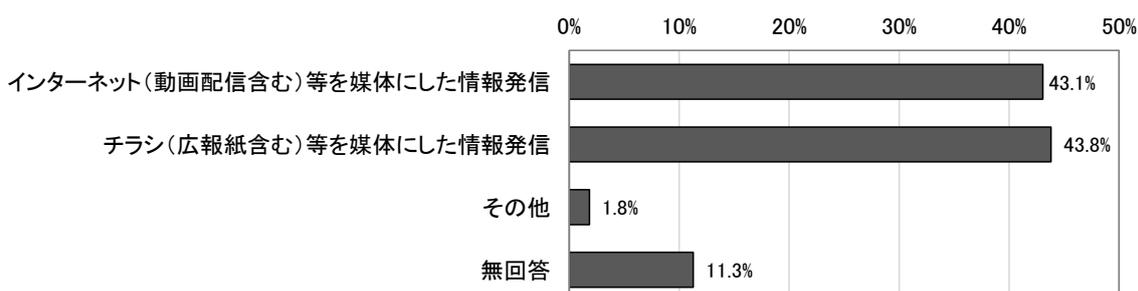
新型コロナウイルス感染症が流行する前と後での、運動やスポーツ活動をする割合の変化



コロナ禍において、日常的にスポーツを実施する意欲を高める為に必要なこと



コロナ禍における情報発信の方法



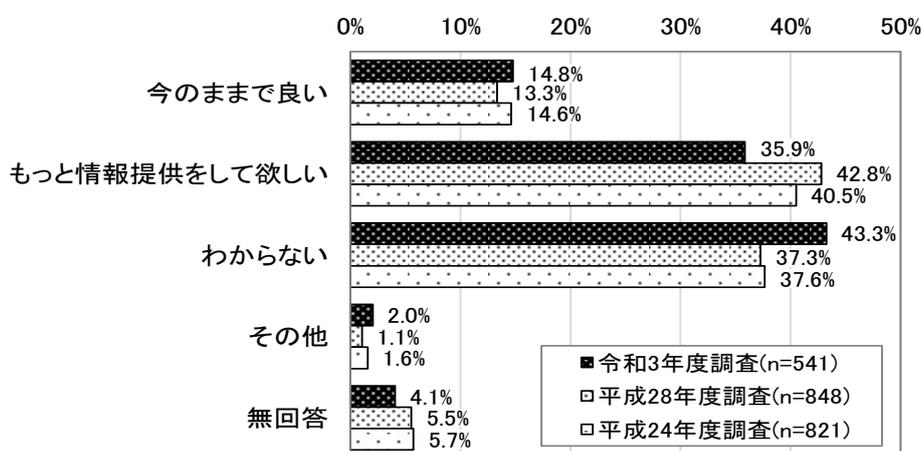
9. スポーツ推進のための施策について

市が行っている運動やスポーツ活動に関する情報提供への感じ方については、「わからない」が43.3%で最も多く、次いで「もっと情報提供をして欲しい」が35.9%であり、「今のままで良い」は14.8%となっており、「健康体力づくりの情報」や「スポーツイベントの情報」、「各種スポーツ教室の案内」「スポーツ施設の利用案内」などの情報の充実が上位を占めている。

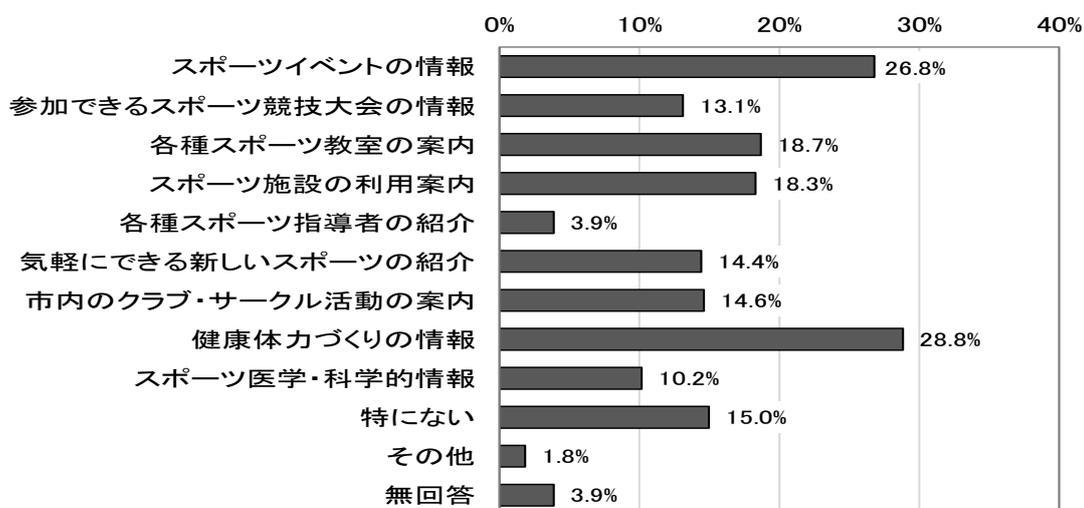
市民の生活にスポーツ活動が浸透する効果については、「市民の健康増進」が49.9%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者の生きがいつくり」が29.9%「地域のコミュニティの形成」が28.5%となっている。

今後の市のスポーツ推進の施策として必要なことについては、「だれもが気軽にできるスポーツ施設を整備する」が63.2%と最も多く、次いで「年齢にあったスポーツの開発・普及を進める」が36.0%、「スポーツ行事・大会・教室等の充実」が18.7%、「プロスポーツや全国レベルの大会の開催を誘致する」が17.6%と上位となっている。

市が行っている運動やスポーツ活動に関する情報提供について

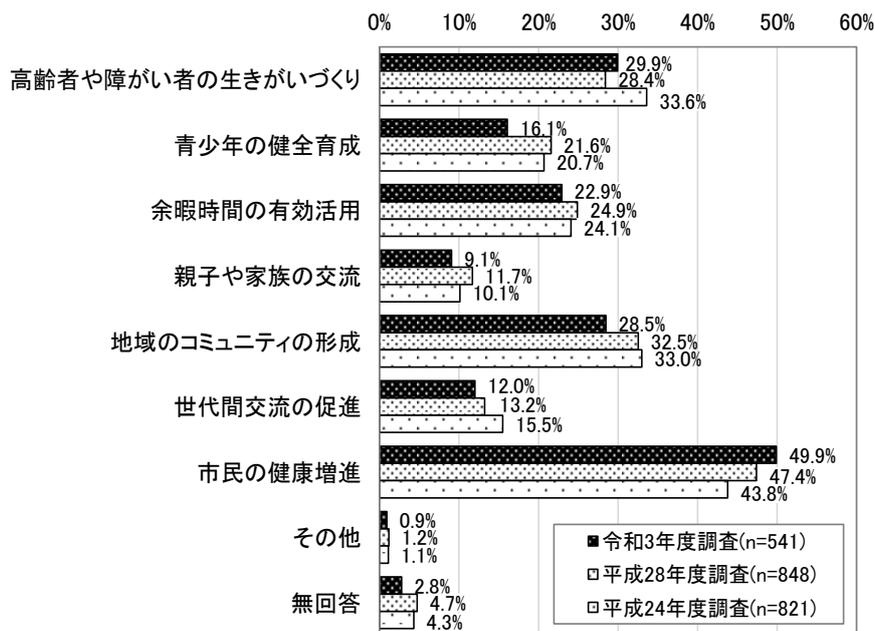


充実してほしい情報

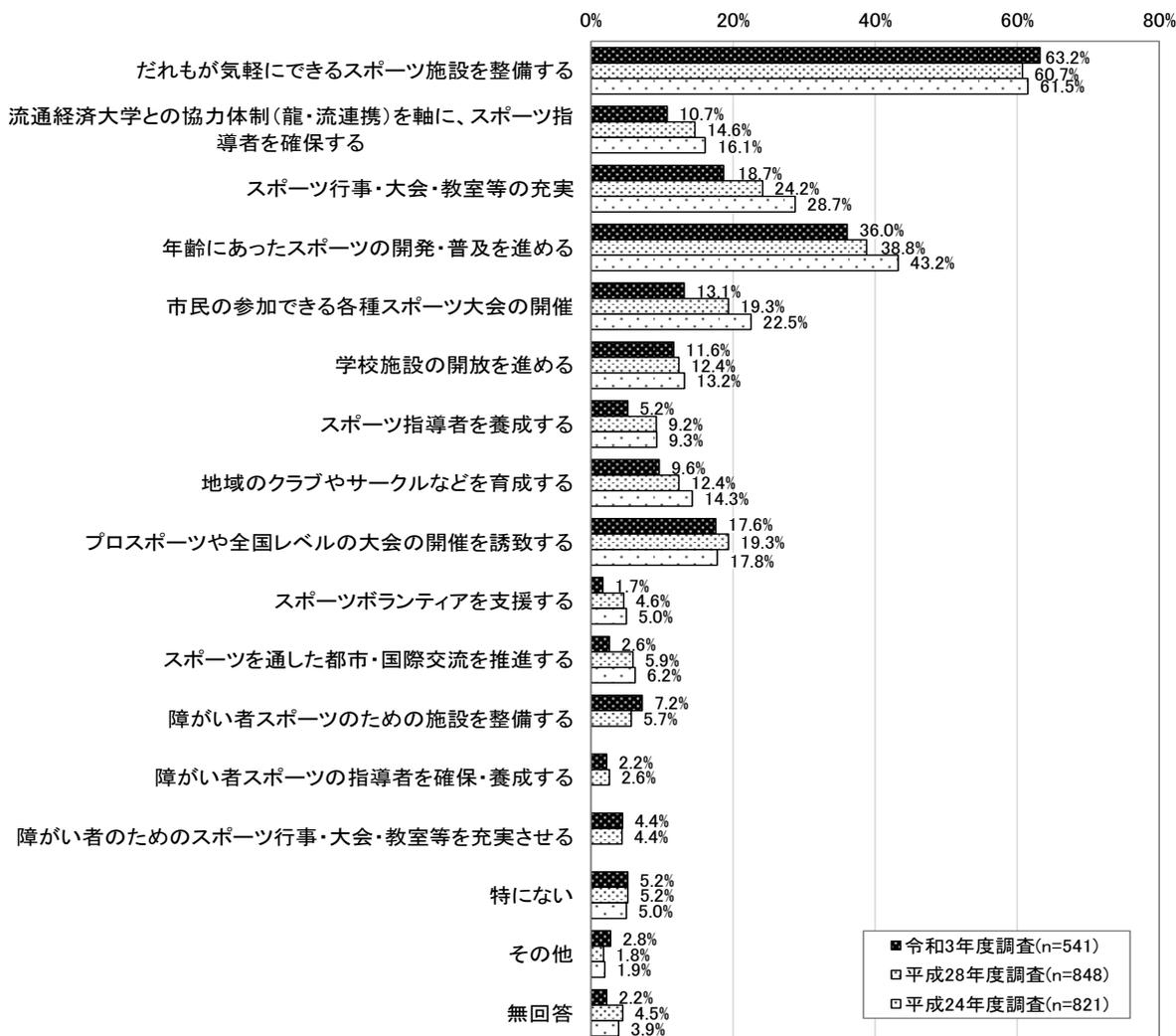


※単一回答の設問ですが、複数回答して頂いた方が多数おりましたので全て有効扱いとしております。

市民の生活にスポーツが浸透することで期待する効果



今後、市のスポーツ推進の施策として必要なこと



10. 市民意識調査から抽出された課題

(1) 市民のライフステージに応じたスポーツ活動について

市民が子どもからお年寄りまで、生涯にわたってスポーツに取り組むために、世代ごとの課題の把握が必要です。

普段の生活の中で運動不足を「やや感じている」と「すごく感じている」を合わせて78.6%の方が回答しており、およそ8割の市民が運動不足を感じています。週1回以上運動やスポーツ活動をしている割合が全体で5割を超えていますが、年齢別で20歳代から50歳代では「ほとんどしていない」が第1位となっています。

体育の授業以外に、運動やスポーツ活動を「している」と答えた小学生は65.8%、中学生は70.6%となっており、小学生は平成24年度調査及び平成28年度調査に比べ減少傾向が見られ、中学生は平成28年度調査に比べ増加していますが、平成24年度調査には及んでいません。

●小中学生

小中学生調査結果によると、スポーツが「好き」という回答は小学生52.9%、中学生37.6%となっており、年々減少傾向にあります。

「1週間に5日以上運動やスポーツをしている」という回答では、小学生は計36.6%に留まり、中学生は年々減少し、68.3%となっています。ライフスタイルの変化やゲーム機などの普及、新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもが外で遊ぶことが少なくなっており、運動をする子としない子の体力の格差も懸念されます。

子どもたちが外で遊びたくなるような仕掛けづくりや、スポーツに親しむ環境づくりが求められています。

⇒小中学生のスポーツ実行率の改善

●子育て・働く世代

運動不足を「すごく感じている」という回答は、特に30歳代・40歳代で多い傾向にあり、日頃どのくらいの割合で運動やスポーツをしているかについて年齢別では、20歳代から50歳代は「ほとんどしていない」が1位となっています。

仕事や子育てをしながらでもスポーツに取り組めるような環境の整備やスポーツをする機会の拡充が求められています。また、少人数で取り組めるスポーツへの人気も高まっており、ニーズを踏まえたスポーツ教室の開催等を行っていく必要があります。

⇒20歳代から50歳代までのスポーツ実施率の改善

●高齢者・障がい者

健康や体力の維持・増進のために心掛けていることとして、60歳以上では、「運動・スポーツをしている」という回答が「食生活に気を付ける」に続き第2位となっています。また、「週に2回以上の運動やスポーツ実施率」では、60歳代が52.3%、70歳以上で52.2%と半数以上の方が回答しています。

市民の生活にスポーツが浸透することの効果について期待することとして、「市民の健康増進」49.9%、「高齢者や障がい者の生きがいくづくり」29.9%となっています。また、スポーツを通じたコミュニケーションや地域コミュニティの形成も期待されています。

年齢を重ねても楽しめるスポーツの普及を促進する必要があります。

⇒今後も高齢化が進行する中で、高齢者や障がい者に適したスポーツ環境の整備・改善

(2) スポーツ環境・スポーツの推進

●市のスポーツ推進施策として必要と思うこととして、「だれもが気軽にできるスポーツ施設を整備すること」という回答が最も多くなっています。これまでも、既存施設の維持・管理を行い、計画的に施設の改修を進めてきましたが、引き続き行っていく必要があります。

⇒スポーツ施設・設備の整備

●スポーツクラブやチーム等の団体について「所属している」という回答は約1割に留まっていますが、スポーツ観戦に関心がある人は半数以上となっています。

市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある人は約3割となり、直接試合会場で観戦する場合は、「プロスポーツを観たい」という回答が最も多くなっています。

プロスポーツの試合誘致を含め、競技スポーツ等についての情報提供を行い、競技スポーツへの関心度の向上を行っていく取組が必要です。

⇒競技スポーツへの関心度の向上

●市が行っている運動やスポーツに関する情報提供について、「もっと情報提供をして欲しい」という回答が35.9%となっています。また、コロナ禍において、日常的にスポーツを実施する意欲を高めるために必要な情報については、「自分でもできる運動のやり方の情報」がおよそ6割となっています。情報提供・発信の方法を工夫し、スポーツに関する取り組みを多くの市民に周知していくことが必要です。

⇒情報提供・発信の充実

●市民意識調査では、総合型地域スポーツクラブ NPO 法人クラブ・ドラゴンズを「知らない」という回答が7割以上となっています。

事業の充実と更なる活性化を目指し新規会員の加入促進と会員の定着に向けた取り組みを支援し、市民の運動やスポーツ活動の場として提供する必要があります。

⇒総合型地域スポーツクラブの認知度の向上

●市民意識調査では、「スポーツクラブやチーム等の団体へ所属している」という回答は約1割となっており、そのうち、所属した理由としては、「指導者がいる」という回答は34.4%となっています。また、自由意見でも指導者の充実を挙げる方がいました。

⇒スポーツ指導者の育成・充実

国・茨城県・市の関連計画等について

1. 国のスポーツ基本計画について

日本におけるスポーツ振興の基本となる法律として、昭和 36 年に「スポーツ振興法」が制定され、約 40 年を経て平成 12 年に「スポーツ振興基本計画」（計画期間：平成 13 年度～平成 23 年度）が策定されました。

さらに、今後の日本のスポーツ政策の基本的な方向性を示す「スポーツ立国戦略」が平成 22 年に策定され、平成 23 年には、国民の多様なスポーツニーズに応えるため、「スポーツ振興法」が 50 年ぶりに全面改正され、「スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的」として「スポーツ基本法」が制定されました。

「スポーツ基本法」の策定に基づき、平成 24 年に「スポーツ基本計画」が策定され、平成 29 年には、「第 2 期スポーツ基本計画」が策定されました。

令和 4 年には「第 3 期スポーツ基本計画」が策定され、令和 4 年度から令和 8 年度の 5 年間に総合的かつ計画的に取り組む施策が次のとおり定められました。

【第 2 期スポーツ基本計画期間中の総括】

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大により、スポーツ活動が制限された。
 2. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会は 1 年延期となり原則無観客の中で開催となった。
 3. その他の社会状況の変化 少子高齢化・地域間格差・DX などの技術革新等が進んだ。
- こうした出来事を通じて「スポーツそのものが有する価値」「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」を高めるべく第 3 期計画で次に掲げる施策を展開

【第 3 期スポーツ基本計画における今後のスポーツ政策の方向性及び今後取り組むべき政策と目標】

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策
 - (1) 持続可能な国際競技力の向上
 - (2) 大規模大会の運営ノウハウの継承
 - (3) 共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進
 - (4) 地方創生・まちづくり
 - (5) スポーツを通じた国際交流・協力
 - (6) スポーツに関わる者の心身の安全・安心の確保
2. スポーツの価値を高めるための新たな 3 つの視点を支える施策
 - (1) スポーツを「つくる/はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。
 - (2) スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。
 - (3) スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢・障害、経済、地域事情等の違いによって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現

し、機運の醸成を図る。

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

- (1) 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- (2) スポーツ界におけるDXの推進
- (3) 国際競争力の向上
- (4) スポーツの国際交流・協力
- (5) スポーツによる健康増進
- (6) スポーツの成長産業化
- (7) スポーツによる地方創生、まちづくり
- (8) スポーツを通じた共生社会の実現
- (9) 担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
- (10) スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」
- (11) スポーツを実施する者の安全・安心の確保
- (12) スポーツインテグリティの確保

⇒全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力のある社会と絆の強い社会を目指す。

2. 茨城県のスポーツ推進計画について

茨城県は、国の「スポーツ振興基本計画（平成12年策定）」に基づき、平成16年に「茨城県スポーツ振興基本計画」を策定し、平成21年には、その内容の一部を改訂しています。

平成27年には、国の「スポーツ基本計画」を参酌するとともに、平成31年に国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催を控える茨城県の実情を考慮し、「茨城県スポーツ推進計画（いきいき茨城スポーツプラン）」（計画期間：平成27年度～平成31年度）を策定されました。

令和2年度以降スポーツ推進計画は策定しておらず、今後の茨城県総合計画のなかで盛り込んでいく予定となっています。

3. 龍ヶ崎市の上位計画について

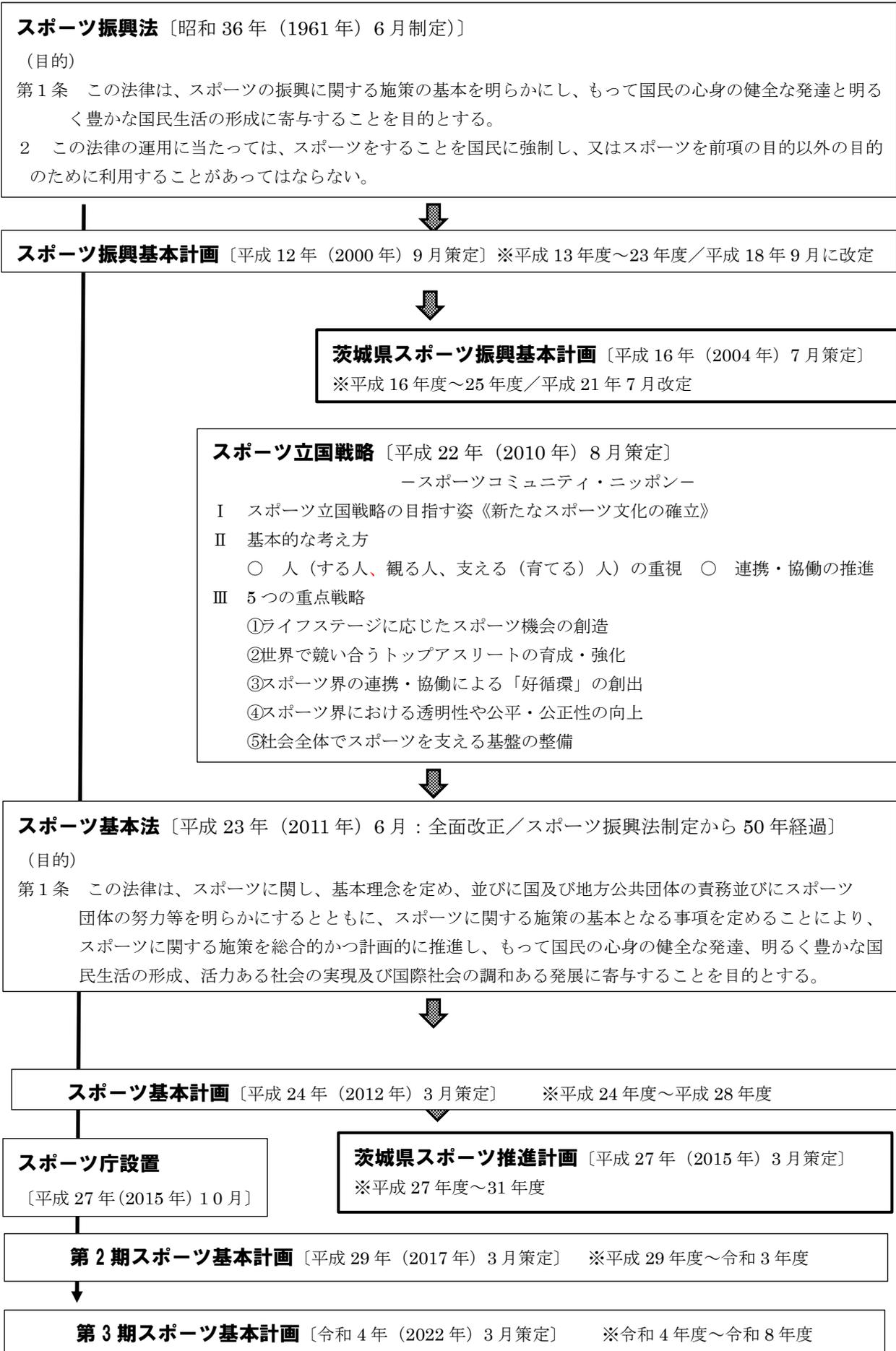
本市では、昭和48年3月に「龍ヶ崎市総合計画」を策定し、それ以降、「龍ヶ崎市第5次総合計画」まで改定を行いながら、計画的にまちづくりを進めてきました。

平成23年5月の地方自治法の改正により、総合計画の策定義務が廃止されたことに伴い、これまでの網羅的な計画を全面的に見直し、戦略的視点や市民視点を重視した「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」（計画期間：平成24年度～平成28年度）を平成23年12月に策定し、まちづくりの基本方向を示す最上位の計画として位置付けました。また、平成26年には、市民、議会及び行政が連携・協力してまちづくりを進めていくための基本的なルールを定める「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」を制定し、その第23条において、市のまちづくりの基本方向を示す最上位の計画を定めることを規定しました。

そして、平成29年には、「龍ヶ崎市まちづくり基本条例」に基づく初の計画として、「第2次ふるさと戦略プラン」（計画期間：平成29年度～令和3年度）を策定し、目標として「生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり」を掲げ、その実現のため、「スポーツ環境の充実」を施策として推進していくこととしていました。また、同プランにおいては、今後5年間に重点的・優先的に推進していく「重点目標」として、「スポーツ健幸日本一」を掲げ、その実現のため、「スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進」及び「高齢者の「健幸」力の向上」を施策として推進することとしました。

令和4年度からの次期最上位計画として新たな計画が策定される予定でしたが、市長の任期に合わせマニフェストとの整合性を図るため、また、コロナ禍の中では実行性が伴わないため策定時期をずらし、次期最上位計画（計画期間 令和5年1月～令和12年度）を策定しているところであり、「第3次スポーツ推進計画」につきましては、この次期上位計画と整合性を図りながら、計画を策定していくこととなります。

4. 国・県におけるスポーツ推進の流れについて





第3期スポーツ基本計画（概要）

資料 4-3-2

【第2期計画期間中の総括】

- ① **新型コロナウイルス感染症：**
 - ▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限
- ② **東京オリンピック・パラリンピック競技大会：**
 - ▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催
- ③ **その他社会状況の変化：**
 - ▶ 人口減少・高齢化の進行
 - ▶ 地域間格差の広がり
 - ▶ DXなど急速な技術革新
 - ▶ ライフスタイルの変化
 - ▶ 持続可能な社会や共生社会への移行

こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『**スポーツそのものが有する価値**』（Well-being）
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『**スポーツが社会活性化等に寄与する価値**』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策

持続可能な国際競技力の向上

- 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため、
 - ・NFの強化戦略プランの実効化を支援
 - ・アスリート育成パスウェイを構築
 - ・スポーツ医・科学、情報等による支援を充実
 - ・地域の競技力向上を支える体制を構築

共生社会の実現や

多様な主体によるスポーツ参画の促進

- 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進
- オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動等を推進

スポーツを通じた国際交流・協力

- 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献（ドーピング防止活動に係る人材・ネットワークの活用等）

大規模大会の運営ノウハウの継承

- 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の下で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組も含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用

地方創生・まちづくり

- 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって継続・定着
- 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進

スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保

- 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を脅かす事態に対応するため、
 - ・誹謗中傷や性的ハラスメントの防止
 - ・熱中症対策の徹底など安全・安心の確保
 - ・暴力根絶に向けた相談窓口の一層の周知・活用

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

スポーツを「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。

- ◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成
- ◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進

スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。

- ◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現
- ◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化
- ◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信

スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。

- ◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供
- ◆ 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化
- ◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

① 多様な主体におけるスポーツの機会創出

地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上 等

④ スポーツの国際交流・協力

国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討 等

⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり

武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化 等

⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援 等

② スポーツ界におけるDXの推進

先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等

⑤ スポーツによる健康増進

健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化 等

⑧ スポーツを通じた共生社会の実現

障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等

⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保

暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進 等

③ 国際競技力の向上

中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSPO・地方公団体が一体となった国民体育大会の開催 等

⑥ スポーツの成長産業化

スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援 等

⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援 等

⑫ スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解増進等の推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開 等

『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人々が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

💡 国民のスポーツ実施率を向上

- ✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を **70%** (障害者は**40%**)
- ✓ **1年に一度以上スポーツを実施**する成人の割合を **100%に近づける** (障害者は**70%を目指す**)

💡 生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加

(児童86%⇒**90%**、生徒82%⇒**90%**)

💡 子供の体力の向上

(新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒**80%**、生徒75%⇒**85%**)

💡 誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現

- ✓ 体育授業への**参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロ**を目指した学習プログラム開発
- ✓ **スポーツ団体の女性理事**の役割を**40%**

💡 オリンピック・パラリンピック等の

国際競技大会で、**過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現**

💡 スポーツを通じて活力ある社会を実現

- ✓ **スポーツ市場規模15兆円**の達成 (2025年まで)
- ✓ **スポーツ・健康まちづくり**に取り組む**地方公共団体**の割合15.6%⇒**40%**

💡 スポーツを通じて世界とつながる

- ✓ **ポストSFT事業**を通じて**世界中の国々の700万人**の人々への裨益を目標に事業を推進
- ✓ **国際競技連盟(IF)**等役員数**37人規模**の維持・拡大

団体ヒアリング内容(8団体)

| | |
|---|------------|
| 団体名 | 龍ヶ崎市スポーツ協会 |
| 1. 活動(事業)を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育における運動部活動が社会体育として地域へ移行するという流れは、総合型地域スポーツクラブとの連携も考えられるが、スポーツ協会として地域へ移行するまでどのように補完していくかが課題である。 ・運動部活動を地域へ移行するということは、指導者の確保が難しい上、指導者への謝礼等、金銭面での課題があるだろう。 ・まずは、土日の運動部活動を地域へ移行するということが課題である。それをサポートすることがスポーツ協会での当面の課題だろうが、土日だけの指導では指導方針に一貫性がなく難しいだろう。 ・現状では、スポーツ協会が指導者講習会等を実施し、指導者の資質の向上や育成することで、学校教育における運動部活動をサポートしていく方がベストだろう。 ・県大会のような規模の大きい大会を開催するには、大会の会場確保がどの市町村も困難である。ソフトボールでは6～7面の球場に駐車場・トイレの確保が必要であるが、どの球場も駐車場の利用台数がほとんどない。また、たつのこスタジアムも年間予約で埋まっているため、土日の予約がしにくい状況である。 ・たつのこフィールドは、年間で流通経済大学運動部のリーグ戦が優先予約されている。市内のスポーツ団体が土日の大会を開催しようとしても、予約しにくい状況であるため、スポーツ協会加盟団体の優先枠を設定してはどうか。 ・たつのこアリーナの土日は、大会開催で予約がいっぱいである。 ・野球協会では市内大会を開催しているが、年々、市内の参加チームが減少している。参加しやすいように大会の運営方法を見直すことも検討しなければならない。 | |
| 2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等 <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園施設(アリーナ・フィールド・スタジアム)が充実している。 ○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等 <ul style="list-style-type: none"> ・小貝川、大正堀川、北竜台等のグラウンド整備状況や付帯設備等の状態が悪い。 | |
| 3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて(今後の方向性) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○期待すること、要望、アイデア 等 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模大会を開催するため、小貝川運動場の駐車場拡張とトイレの整備をしてほしい。 ・大規模大会を開催するには、市内体育施設だけでなく学校施設を利用しても可能である。学校施設を借用する際に、スポーツ協会加盟団体の仲介として市が手続きをするシステムが構築されていれば良い。 ・城南中学校と愛宕中学校の統廃合や北竜台地区の学校統廃合にあたり、地域スポーツの振興として、体育館を競技団体の練習場所または大会会場として活用するため開放してほしい。 ・たつのこアリーナの土日は、大会開催で予約がいっぱいであるので、たつのこアリーナのような大きな体育館がもう一つあると、各競技団体の活動が充実する。 ・水泳協会として、たつのこアリーナで学校プールの指導を行っている。たつのこアリーナでプール授業を行う学校が増えているため、良い時期の取り合いになっているようである。スポーツクラブのような民間プールの活用をすべきだと思う。 ・次代を担う青少年の育成に力をいれてほしい。スポーツ少年団の指導者育成支援や中学校運動部活動における地域スポーツへの速やかな移行等、競技者人口の減少を止める取り組みをお願いしたい。 | |

| | |
|--|---------------|
| 団体名 | 龍ヶ崎市スポーツ少年団本部 |
| 1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団全体の問題として、少子化の影響もあり、団員数が減少している。 ・団員の卒団とともに、指導者の親もやめてしまう事が多く、指導者の確保が難しい。 ・団員募集チラシを小学校に持って行った際に、配布を断られたところがあると聞いたことがある。 | |
| 2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について | |
| <p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市による広報誌やホームページへの記事の掲載、学校へのチラシ配布など団員募集の協力はありがたい。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合によって、今まで練習してきた場所が利用できなくなる可能性がある。（特にレスリングについては愛宕中学校にレスリングマットが常設しており、施設が利用できなくなると練習場所に困ることになる） ・学校施設を利用し練習を行っているが、競技備品が古くなってしまっているため、市で購入するなど対応してもらいたい。 | |
| 3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性） | |
| <p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校に進学すると、今まで行っていた競技の部活動がないことがあるため、卒団後も継続して同じスポーツを行っていけるような環境整備が必要である。 ・流通経済大学と協力し、施設の利用やスポーツの指導などが行えるようになるとよい。 ・夜間開放の開始時間がもっと早くなると活動の幅が広がると思われる。（交流大会について） ・交流大会については、団対抗の競技となっているため、より交流を図れるよう、内容（レクリエーションやパラリンピックの競技を取り入れるなど）を見直してもよいのではないかと。 ・より多くの団が参加できるよう開催時期を見直す必要がある。 ・マラソン大会に交流大会を統合してもよいのでは。 ・各団員の交流を深める目的であるため、団対抗の競技内容を見直してはどうか。 ・開催種目によっては、有利となる団もあることから、パラリンピックで採用された競技などを行ってもよいと思われる。 ・交流大会については継続していきたいが、開催内容を見直してもよいと考える。 | |

| | |
|---|----------------|
| 団体名 | 龍ヶ崎市レクリエーション協会 |
| 1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、大会運営が一番の課題である。新型コロナウイルスの影響により、大きな大会を開催することができず、龍ヶ崎市内で活動する方を対象に小規模な大会を開催した。また、たつこのアリーナがワクチン接種会場をなっているため、日曜日の大会は北文間体育館で開催した。 ・高齢化という理由もあるが会員が12名である。誰にでもでき、音に合わせて体を動かす楽しさやそれが健康維持につながることを、もっと積極的に広報紙等を使って周知しようと検討している。 ・活動場所の確保が困難である。毎回、会場の手配が先着順で大変であり、1か月分をまとめて予約できるようにしてほしい。例えば、つくば市は2か月分を一度で予約が可能である | |
| 2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について | |
| <p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市の行事もすべて出来ないため評価はできないと思う。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもできるスポーツの推進ができていないと思う。 ・地域によっては、マラソン大会を行っているので、時期を変えて小さくても良い大会ができれば良いと思う。 | |
| 3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性） | |
| <p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進のための予算を確保し、用具の整備等の支援を行うことで各スポーツ団体が活性化するのではないかなと思う。 ・フォークダンスの初心者入門講座を開催してほしい。 ・どんな団体があって、どんなことをしているのか、市民に知っていただいてやってみようというきっかけをつくるのが大切である。各団体の活動を、市ホームページや市役所のモニターで動画配信し紹介する機会があればと思う。自団体であれば、11月3日に開催されるレクリエーションまつりの様子を配信してみてもと思う。 | |

| | |
|--|-----------------|
| 団体名 | 龍ヶ崎市スポーツ推進委員協議会 |
| 1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及活動については誰もが身近にできるスポーツとして、ワーキンググループを中心に様々な検討を重ね「まいりゅうコロコロ」を発案し、推進委員内での PDCA のサイクルを回しルールを確立した。検討した龍ヶ崎独自のニュースポーツを普及する課題として、様々な市民の意見を反映させるためには、身近な施設であるコミュニティセンターを中心とした普及活動が必要であり、行政側とコミュニティセンターの連携が不可欠となる。また、コミュニティセンターの稼働状況によっては、ニュースポーツを普及する講座が実施できない可能性や、各地区で普及するための用具の調達する費用はどうするのか問題である。 ・インディアカを普及したときは、小学校単位で普及活動を行った経緯がある。コミュニティセンターの利用者は高齢者が多く、ニュースポーツを親子のような若い世代へ普及することも重要だと考えている。 ・スポーツ推進委員がどのようにしてより多くの市民、地域に対しニュースポーツを普及していくかが課題である。 | |
| 2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について | |
| <p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団、流通経済大学の連携は、ある程度できている。スポーツの普及活動において高いポテンシャルを有している各団体の役割を明確化するとともに、更に連携を強化したい。 ・流通経済大学の学生やNPO 法人クラブ・ドラゴンズが、市内学校における持久走大会等のスポーツイベント運営に協力しているところは、大変良いことだと思う。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園の施設は市民が一堂に会するイベントには必要不可欠な施設であるが、一方で施設から離れた住民、特に交通手段のない人にとっては利用ができない。今後、地域ごとに小規模でもよいからスポーツのできる施設の設置が必要である。 ・たつのこアリーナの利用が多く予約が取れない状況であり、活動する場として廃校後の体育館を含め小規模な体育館でも良いので整備してほしい。また、たつのこアリーナができる前は、流通経済大学が体育館を開放してくれていた。 ・他市町村でマラソン大会を開催しているので、マラソン大会のような今までにない大会を開催してほしい。 ・現在、スポーツ推進委員の研修として様々なニュースポーツを学ぶ機会がないので、新しいスポーツ推進委員も加入しているおり、育成する意味でも研修の機会をつくってほしい。 ・スポーツに関する情報提供の仕方が下手である。 | |
| 3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性） | |
| <p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査によれば今後のスポーツ振興施策として必要なことは <ul style="list-style-type: none"> ①誰もが気軽にできるスポーツ施設の充実（60.7%） ②年齢にあったスポーツの開発、普及を進める（38.8%） ③スポーツ行事、大会、教室などの充実（24.2%） これを受けて「何時、何処で、どの様な」スポーツができるのか周知してもらうため、広報紙のみならず、ホームページ等により PR 活動を行う必要がある。 ・新型コロナのワクチン接種予約のため、市の公式ラインアプリをダウンロードしている市民が多いと思うので、スポーツイベント等の情報をラインに掲載すれば市民の利便性が向上するだろう。また、考案したニュースポーツの動画配信などインターネットを活用した周知をしてほしい。 ・スポーツ推進委員はニュースポーツを推進する役割を担っているので、いろいろなニュースポーツを学び龍ヶ崎独自のニュースポーツを検討しながら、より多くのニュースポーツを推進していきたい。 ・新しいスポーツを普及するには、用具が必要になるため予算措置をお願いしたい。 | |

| | |
|--|------------------------|
| 団体名 | 流通経済大学スポーツ健康科学部 |
| 1. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」の現状について | |
| <p>○評価できること、満足していること、継続していくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフマラソン大会については継続してほしい。コロナ禍であるため、人数を少なくしても開催することが大切で、徐々に規模を大きくしていく中で大会を応援する地元の方も増えるだろう。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行のスポーツ推進計画の施策は、「龍ケ崎ならではの」という独自性が欠けている。 ・龍ケ崎市民にとっての健康とは何なのか？それに対する指標がなく、最終的な目標値と連動した施策が見えてこない。 ・大学生が市内小学校へ派遣されているが、子ども達にとってどのような影響があるのかを考えるべきであり、子ども達に何が残るのか疑問である。 ・ハーフマラソン大会におけるAED隊を学生ボランティアで運営する予定であったが、救えない命に直面した学生のサポート、スポーツボランティアの効果など、マネジメントをどこまで行っているのか疑問である。 ・運動教室に参加した市民の方から流通経済大学との関係を希薄に感じるような声を聴き残念である。 ・市民がもっと大学に親しんでもらうため、大学のパーク化構想を検討しているが、その中で市民と大学との交流ができていない、市との連携ができていないという意見が出ている。 ・新型コロナウイルスの影響により、やろうと思ってもできない事が多いため、評価することはできないと思われるが、できなかった事をできるように検討し直すことが重要である。 | |
| 2. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」に向けて（今後の方向性） | |
| <p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍ケ崎市民の健康指標を議論し、その指標の目標値を達成するための運動・スポーツ面からのアプローチを考え、流通経済大学の専門的知識やボランティアをどう繋げるのかを検討すべきである。 ・市民のQOLをいかにあげるのか？市民ニーズにあっているのか？など、メインとなるアウトカムを定め最終ビジョンを描いたうえで、施策の検討を行うべきである。 ・コロナ禍であるため事業ができないから何もやらないではなく、別のアプローチで指標の目標を達成し、市民の健康の向上につなげるべきである。 ・大学ならではのエビデンスのある運動に関する情報を提供すべきであり、より多くの方へ伝える手段としてインターネットや広報紙を活用する必要がある。 ・マイナースポーツで宿泊を伴うような大会を誘致すべきである。あるダンスの大会は約2,000人が1週間の大会期間にその会場地に宿泊し、まちの活性化に寄与している。 ・障がいを持つ子ども達へ運動・スポーツをする機会の提供として、スポーツコミュニケーション学科の学生が療育施設でダンス指導を行うことはとても良い経験になるので、実施してみたい事業である。 ・令和4年4月にダンス部が新設されるので、既存施設を活用し誰もが気軽に参加できるダンスイベントを開催するなど、活動に力を入れ、ダンスを通じた活動を行いたい。 ・茨城国体の国体ダンスは、県内における小学校の運動会で採用され多くの小学生が踊ることができたため、子ども達のコミュニケーションを図るのに有効であった。龍ケ崎にも龍ケ崎固有のダンスがあると地域の活性化につながるのではないかと。 ・子育て世代の支援として、子どもの預かりサービス備えたイベントの開催をお願いしたい。日曜日に託児サービスを実施している施設がないので、特に子育て世代の女性にとってスポーツ大会や教室などに参加するにはハードルがある。 ・旧北文間小学校を拠点とした小貝川・利根川・牛久沼へのサイクリングは、とても環境が良いと思う。旧校舎にシャワーが完備されているとさらに利便性が向上し活用されると思われる。 ・健康づくりとして牛久沼を活用すべきである。事故の問題があり難しいとは思いますが、泳げるスペースを海外のように設置したら日本初となりインパクトがある。 ・牛久沼での事業は、龍ケ崎ならではのものとなる。その中で、トライアスロン大会も可能である。 ・スポーツで活用されると、訪れる人々がまちをきれいにするようになるなど、まちの活性化につながるので、牛久沼も人々が運動・スポーツを通して訪れるようになったら良いと思う。 ・湯ったり館の活用にぜひ取り組んでほしい。施設の整備状況も良く、立地としても近隣の稲敷市に観光施設があり、親子で訪れるにはちょうど良い。また、小学生を対象に運動・スポーツ・遊びを通して、体力やメンタル面での向上を目的とした1泊2日の合宿を実施したらどうか。子ども達につらいけど頑張った先に感じる達成感などを味わってほしいと思う。例えば、大学の部活単位で企画・運営を行うと良いのではないかとと思う。 ・トライアスロンのキッズ大会は全国的には開催されているが、茨城県内では実施されていないので、龍ケ崎の独自性がある事業となるのではないかと。 ・トライアスロンは、「スイム」「バイク」「ラン」の競技であるが、「スイム」「ラン」のアクアスロンや「ラン」「バイク」「ラン」のデュアスロンという競技もある。大会は、会場の状況に応じて臨機応変に対応できるので、たつのこアリーナを活用したトライアスロンやアクアスロンが可能である。また、湯ったり館周辺では、デュアスロンが可能である。 | |

| | |
|--|----------------|
| 団体名 | NPO法人クラブ・ドラゴンズ |
| 1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会員数が全体的に減少している。特に、幼児及び小学生低学年が減少している。 ・財政面では、指定管理者の自主事業での黒字化は難しい状況であるが、会員制度の変更や雇用調整助成金を活用しながら、コロナ禍でも安定した運営を行っている。 ・活動場所として北文間体育館を利用することが多いが、他の利用者とのバランスに気を付けていきたい。 ・子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という総合型地域スポーツクラブの特徴を打ち出すとともに事業のスリム化を図るため、令和4年4月から教室のサブスクリプションを導入する予定である。これにより、会員はすべての教室を定額で受講することができる。 ・流通経済大学の運動部やゼミ単位での連携し、教室の充実及び流通経済大学生の参加促進を図っている。 ・今まで、教室の講師は流通経済大学関係者であったが、指定管理者としての自主事業で地域の方を初めて採用した。今後は、地域の方とも連携しながらクラブ運営することも必要であると感じている。 | |
| 2. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」の現状について | |
| <p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と総合型地域スポーツクラブの連携が良くできている。他市町村と比較し、良好な関係を築くことができていると感じる。 ・活動の周知については、ホームページやSNS・教育委員会経由のチラシ配布で行っているが、交付金事業をコミュニティセンターで実施したことにより、口コミで参加者が増えている。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団と連携したい。また、スポーツ少年団等の地域ジュニアチームの活動を圧迫せず、共存できるような活動をしていきたい。 | |
| 3. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性） | |
| <p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の運動部活動が地域へ移行するという流れの中で、総合型地域スポーツクラブとしての役割があると考えているので、教育委員会と情報を共有しながら連携したい。 | |

| | |
|---|-------------|
| 団体名 | 龍ヶ崎市社会福祉協議会 |
| 1. 貴団体の障がい者のスポーツ・運動に関する活動内容等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県ゆうあいスポーツ大会（知的障がい者対象）と茨城県身体障害者スポーツ大会（身体障がい者対象）が3年前に統合され、知的障がい者・身体障がい者・精神障がい者を対象とする茨城県障害者スポーツ大会が開催されるようになった。同大会への参加募集及び派遣を市からの委託事業として実施している。大会では、陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ等の競技があるが、最近では、社会福祉協議会職員が普及していることもあるが、ボッチャの関心が高いように感じる。 ・令和3年度の茨城県障害者スポーツ大会については、9名の派遣を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となってしまった。また、例年、県大会には約20名程度の派遣をしており、新型コロナウイルスの影響により参加を見合わせる方がいたため参加者が減少した。 ・茨城県障害者スポーツ大会への参加募集については、市社会福祉課による市公式サイト等での周知、社会福祉協議会が運営しているひまわり園や民間施設への周知を行っている。 | |
| 2. 貴団体の障がい者のスポーツ・運動に関する活動を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、障がい者対象のスポーツ大会が中止となっている。障がい者は障がいだけでなく持病を持っている方や高齢の方もいるため、本人だけでなく家族の方も新型コロナウイルス感染に対する不安を抱えている。感染リスクを考えると中止せざる負えないのが現状である。 ・茨城県の大会へ引率する際は、参加者の突発的な発作や歩行困難者への対応、当日の体調管理（無理をさせない）等、参加する方への配慮が大変である。 | |
| 3. 龍ヶ崎市の障がい者のスポーツ・運動環境について（現状） | |
| <p>〇評価できること、満足していること、継続していくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツレクリエーションまつりでのボッチャやブラインドマラソンの体験は、障がい者からのニーズがあると思う。特に、ボッチャは、障がいの程度にかかわらず取り組みやすい競技だと思われる。ただし、社会福祉協議ではボッチャの用具を整備していない。 <p>〇評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のスポーツレクリエーションまつりは周知の面がうまくいっていないのではないかと。障がい者にとって必要な情報（送迎・介助者支援等）が不足して参加を判断できないケースもある。また、ホームページ等の周知方法だけでなく、社会福祉課を経由して障がい者団体へ周知することが必要だと思われる。 | |
| 4. 龍ヶ崎市の障がい者のスポーツ・運動の推進に向けて（今後の方向性） | |
| <p>〇期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市として障がい者スポーツの推進するためには、障がい者にとって目標や励みとなるような事業、例えばスポーツ大会の開催をプロジェクトとして取り組まないと進まないと感じる。また、障がい者には、移動手段やトイレ等の問題があり、そういったことを配慮したものでないと参加しにくい。 ・障がい者の方の声に出せない思い（ニーズ）を市の施策をどうつなげるかが課題である。 ・社会福祉課経由で障がい者団体の意見を聞いてみてはどうか。 | |

| | |
|---|------------|
| 団体名 | 龍ヶ崎市長寿会連合会 |
| 1. 貴団体の高齢者のスポーツ・運動に関する活動内容等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・長寿会連合会として、ペタンクや輪投げ、グラウンドゴルフやゲートボールの大会等を年2回（春・秋）開催している。 ・以前は色々なニュースポーツを行っていたが、ニュースポーツに詳しい中心メンバーが抜けてからは、徐々にやらなくなってしまった。H24年ころからはグラウンドゴルフ・ディスクゴルフは個別の団体として活動している。 ・各地区の長寿会において、長寿会本部から1単位地区1,000円の補助をもらい、バス旅行や輪投げ大会などを行っている。最近ではコロナ禍であまり開催できていないが、コロナ禍前までは全体の2/3程度の団体が補助金を利用していた。グラウンドゴルフの団体では、週2回の福祉センターや豊作村での練習、総合運動公園で行われる大会参加に延べ年間5,000人程度が参加している。 ・近年はゲートボールよりも、グラウンドゴルフが人気である。ゲートボールは団体競技であるが、グラウンドゴルフは単独でのスコアを競えるため参加し易いと感じている。また、自分専用のクラブを使用するためコロナ対策にも対応している。 ・各地区のコミュニティセンターで行われているシルバーリハビリ体操や元気アップ体操への参加が多い。 ・長寿会の活動は、高齢者の居場所を作りや仲間づくり、生きがいづくりなどを主な目的としている。現在最高齢で88歳の方も続けて参加している。 | |
| 2. 貴団体の高齢者のスポーツ・運動に関する活動を行う上での課題・問題点 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては、交通手段の確保が難しいため、身近なところで活動できる場所が必要である。また、誰かに誘ってもらえれば参加したいと思っている高齢者は多いが、現地まで行く足が無く諦めている者も多い。 ・交通手段が確保できない方は、各地区のコミュニティセンターや集会所を活用しての活動が中心となるが、イベント等の企画・運営を行ってくれる人材が不足しており、一部の会員に負担が集中してしまうことから、開催できずに活動が縮小している地区もある。 ・長寿会本部が主催するスポーツ大会に補助金も出しているが、近年はコロナ禍の影響で少なくなっている。 ・高齢者が参加し易いニュースポーツ等の用具を購入したいと思っても、長寿会では予算が少ないため難しい。以前使用していた用具はほとんど個人所有のものであった。 | |
| 3. 龍ヶ崎市の高齢者のスポーツ・運動環境について（現状） | |
| <p>○評価できること、満足していること、継続していくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター（ふるさとふれあい公園）は、ゲートボールやグラウンドゴルフ、ディスクゴルフの専用コートが整っており満足している。 ・長寿会本部で定期的に大会を開催してくれており非常に感謝している。 ・補助金があるので各地区でのイベント開催で活用している。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉センターまで自転車や自家用車の乗り合わせで来る方、コミュニティバスを利用して来る方も多いが、高齢者にとっては交通手段の確保が難しく、大会やイベントが総合運動公園で開かれても参加者が限られてしまう。また福祉センターに来る場合もコミュニティバスを乗り継がないと来られないため、足が遠のく一因となっている。 ・身近な場所で活動ができる地元地区で、高齢者スポーツを楽しめるような公園がない地区もある。大宮地区には唯一上大徳新町に公園が1ヶ所あるが、高齢者が集ってスポーツを行えるような公園ではない。また、小学校やコミュニティセンターはあるが、その他近くにスポーツ施設はない。 ・各コミュニティセンターで行われているシルバーリハビリ体操等へ参加している高齢者もいるが、参加者が固定化されており、新規参加者が定着しない傾向にある。 | |
| 4. 龍ヶ崎市の高齢者のスポーツ・運動の推進に向けて（今後の方向性） | |
| <p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては、交通手段の確保は喫緊の問題だと思っている。運転免許証を返上する人も増えてくる。また、大会やイベントが総合運動公園で開かれても参加者が限られてしまうため、個々の地区で活動できるよう、各地区にスポーツができる公園やグラウンドを整備してほしい。 ・もっとコミュニティバスの路線が便利になれば、バス利用も増え、福祉センターやスポーツ施設に来ることができる高齢者が増えると思う。例えば、福祉センターまでに乗り継ぎがない・遠回りしないで福祉センターまで来られる路線があれば良いかもしれない。 ・毎年、総合運動公園でグラウンドゴルフの大会が開催されているが、大会開催時には、高齢者はコミュニティバスが無料で乗れるとか、福祉センターとの往復で市バスが活用できると参加者も増えると思う。 ・各地区の公園で高齢者が参加できる市主催のイベントを行ってほしい。 ・予算もあると思うが公園の簡易トイレが和式なので洋式に交換してほしい。（高齢者には使いづらい）また、手洗い場もきちんとしたものがあると安心して利用できる。 ・福祉センター（ふるさとふれあい公園）のグラウンドゴルフ場を芝生にしてほしいという声もある。 | |